

完からず多く舟便に依る。

都邑 三十五あり、タグビタランを以て首邑とす。物産 主なるは麻、煙草となす。

三十三、イロイロ州 (Iloilo)

位置、面積、人口 ビザヤ群島中バナイ島の西南部に在りて北はカピス州西はアンチケ州に境し西南はネグロス州に面す、面積二千〇二十七平方哩人口四十一萬三百十五人。

氣候、交通 氣候適度にして健康地なり、交通は完備し特にイロイロ港より北端カピス州に到る鐵道ありて比島南部に於ける海路交通の中心點にして船舶の便少からず。

都邑 五十二あり、イロイロを以て首邑とす。

物産 主なるは煙草、砂糖、藍等にして又麻、綿、珈琲、コ、ア、米、果物、蔬菜等を出す、鑛物には石炭を有す。

三十四、アンチケ州 (Antigue)

位置、面積、人口 ビザヤ群島中バナイ島の西部

に在りて東北はカピス州に境し東南はイロイロ州に隣す。面積千三百三十四平方哩、人口十三萬四千六百六十六人。

氣候、交通 氣候は暑さ強さも健康地なり、交通は概して平坦にして道路橋梁稍備はれり。

都邑 二十一にして、サンホセデブエナビタを以て首邑となす。

物産 主なるは砂糖、煙草、米、木材となす、鑛物には銅あり。

三十五、カピス州 (Cebu)

位置、面積、人口 ビザヤ群島中バナイ島の北部に在りて西はアンチケ州南はイロイロに境す。面積千七百四十九平方哩、人口二十三萬七百二十一人。

氣候、交通 氣候は健康に適し、交通は道路開け特にイロイロ港より來る鐵道はこの州に入り又、海路船舶の便多し。

都邑 三十四にして、カピスを以て首邑とす。

物産 砂糖、コブラ、麻、ニツバ酒を主なるものとす。

三十六、ネグロス、オリエンタル州

(Negros Oriental)

位置、面積、人口 ビザヤ群島中セブ島とバナイ島の間に横はれるネグロス島の南部に在り、面積千八百六十四平方哩、人口二十萬一千四百九十四人。

氣候、交通 氣候は健康に適し、交通は道路未だ完からずと雖ども海路の外小流あるを以て僅かに舟便を以てす。

都邑 二十四にして、ズマケタを以て首邑となす。

物産 砂糖を主とし、米、コ、ナット、煙草、麻、玉蜀黍之に次ぐ。

三十七、ネグロス、オクシデンタル州

(Negros Occidental)

位置、面積、人口 ビザヤ群島中ネグロス島の北部に在り、面積三千百三十平方哩、人口三十八萬

八千二百七十二人。

氣候、交通 氣候は健康に適し、交通は陸路完からず水路に依る。

都邑 三十四あり、バコロドを首邑となす。

物産 砂糖の大産地として比島中に屈指せらる、麻、椰子、珈琲、綿、コ、ア、米之に次ぐ、鑛物には石炭、硫黄あり。

三十八、ロムブロン州 (Rombon)

位置、面積、人口 呂宋島タバサ州の南方マヌバテ島及ブリヤス島の西方ミンドロ島の東方及バナ島の北方に散在せるロムブロン、シブヤン、タバラス及バアントン其他の小島より成る、面積五百七十三平方哩、人口五萬二千八百四十八人。

氣候、交通 氣候健康地にして、交通はたゞ小舟に依るのみ。

都邑 十一にして、ロムブロンを首邑となす。

物産 煙草、砂糖、コ、ナット、米、玉蜀黍等を出し、又大理石、碧玉の山あり。



三十九、パラグワ州 (Parangua)

位置、面積、人口 ミンドロ島の西南に方りて支那海と南海とを區別して横はれるパラックア島及カラミアネス島其他數多の附近の小島より成る、面積五千二百三十八平方哩、人口三萬五千六百九十六人。

氣候、交通 氣候暑さ強く濕氣深くして健康地に在らず、交通は山岳起伏して道路開けず、未開地に屬す。

都邑 六あり。

物産 米、玉蜀黍、コ、ア、珈琲、胡椒等あり、土壤頗る肥沃なり。

四十、サムボアンガ州 (Zamboanga)

位置、面積、人口 ミンダナオ島の西端に在りて北はミサミス州、東はコトバト州に境し南はセレベス海、西はスール海に面す、面積三千〇五十六平方哩、人口二萬六千九百九十二人。

氣候、交通 氣候は變化多くして暑く、濕氣あり

と雖も健康地なり、州内山脈の中央に互れども海岸には平原あり、交通の便は唯船舶に依るの外未だ道路開けず。

物産 麻を以て主となす、砂糖、珈琲、椰子、米玉蜀黍、果實之に亞ぐ。

四十一、ミサミス州 (Misamis)

位置、面積、人口 ミンダナオ島の北部に在りて北はビサヤ海に西はスール海に面し南はコトバト州東はスリガオ州に隣す、面積五千七百九十二平方哩、人口十九萬九千二百六十八人。

氣候、交通 氣候は健康に適す、交通は山岳の間平原あるも道路未だ開けず唯水路に依る。

都邑 二十九あり、カガヤンを以て首邑となす。

物産 麻、椰子、玉蜀黍、果物、蔬菜等あり。

四十二、スリガオ州 (Surigao)

位置、面積、人口 ミンダナオ島の東部に在りて北はスリガオ海峡を隔て、レイテ島に相對し東は太平洋に面し南はダバオ州に西はミサミス州に境

す、面積六千九百八十八平方哩、人口十一萬五千百十二人。

氣候、交通 氣候は健康に適し、交通は山岳多く其間に平原あり、又ビナヤト及イナオの二湖は連絡して州の中央部を流れてブツアン灣に入る、アグサン河に依りて小舟の便あるの外内地交通なく道路未だ開けず。

都邑 三十四あり、スリガオを以て首邑とせり。

物産 主なるは麻、米、椰子、煙草、コ、ア、珈琲、玉蜀黍等とす。

四十三、ダバオ州 (Davao)

位置、面積、人口 ミンダナオ島南部に在りて北はスリガオ、ミサミスの二州に境し西はコトバト州に接し東は太平洋に南はセレベス海に面す、面積九千七百〇七平方哩、人口六萬五千四百九十六人。

氣候、交通 氣候は健康に適し、交通は概して山岳多く道路未だ開けざるを以て水路に依る。

都邑 重なる邑はバカンガ、カラガ、カテエル、ダバオ、マカル、マテにしてダバオを以て首邑となす。

物産 麻を第一とし椰子、米、玉蜀黍、綿、砂糖蠟、蜂蜜等を産し、鑛物には金、銅あり。

四十四、コタバト州 (Cotabato)

位置、面積、人口 ミンダナオ島の南部に在りて北はミサミス州に境し東はダバオ州、西はサムボアンガ州に接し南はセレベス州に面す、面積一萬一千七百八十六平方哩、人口十二萬五千八百七十五人。

氣候、交通 氣候は健康に適す、交通一般に山脈多くして交通未だ開けず、ただ小舟に依るのみ。

都邑 九あり、カタバトを首邑となす。

物産 主なるは麻、米、コブラ等とす。

四十五、スール州 (Sulu)

位置、面積、人口 ミンダナオ島の西南に當りスール海とセレベス海との中間に横りて散在せるパ



シラン群島、ホロ群島、シアシイ群島、タワイタ  
 ワイ群島の總括したるものなり、面積合せて千五  
 百五十九方哩、人口十二萬〇七百六十八人。  
 交通 無数の小島より成り、島内山多く皆小舟に  
 依り比島の最南端に在りて他州と交通の便少し。  
 都邑 イサペラ、ホロ、シアシメ、ホンカスは重  
 なるものなり。  
 物産 椰子、米、玉蜀黍、珈琲、コ、ア等あり。

### 第六章 貨幣

現在六銀行あり、横濱正金銀行出張所、國際銀  
 行、香港上海銀行、查打銀行、比律賓銀行、及び  
 比律賓國立銀行是れなり。比律賓國立銀行は、一  
 九一六年五月二日比律賓議會の附與せる特許狀に  
 基き、一千萬弗の資本を以て設立さる。併合當時  
 は専ら墨西哥弗を用ひたるも、價格變動の爲め不  
 便を感ずる事少からざるを以て、一九〇〇年命令  
 を以つて米國貨幣一弗に對し墨西哥弗二弗と定め

更らに根本方策を定むるの必要を認め法律を發し  
 て比律賓貨幣を定む。現行ペソ貨は米貨五十仙に  
 當る。

## 第六編 濠洲

1、面積及人口千九百十五年六月三十日現在

地方	首府	面積	人口(概算)
ニューソウスウエールズ	シドニー	39,000	1,680,000
ヴィクトリア	メルボルン	47,800	1,330,000
サウス、アウストラリ	アデレード	350,000	380,000
クイーンズ、ランド	ブリスベーン	670,000	690,000
タスマニア	ホーバート	26,000	120,000
ウエストアウストラリア	ペルス	970,000	330,000
北部諸州	ダーウイン	330,000	40,000
聯邦	ポートモレスビー	88,000	250,000
計	カンマラ	930	3,730,000

2、人種及宗教別人口(一九一一年調)

種別	人口	種別	人口
濠洲人	1,150,000	英國教會派	1,700,000
支那人	1,570,000	長老教會	500,000

日本人	3,500	メソヂスト	400,000
印度人及錫蘭人	4,000	其他新教	400,000
土人	100,000	ローマンカトリック	900,000
歐人士人雜種	100,000	猶太教	100,000

### 3、政治

濠洲聯邦は新南威耳士、ヴィクトリア、クイ  
 ーンズランド、南濠太利亞、西濠太利亞及びタス  
 マニアより成る。其成立の宣布せられたる千九百  
 一年一月一日なり。立法權は國王を代表する濠洲  
 總督、元老院及び代議院より成る聯邦議會に屬す  
 元老院は各州より六名づゝ選出せらるゝ、任期六年  
 の議員より成立す。元老院は三年毎に半数宛改選  
 せらるゝも、久しきに互り代議院と衝突する場合  
 に於いては解散を命ぜらる。此場合には議員全部  
 の改選を要す。代議院は元老院議員の倍數に當る  
 議員を以つて組織さる。各州選出議員の割合は其  
 人口を基準として定むるも、少くとも一州より五  
 名を選出するを要する規定なり。千九百十一年の



人口調査の結果に基き、新南威耳士廿七名、ヴィクトリア二十一一名、クイーンズランド十名、南濠太利亞七名、西濠太利亞五名、タスマニア五名と定めらる。代議院は其第一次の集會より三年間を繼續期間とす。勿論其以前に解散を命ぜらるゝことあり。兩院議員は生來の英國臣民なるか、英國又は濠洲聯邦に屬する一州の法律に準據して歸化し、既に五ヶ年を経過せる者にして、丁年に達し、選舉權を有するものならざる可からず。婦人も亦選舉權を享有す。千九百十七年五月の選舉の結果は自由黨三十五名、勞働黨二十五名、ヒューズ黨十五名。

行政權は國王を代表する總督之を行ふ。總督は議會に對して責任を有する内閣の支持を受く。國務大臣は聯邦議會の議員たるか、又は三ヶ月以内に其議員となることを要す。

【ニューサウスウェールズ】は千七百八十八年英國領となり、千八百四十三年一部公選に係る議事

機關組織せられ、千八百五十五年責任内閣制度を採用する事となる。立法權は二院より成る國會に屬し、第一院は立法評議院と稱し、第二院は之を立法會議と稱す。立法評議院は二十一名以上の議員を以つて組織さる。議員は國王の任命する所に於て、任期は終身、千九百十六年十月現在評議院議員數五十二名なり。立法會議は九十名の議員より成る。全州を九十個の選舉區に分割し、各區より一人を選出す。選舉權を取得する爲めには、先づ丁年に達することを要し、更に聯邦内に六ヶ月、其の州に三ヶ月、其選舉區に一ヶ月居住することを要し、婦人亦選舉權を享有す。議會の繼續期間は三年なり。立法會議員は五百磅の年俸を受く。反對黨の首領は其以外に年二百五十磅の手當を受け、立法會議々長は年一千磅を支給せらる。立法評議院議員は給與を受けざるも、州所有の鐵道及び電車には無料乗車の特典を有す。千九百十七年の總選舉に際し、登録選舉人男子五十二萬五

千六百八十一人中三十二萬八千五百九十八人、即ち六割二分五厘、婦人同四十八萬七千五百八十五人中二十九萬三千四百八十八人、即ち六割二厘は其投票權を行使せり。行政權は英國政府の任命に係る知事の掌握する所なり。

【ヴィクトリア】は以前新南威耳士の一部なりしも、千八百五十一年に一部公選の立法議會を有する獨立植民地となる。立法權は二院より成る議會に屬す。上院は任期六年の議員三十四名より成り、下院は任期三年の議員六十五名より成る。上院議員たるには其選舉前一年間純年收五十磅の土地を所有せざる可からず、而して其選舉人は所有地なれば年十磅、借地なれば十五磅の課税價格を有する土地所有者若しくは占有者たるを要さる。但し英國乃至其植民地の大學卒業生は財産資格を要せず。僧侶は上下兩院の孰れにも議員として選出せらるゝことを得ず。下院議員は年三百磅を支給せらる。

【クイーンズランド】も亦以前新南威耳士の一部たりしも、千八百五十九年獨立植民地となり、自治を行ふ。立法權は二院より成る議會に屬す。上院は三十八名終身議員より成り國王之を任命す。下院は七十二名の議員より成る、任期三年にして、一區より一人を選出するの制度なり。下院議員は年三百磅を支給せらる。千九百十四年の改正選舉法は丁年男女の選舉權を規定し、其州に於ける十ヶ月間の居住を唯一の資格要件とす。

【南濠太利亞】は千八百三十六年二月の特許狀に依り英國の一州となり、千八百五十一年一部公選の立法會議を創設さる。現行憲法は千八百五十六年十月二十四日公布せられしものなり。立法權は公選の議會に屬す。議會は二院より成り、上院は二十名、下院は四十六名の議員を以つて組織さる。上院議員は五個の選舉區より三年毎に選出せらる。上院議員たるには、年齢三十歳以上にして、生來又は歸化に因る英國臣民にして、三ヶ年其州に居



住したる者なるを要さる。選舉人は二十一歳に達し生來又は歸化に因る英國臣民にして、六ヶ月間其の州の選舉人名簿に登録せられ、規定の財産資格を有するものならざるべからず。兩院議員は均しく年二百磅の支給を受く。下院議員は任期一年にして、十九個の選舉區より選出せらる。選舉人は二十一歳以上にして、六ヶ月間選舉人名簿に登録せられたるものなるを要す。被選資格亦同一なり。

【西濠太利亞】は千八百二十九年英國植民地となる千八百九十年に至り、知事及び二院より成る議會に依りて州政を統轄することとなり、上院議員は初め知事の任命に係れるも、千八百九十三年、人口六萬に達すると共に、公選せらるゝ事となれり。千八百九十九年、及び千九百十一年に於ける憲法修正の結果、上院は、任期六年の議員三十名を以て組織さるゝ事となる。上院議員たるには年齢三十歳に達し、二年間州に居住し、且つ生來

の英國臣民たるか、又は歸化して五年を経過し、五年間其州に居住したる者たるを要す。選舉人は六ヶ月間其州に居住し、且つ州内に於いて規定の財産資格を有する者ならざるべからず。下院は任期三年の議員五十名より成る。議員たるには年齢廿一歳に達し、一年間州内に居住し、生來の英國臣民たるか、又は歸化に因る英國臣民にして六ヶ月間州内に居住し、少くとも一ヶ月間、關係選舉區に居住したる者なるを要さる。婦人亦選舉權を有す。議員は年三百磅の俸給を受け、政府鐵道無料乗車の特權を有す。

【タスマニア】は千八百廿五年新南威耳士より分離し、千八百五十一年に一部公選の議事機關を設けられ、千八百五十六年に及び完全に自治を行ふに至る。上下二院を有し、上院は任期六年の議員十八名より成り、下院は任期三年の議員三十名を以て組織さる。兩院議員とも等しく年百五十磅を支給せらる。行政權は國王に依りて任命せらる

る知事に屬す。

總督マンロー、フアীগアッソン(一萬磅)

一九一四年就任

### 第二章 財政

一九一四、五年度一九一五、六年度收支左の如し

收入總額	一九一四—一九一五 九、九四九、二八	一九一五—一九一六 九、〇五二、三三
關稅	三、〇五、六九	三、〇三、四七一
消費稅	三、七二、五五	三、三三、四七〇
地稅	一、九五、六六	二、〇四、一六
捐稅	五、六、六六	六、五、九〇
所得稅	—	三、九三、四七一
郵便、電信電話	四、五、四、四三	五、〇五、一八五
其他	九、四、六〇	二、〇八、八二
借入金	一、六、五、三〇	六、〇、四、六九
支出總額	八、二、五、三三	六、三、〇、三三
州下附金	六、五、七、七五	六、四、六、七五
其他	三、五、七、六六	八、九、三、四〇
公債總額	六月三十日を以て終る各年度の合計	

濠洲

### 第三章 産業

主要農産物作付面積及産額(一九一五—一六年、但し×印は一九一四—一五年)

種別	耕地面積	産額	一噸産額
小麦	三、五、三、七三	一、九、六、四、一八	一、四、三、三
燕麥	三、四、七、五	一、六、〇、三、二一	三、三、九一
大麦	×一、五、五、六	一、三、八、九二〇	八、五
玉米	×三、三、九、九	八、四、五、五	二、四、九
林	三、五、〇、八〇	五、五、〇、三二	一、五、六
甘蔗	×四、八、三	五、七、六、四	一、二、一
甘藷	×四、四、九	一、三、〇、一、六	一、五、〇、四
葡萄	×〇、九、五	—	—

森林 全面積は一億二百萬噠にして中千六百六十六萬千八百八十八噠は特に木材供給の爲めに保留せらる。



第四章 商業

(一)最近五年間輸出入額左の如し

年次	輸入	輸出	濠洲生産物輸出高
一九三三	七九,七九,六五五	七六,七二,七九	五,一五,一四七
一九三四	五九,七七,四九七	五七,九三,〇八七	五,八四,六一四
一九三五	六〇,四三,八三七	六〇,五二,五七六	五,二二,七五五
一九三六	七五,五七,八三三	七三,七八,三三一	七,九一,五五五
一九三七	共一,九,三三九	九七,八八,一五〇	九,三三,五九九

  

(二)一九一五、六年度主要輸出入品

輸入品	價額	輸出品	價額
糖	一,八六九,七六六	麥	一,五八,七六六
茶	一,二四八,八四七	牛	一,二七,六六六
酒類	一,〇九二,八七七	牛	二,一七,八八四
甘	八〇,〇六九	羊	七九,七三二
靴	四七,七三〇	兔	七四,六三三
帽	四〇,四八三	綿詰肉類	五〇,〇八五
裝身具	五,三三九,五三三	獸	四三,〇八三
綿及麻織物	二,八六九,三三三	皮	一,一五,六六三
毛織物	二,三九五,五〇〇	羊	三六,八五九,〇九一
絹織物	二,三九五,五〇〇	炭	五九,七五五
織器	二,八三〇,七三〇		

(三)家畜數(一九一五年末)  
 馬 五,三九二,五六六 牛 九,九九三,七四三  
 羊 六九,六九三,三七五 豚 七五八,九六二  
 其州別羊頭數左の如し

新南威耳士 三,八七四,三三九  
 ヲイクトリア 一〇,五四三,六三三  
 クイーンズランド 一五,九五〇,一五四  
 南澳太利亞 三,六七四,五五七  
 西澳太利亞 四,八三二,七七七  
 タスマニア 一,六四四,四三〇  
 北部地方 七,七〇七  
 聯邦地區 一,四四,六九七

×印は六月末其他は十二月末の調査數なり。一九一四、五年度の羊毛産額は六億四千七十八萬六千五百十九斤に上る

(四)鑛産物(一九一五年)

品名	生産額	使用人	設備格
金	八,七三三,三三九	三三,一五九	九,七七八,八八五
銅	三,〇五五,八九〇		
石炭	四,二七三,九三二		
計	三,三六六,七三二		

(五)工業(一九一四年)

工場數	生産額
一五,四七三	一六,四四五,九三三

第五章 交通

(一)登簿船舶數

年次	帆船	汽船
一九一三	一,五三三	一,三三三
一九一四	一,五九三	一,三三三
一九一五	一,五三三	一,三三三

(二)出入船舶數

年次	入港		出港	
	帆船	汽船	帆船	汽船
一九一三	二,〇三三	五,一三三	二,〇三三	五,一三三
一九一四	二,〇三三	五,一三三	二,〇三三	五,一三三
一九一五	二,〇三三	五,一三三	二,〇三三	五,一三三

(三)同年度國別貿易高

對手國	輸入額	輸出額
合衆國	一五,六六〇,九六五	一七,六六六,六〇〇
ニューシランド	三,八四一,一六八	三,六三〇,九〇〇
印度	三,六三九,九七五	一,七四八,三三三
錫蘭	一,五五七,七九八	三,三七七,二二三
南アフリカ	六,四四九,九一八	一,六九八,五七七
爪哇	一,四九七,九八〇	五,〇五五,四六六
白耳義	七,三九四	四,〇三〇
佛蘭西	三,五七六,七六九	二,四六六,七五九



(三) 鐵道哩數(一九一六年六月末)

洲別	開通哩數	内私設
新南威耳士	四、四七	三〇四
グイクトリア	四、三三	三三
グイーンズランド	六、四三	一、四三
南濠太利亞	三、〇〇	三
西濠太利亞	四、七七	六五
タスマニア	七、八	一、九
北方地區	一、一	—
計	三、七四	三、〇六

(四) 一九一五—一六年度に於ける官線鐵道收支

總收入 三、三九、七〇  
 純益金 五、九七、七七  
 營業費 一、六、三九、七〇

建設資金(二億五百十六萬七千磅)に對する二分九一の收益なり。

(五) 濠洲移民出入狀況一九一五年に於ける濠洲移民の出入狀況は歲と共に其入國者數を減じつゝあるもの如し即ち一九一二年には十六萬三千九百九十一人なりしもの一九一三年には十四萬二百五

十一人となり一九一四年には十一萬七百八人に減じ更に一五年に於ては七萬四百三十六人に激減せり今左に其主なる國籍別入國移民數を掲ぐ。

英吉利人	三、五五	露西亞人	七、六
伊太利人	六、四	佛蘭西人	五、五
希臘人	三、三	丁抹人	三、〇
西班牙人	二、〇	和蘭人	一、八
白耳義人	一、五	スカンデナヴィヤ人	一、三
獨逸人(僑屬)	八、九	其他	一、七
歐洲人合計	六五、八八三人		
亞米利加人合計	一、〇八二人		
支那人	三、二七	日本人	四、三
馬來人	二、五	印度人	一、四
其他	三		
亞細亞人合計	三、一七三人		
其他有色人種	二、九八人		
總計	七〇、四三六人		

右の内亞細亞人は全部既住者の再入國なり。而して日本人入國者四百二十三人の内譯を示せば永住權者五十一人、政府派遣者四人、眞珠貝採

第六章 貨 幣

聯邦銀行は千九百十三年一月二十日シドニーに開設せらる。其他に私設銀行二十四あり。千九百十六年六月三十日に於ける拂込資本額三千三百九十三萬二千五百一十一磅を算す。造幣局三ヶ所に設けらる。シドニー(千八百五十年創設)メルボルン(千八百七十二年)及びバース(千八百九十九年)の造幣局是れなり。ソベレン及び半ソベレン金貨の千九百十四年中の發行高左の如し。

造幣局	ソベレン段	半ソベレン段	合計
シドニー	一、七四、〇〇〇	一、九三、〇〇〇	三、六七、〇〇〇
メルボルン	三、〇一、〇〇〇	—	三、〇一、〇〇〇
バース	四、八五、九六六	—	四、八五、九六六
合計	九、六〇、九六六	一、九三、〇〇〇	一、一、五三、九六六

濠州紙幣法の定むる聯邦紙幣は千九百十年十二月より流通を見るに至り、普通銀行券と相並んで通用したるも、千九百十一年の終末迄に普通銀行券は回收せられたり。

集者二百七十六人、免除證書所持者十七人、旅行券携帶者六十六人、逃亡者九人等にして總體に於て前年に比し二十九人を増加せるが是等移住民の入國經路を見るに海峽植民地より百九十三人、日本國より百二十五人、東印度より八十一人、支那より八人、新西蘭より六人、ニューカレドニア島、英國、比律賓諸島及北米合衆國より各々二人及南洋島一人なり。

入國移民に對し同年に於て濠洲を退國したるもの、内有色人種と看做さるもの、主なるは支那人の三千八百八人、日本人の八百五十九人、馬來人の三百六十三人、印度人の百八十八人等なりとす。

(六) 荷揚勞働賃銀

普通の日	一時間に付	二志	一片
夜	カ	二、	一、
カ(特別取扱)	カ	三、	一、
土曜日 午後カ	カ	三、	一、
日曜日	カ	五、	一、

濠洲



# 第七編 香港

## 第一章 地理及面積、戸口

一、總說 香港殖民地は英國皇領殖民地の一にして英國の領土たる香港島及舊九龍並に英國の租借地たる九龍半島及其附屬諸島を包括す。

二、香港島 阿片戦争の結果一八四二年南京條約により清國より割讓せられたるものにして北緯二十二度十分乃至十七分東經百十四度六分乃至十八分に位し廣東省の南岸珠江口に在る一小島にして周圍二十七哩、面積二十九平方哩最長東北より西南に十哩半幅南北に二哩乃至五哩半に過ぎず、支那大陸の一部たる九龍半島の南端と僅かに一哩三分の一を距て、相對し其東方は展開して約三哩の幅となり、更に鯉魚門に至りて再び相接近し幅員僅かに四分の一哩餘に過ぎずしてこの間自ら天然

の一大良灣を形成す之れ即ちヴィクトリア港（香港）となす。

三、舊九龍 千八百六十年北京條約により割讓せられたる九龍半島の尖端約四平方哩の平地にしてヴィクトリア市と相對す。九龍市街地はこの區域に在り。

四、九龍租借地 一八九八年の九龍地方租借條約に依り九十九年間清國より租借せるものに係る、元清國廣東省新安縣の一部たりし九龍半島及附屬島嶼大小四十を包括す大鵬灣及深州灣並に香港四近の水面は悉く英國の租借する所にして殊に大鵬深州の二灣は水深く且つ廣く軍事上極めて重要な地點たり、租借地の面積は三百五十六平方哩にして内四分の一は島嶼より成る。租借地内村落の數は一百に上り、各村落平均人口百二十三名を有す。

五、人口 人種、地域並に男女別に表示すれば左の如し（一九一一年）

人種	香港島及舊九龍		租借地及新九龍		海上生活		計
	男	女	男	女	男	女	
歐米人	二,二〇〇	二,二〇〇	三	三	—	—	二,二〇六
葡萄牙人	一,一〇一	一,一〇一	—	—	—	—	二,二〇二
印度人	一,八〇〇	一,八〇〇	—	—	—	—	二,二〇〇
其他の非支那人	一,一〇〇	一,一〇〇	—	—	—	—	二,二〇〇
支那人	一,一〇〇	一,一〇〇	—	—	—	—	二,二〇〇
非支那人	一,一〇〇	一,一〇〇	—	—	—	—	二,二〇〇
支那人	一,一〇〇	一,一〇〇	—	—	—	—	二,二〇〇
合計	九,〇一七	九,〇一七	四,七六七	四,七六七	二,六六三	二,六六三	一六,一五七

乘組員	英國人		其他の非支那人		計
	男	女	男	女	
支那人	一,一〇一	一,一〇一	—	—	二,二〇二
其他の非支那人	—	—	—	—	—
合計	一,一〇一	一,一〇一	—	—	二,二〇二

香港總人口 三六,一五二 一〇,五八六 四六,七三九

六、人口増加率 千八百四十一年に於ては住民は主に香港島内二三の村落に住せる支那人漁夫及農民にして其數僅に四千を算するに過ぎず、又九龍半島の尖端に約八百の住民を有せり、然るに翌年には二萬三千に増加し六十年には十一萬而して現今にては五十萬を超過するに至れり、左に其大要を表示すれば

年	人口
一八六一年	二九,三三二
一八七一年	三〇,一六六
一八八一年	三〇,四三三
一九一一年	四六,七三九
一九一四年	五二,三〇〇







死因	一九二二年	一九一三年	一九一四年
瘧疾	五五	八	九
腸胃扶斯	八	四	四
實布埤里	三	七	六
虎列拉	三	元	六
赤痢	二六	二六	六
下痢症	二六	二六	六
マスト	一、七六	一、〇〇	三三
マラリヤ	二	二	二
産褥熱	二	二	二
腫毒症	二	二	二
歐毒	三	三	三
中傷	一七	一〇	二〇
外傷	三	四	三

二、死亡原因 一九二二年より一四年に至る死亡数を死因に従ひ區別すれば

疾病	一九二二年	一九一三年	一九一四年
酒精中毒	三六	三六	三六
發育學上の疾患	三五	三五	三五
老衰	三五	三五	三五
結核(肺以外の)	三三	三三	三三
脚氣	三三	三三	三三
麻痺及播病	三五	三五	三五
心臓疾患	一〇	一〇	一〇
肺結核	一三	一三	一三
肺炎	七	七	七
腸炎及胃腸炎	七	七	七
肝臓硬化	三	三	三
腹膜炎	三	三	三
腎臓炎	三	三	三
其他の原因	一、六	一、六	一、六
不明	三〇	三〇	三〇
計	九六三	九六三	九六三

三、傳染病 最近七年間に於ける發生數次の如し

病名	一九二二年	一九一三年	一九一四年
マスト	一〇七	三三	八四
腸チフス	七	七	七
コレラ	二	二	二

種別	一九二二年	一九一三年	一九一四年
痘瘡	四三	三	三
實布埤里	二	三	三
産褥熱	三	三	三
猩紅熱	一	一	一
再歸熱	一	一	一
計	一、六	一、六	一、六

一九一四年中に發生したるベスト患者數は二千四百十六名にして内支那人二千七十四名非支那人七十二名とす、支那人患者の死亡千九百六十九名非支那人の死亡四十八名にして非支那人患者の種別を擧ぐれば

患者	死亡
印度人	一五
馬來人及比律賓人	八
日本人	三
英吉利人	二
計	二六
葡萄牙人(亞化)	四
歐亞雜種人	一
阿弗利加人	一
計	六

即ち支那人患者の死亡率は九割五分にして非支那人の死亡率は七割八厘とす、尙從來の死亡率(百分率)を示せば次の如し。

年	支那人	非支那人
一九一一年	一、七四	三、八八
一九一二年	一、九一	三、〇〇
一九一三年	一、九一	三、〇〇
一九一四年	一、九一	三、〇〇

四、出産 一九一四年の出産登錄數は左表の如く三千一名にして、現人口に比すれば一千人に付七、三に當る。

年	支那人	非支那人
一九〇九年	一、九〇	三、〇一
一九一〇年	一、九〇	三、〇一
一九一一年	一、九〇	三、〇一
一九一二年	一、九〇	三、〇一
一九一三年	一、九〇	三、〇一
一九一四年	一、九〇	三、〇一

五、過去六年間の出産率(千人に付)

年	支那人	非支那人
一九〇九年	一、九〇	三、〇一
一九一〇年	一、九〇	三、〇一
一九一一年	一、九〇	三、〇一
一九一二年	一、九〇	三、〇一
一九一三年	一、九〇	三、〇一
一九一四年	一、九〇	三、〇一

六、一般出産數の中非支那人の出産率左の如し。(千人に付)



七、死亡 一九一四年の死亡登録数は九千五百八十五人にして之を現在人口に比すれば死亡率千人に對し

一九一四年 三・三三  
一九一三年 三・二六  
一九一二年 三・五七

八、一九一四年中の死亡總數中支那人は九千三百十六人にして死亡率は千人に對し

一九一四年 三・三三  
一九一三年 三・二六  
一九一二年 三・五七

九、非支那人の死亡率は千人に付

一九一四年 一四・五  
一九一三年 一〇・九  
一九一二年 二・九

### 第五章 貿易

一、總説 香港は英國の領有に歸してより僅に七十餘年に過ぎざるも今や東洋貿易の策源地として逐次澳門の商權を奪ひ世界有数の海港たるに至り入港船舶一箇年二千萬噸を超へ貿易額五億弗を算

するの狀態に在り、當港が單に一島嶼に過ぎずして貨物の産出極めて少なく又著しく消費するもの無きに拘らず貿易上斯の如く發展したるは其中繼貿易上絶好の地位を占むるに基因するものにして東洋の咽喉、南支那の關門を擁し管に東洋に於ける通過商業の中心點たるのみならず又世界物貨の接續點たり、乃ち南支那、中部支那、北支那、日本、蘭領印度、海峽殖民地、暹羅、佛領印度、比律賓、英領印度との間を移動する貨物の中繼港たると同時に又歐洲大陸、米大陸、濠洲、南洋諸島との間を流動する貨物の通過港たるなり、然れども當港は自由港たるが故に何等の統計なく各種の貨物が幾何或は如何に當港を通過せしかを調査するに多大の困難を感ず故に先づ香港が如何なる地方と貿易關係を有するやを知らんが爲めに一九一五年中當港に入港及出港したる船舶の隻數噸數、仕出地、仕向地、輸出入貨物の數量を當政廳の報告中より摘記すべし。

### 二、入港船舶數及貨物の噸數(一九一五年度)

仕出地	隻數	噸數	陸揚通過噸數
濠洲及新西蘭土	12	11,501	55,000
英領北ボルネオ	2	1,800	3,000
加那陀	2	1,800	3,000
支那汽船(六十噸以下)	3,371	10,700	77,000
沿岸汽船(六十噸以下)	3,371	10,700	77,000
交趾支那	1	10,000	3,000
歐洲大陸	1	10,000	3,000
埃及	1	10,000	3,000
臺灣	1	10,000	3,000
英領印度	1	10,000	3,000
印度海峽殖民地	1	10,000	3,000
日本	1	10,000	3,000
蘭領印度	1	10,000	3,000
廣州	1	10,000	3,000
澳門(六十噸以下)	1	10,000	3,000

仕向地	隻數	噸數	輸出貨物噸數
マウリシアス	1	1,000	1,000
北亞米利加	1	1,000	1,000
南北太平洋	1	1,000	1,000
比律賓	1	1,000	1,000
海南島、東京灣	1	1,000	1,000
露領亞細亞	1	1,000	1,000
暹羅	1	1,000	1,000
南亞米利加	1	1,000	1,000
南亞米利加	1	1,000	1,000
青島	1	1,000	1,000
北米合衆國	1	1,000	1,000
威海衛	1	1,000	1,000
計	11	11,000	11,000

仕向地	隻數	噸數	輸出貨物噸數
濠洲及新西蘭土	1	1,000	1,000
英領北ボルネオ	1	1,000	1,000
加那陀	1	1,000	1,000
計	3	3,000	3,000







### 第八編 英領北ボルネオ

一、位置及面積 ボルネオは東北に比律賓群島、東南にセレベス島、南に爪哇島、南西にスマトラ西に馬來半島、北西に暹羅を控え其の中央に介在せる南洋第一の大島嶼にして大部分は和蘭領に屬し英領に屬するはサラワク、北ボルネオ及北部のブルネーの土候國にして全島の四分一即三萬千方哩の面積を有し人口千九百十一年に二十萬八千八百八十三人あり。

二、政體 北ボルネオは元ブルネー王及スルル王の許諾に依り英國北「ボルネオ」會社の管理せる所にて會社の權利は千八百八十二年の勅許狀を以て確定し知事は勅許狀に據り任命さる。全州を五部に分ちて理事官を置き、更らに之を十七行政管區に細分し每區「デイストリクトオフィサー」を置き區を又村に別ちて村長を置く、村長は土人裁判

所判事を兼ね、區長は治安裁判所判事を兼ね、理事官は地方裁判所長を兼ね、知事は高等法院長を兼ね且つ武裝せる六百五十名の警察官に是が總指揮官たり。現今の知事はシーダブリュー、パール氏なり。

三、歳出入及輸出入 歳入は一九一三年に二十一萬三千四百二十二磅、歳出十一萬五千五百四十五磅にして同年の輸出は六十三萬四千五百三十八磅、輸入八十六萬三千五百五磅なり。

四、貿易 は多く新嘉坡、香港を経て英國及其殖民地との間に行はれ、主要物産は材木、砂糖、米、ゴム、胡椒、ガムビヤ、煙草、鳥の巢等にして煙草栽培は殊に盛なり。

五、財政 歳入の重なるは輸出輸入税、印紙税、阿片、酒精、燕巢、海關稅、郵便及營業稅等にして歳出は行政費の外電信及鐵道費を主とす。燕巢は常領内無數に存在し概ね國有林に屬するを以て其收穫の五分の一を政府に納入せしめて採集を許す。

#### 六、輸出入税左の如し。

輸 出 税	輸 入 税
煙草(州に産せしもの) 一封度一仙	マツチ十箱 六仙
木 材 四十立方呎	五十仙
丸木材 同 一噸に對し	四十仙
堅 木 同 一弗五十仙	
カンホー 同 一弗	
矛 木 同 七十五仙	

七、鐵道 は百三十哩あり。

八、ブルネイ及サラワク はボルネオ島の西北海岸にして千八百八十八年英國の保護に屬す、ブルネイの面積は凡そ四千方哩にして其王の統治する所とし、人口三萬あり、物産は英領北ボルネオと同種類なり。

サラワクは面積凡そ四萬二千方哩あり、此地の統治權は千八百四十二年「サーゼームス、ブルーク」がブルネイ王より之を得たり、千八百六十一

英領北ボルネオ

年千八百八十五年及千八百九十年の間に於て種々の讓與を爲しリムバンダ地方は千八百九十年に至り英領に屬す、現「ラジャールサー、チャールレス」ジョンソン、ブルークは故「ラジャール」の甥にして千八百二十九年六月三日に生れ、千八百六十八年其位を繼ぐ、人口は凡そ五十萬人あり、千九百十三年の歳入は十七萬五千七百磅、歳出は十六萬三千二百六十七磅にして物産は總て北ボルネオ産に類せり。廣大なる炭礦あり、又金、銀、金剛石アンチモニー及水銀を産す。千九百十三年の輸入額は六十六萬四千四百六十九磅にして、輸出額は八十萬五千五百十八磅なり。

九、氣温

ブルネイ、サラワク及英領北ボルネオ駐在英國領事はサーアーサーヘンダーソンジョンダ(海峽殖民地知事)なり。

(サンダカン公立病院一九一一年及一九一二年觀測)



南洋年鑑

月	一九一一年		一九一二年	
	最高	最低	最高	最低
一月	八七・〇六	七四・〇六	八三・三三	七四・〇〇
二月	八六・四四	七四・四三	八六・〇〇	七四・〇〇
三月	八六・五五	七三・三三	八六・五五	七四・七四
四月	八九・〇〇	七五・六六	八六・四四	七五・三三
五月	八八・六六	七五・六六	八九・六一	七五・三三
六月	八八・七六	七五・六六	八八・二二	七五・三三
七月	八八・三三	七五・六六	八七・七四	七四・六六
八月	八八・三三	七四・七四	八八・三三	七四・六六
九月	八七・〇〇	七三・〇〇	八七・八三	七四・八三
十月	八七・〇〇	七三・〇〇	八八・六六	七四・八三
十一月	八六・五五	七三・〇〇	八七・六六	七三・三三
十二月	八六・〇六	七三・〇〇	八七・〇〇	七三・三三
均	八六・〇六	七三・〇〇	八七・〇〇	七三・三三

十、雨量 兩期は十月より二月、乾燥期は三月より九月までなるが、其雨量は比較的海岸に多く内地に入り高地に近くに從ひて減ず、一九一二年の雨量を示せば、

地方	雨量	降雨日數
サンダカン	八・七	一四
クダト	九・五	一三
セツセルトン	九・五	一〇
ボーホー	二八・三	一〇
ボリマ	八・九	一三

一八四

## 第九編 佛蘭西領

### 第一章 佛領印度支那

一、面積及人口 佛領印度支那は安南、東蒲塞、交趾支那、東京及老撾の五州及び支那より租借したる廣州灣にして、面積凡そ二十五萬六千方哩、人口千九百十一年に千六百九十九萬二千二百二十九人あり。

二、政治 總督の管理の下に政務長官其行政を掌り交趾支那は直轄殖民地なれば知事を置き他の各州には駐在長官を置く、國中に土人裁判數個あり控訴は西貢及び河内に於ける控訴院にて取扱ふ、控訴院には佛蘭西人の裁判官を置くと雖ども、土人に關する事件に關しては、土人判事をして補助せしむ、一千九百五年刑法を改良して拷問を廢す。

佛蘭西領

三、歳入出豫算 一九一四年の總計は三千五百五十八萬五千三百「ピヤストル」なり。

四、陸軍兵員 一九一四年に於ける總計二萬五千五百十四人を有す。

五、關稅同盟 印度支那に於ける佛領(安南、東京、東蒲塞を含む)は一八八七年關稅同盟を結びたり。

六、輸出入總額(一九一三年)

輸入 一三、四九、五〇磅 輸出 一三、八〇、三三磅

七、主なる輸出品 は米にして一千九百十二年には八十一萬七千七百七十三「メトリック」噸を輸出せり、其他魚類、胡椒、皮革、石炭等を産す。

八、入港船舶 一九一二年に印度支那諸港の入港船は一千八百七十一隻百五十六萬四千九百九十四「メトリック」噸なり。

### 第二章 五屬地十七邑

一、安南 は一八八六年二月二十三日ヒュエ府に於て批准せし條約に依り佛國の保護國となり、國

八五



王ウアンタイは一八八九年に佛國政府の同意を以て王位に上りしと雖も、一九一五年攝政會の輔佐を受けたる第二子デユイ、タンの十五歳になるに及び位を譲れり。

面積及人口 面積は凡そ五萬二千方哩にして人口一千九百十三年に兵員を除き四百七十萬二千四百四十六人あり。

産物及出入船 米、玉蜀黍其他穀類、煙草、砂糖、木材、藥草、生絲にして生絲は毎年凡そ三十萬「キログラム」を産す、又土人の採掘に係る鐵銅、石炭、鉛及金礦あり、主なる輸入品は綿絲、棉花、茶、石油、紙類及煙草にして主なる輸出品は砂糖、米、棉花、生絲及紙等とす、千九百十三年の入港船は四十三隻三萬七千八百七十八噸出港船四十七隻四萬二千九百六十七噸なり。

二、東藩塞 は國王シリワスの統治する所にして千八百六十三年に佛國の保護國たるを承認せり、面積四萬五千方哩、人口千九百十一年に百六十三

萬四千二百五十二人あり、千九百十四年の歳計豫算は四百九十五萬七千五百十三「ピヤストル」にして王室費五十二萬五千「ピヤストル」を含む外國貿易は重に交趾支那の西貢を經過す、輸出品は鹽魚、綿、煙草及米にして輸入品は鹽、酒、織物なりとす。

三、交趾支那 面積概算は二百方哩千九百十一年の人口は兵員を除き三百五萬七百八十五人あり、此殖民地は佛國人下院議員一人を出す、學校は三百八十、教員は八百人、生徒一萬九千人あり、重なる耕作物は米にして其面積百三十五萬八千七百六「ヘクタール」なり、魚油、木棉、生絲、胡椒等は主なる輸出品なり、一千九百十三年の入港汽船は六百隻七十萬四千五百三十二噸なり。

四、東京 は千八百八十四年佛國に屬し面積四萬六千四百方哩、人口は千九百十一年に六百十一萬九千七百二十人あり、安南王は始め東京に於ける一總督に依りて、代表されしも千八百九十七年七

月總督を廢し佛國の駐在官之に代れり千九百十四年の地方豫算は歳入出共に八百九十九萬三千五百九十七「ピヤストル」なり、主なる物産は米にして多くは香港に輸出す、其他玉蜀黍、甘蔗、絹、棉花生絲、珈琲、菓物、煙草等を産し、生絲は毎年五十萬「キログラム」を産出す。

五、老撾(ラオス) 屬地千八百九十三年以來佛國保護の下に在りて面積九萬八千方哩、人口は千九百十一年に六十四萬八百七十七人あり、土地豊饒にして米、棉花、藍靛、煙草、果實を産し又「チーク」樹を有す。ラオス行政費は交趾支那より全額十三分の六東京及安南より十三分の五、東藩塞より十三分の二を支出す、千九百十四年の地方豫算は歳入出共百萬千二百「ピヤストル」なり。

六、廣洲(支那租借地) 支那海岸の廣州灣地方及灣内の二島は支那より租借し印度支那總督の管轄に屬し行政上之を三地方に分つ、面積凡そ百九十方哩、人口凡そ十六萬八千人あり、主なる輸入品

は棉絲、阿片及石油にして主なる輸出品は葉袋、豚及蕈等なり。

七、佛領印度 印度に於ける佛領の所領は千八百十四年及十五年の條約に依り設定せるも五屬地より成る面積合計五萬八百三「ヘクタール」即ち凡百九十六方哩にして千九百十三年の概算人口は左の如し。

地名	人口	地名	人口
ボンヂンエリー	四、四三三	メラウキ	八、三〇〇
ワイルカレ	二、五五五	チルヌーラル	二〇、六四五
ヴキルター	一、九〇〇	ノブーンカドー	七、三三二
チルーブアキ	一、九二六	コチエリー	五、八三〇
バカール	一、七九三	シヤンテルナガル	二、八二五
ヴェタバコム	一、五八八	マ	一〇、五七三
モリアールバヌ	一、五七五	ヤナオン	五、一三五
アノークボム	一、五三三	カリカル	一、九三九
グラント、アルデ	八、八八	總計	二、九〇、五九

尚ほ同年に於ける州別各州の人口にはボンヂンエリー十七萬二千四十三人、カリカル六萬百五十四人、シヤンテルナガル二萬八千二百九十三人、マ



一萬五千五百七十三人、ヤナオン五千三百三十五人、合計二十七萬六千九百八十八人なり。

及屬地

八、全島地を分ちて五屬地十七邑とす、各屬地の首府は前掲の五箇所なり、各邑に邑制を施行す、知事はボンデシエーリーに駐在す、本領より佛國上下兩院に議員各一人を選出す、學校は千九百十三年度に小學校六十一專門學校四あり、政府の補助を受け教員二百七十人、生徒六千八百八十人あり、千九百十四年の豫算は歳入出共に百九十四萬七千「ルービー」にして本國支出豫算額は二十三萬法なり。千九百十三年ボンデシエーリー、カリカル及マへ港に於ける輸入額は千八百十三萬七千五百十五法にして輸出額は四千三百七十二萬九千五百五十五法にして輸出額は千九百十三年に三百五十五隻六十二萬九千六百五十一噸にして出港船は三百四十三隻六十二萬四千二百九噸なり。

第二章 ニュー、カレドニヤ

一、其面積と人口 佛國の流刑者殖民地にして其全權は知事に在り、面積七千六百五十方哩、千九百十一年の人口五萬六千八百八人にして同年の流刑者五千六百七十一人あり、千九百十三年の兵員は歐洲人四百人あり、一九一四年日本人一千人の移民ありたるを以て現在に於ては概算六萬人の人口を有す。而して本島の物産は鑛物を以て第一と爲し農業、漁業、牧畜を以て之に次ぐ。

二、地方歳入出 一九一三年の同豫算は四百三十萬二千六百二十一法にして一九一四年佛本國よりの補助金豫算歳出額は二百五十五萬五千四十九法なり。

量六パーセント以下の物は輸出するも收支償はざるを以て明治四十三年以來同島に私設精製所を設立し之を精製して輸出しつゝあり。格魯謨は其硬度鐵との中間に在りて硬度の軌條原料に供せらるるものにして世界産額の三分の二は本島より産す大正二年度の輸出左の如し。

	未製	精製	格魯蘭
英	三、七、六三	一、五、〇〇	一、八、〇七
佛	一、三、六七	九、五三	三、〇九
白	二、七、〇九	三、四、〇〇	—
獨	二、五、六七	—	—
蘭	二、二、〇〇	—	一、五、八三
米	—	—	二、六、三六
計	五、八、五三	五、八、五三	三、三、三三

四、貿易額 一九一三年の貿易は輸入七十萬八千三百十六磅、輸出六十三萬三千五百三十六磅にして「ニッケル」及鑛物の輸出額は八百四十四萬五百

二十八磅の巨額に上れり。

五、出入船舶 一九一三年首府ノーマヤ港の出入船舶は百五隻三十六萬二千三百五十噸とす。  
六、屬地 ニューカレドニヤ所屬の諸島は其東南を距る三十哩、バイン島の面積五十八方哩人口約六百人、フキ島の東北ワリス群島面積四十方哩人口約四千五百人、ニューカレドニヤの東六十哩ロヤルチー諸島(三要島及數多の小島より成る)面積約八百方哩人口一萬四千八百人西北を距る百七十哩、ヒュオン諸島及ワリス群島の南フツナ及アラフキ島は人口約千五百人ありて千八百八十八年佛國所領に屬せり。  
七、ニュー、ヘブリデキース諸島 是千九百六年二月英佛の協定に依り共同の政務は兩國の高等代理官を以て之を扱ふ、主要産物は玉蜀黍、珈琲、「ヴァニラ」等なり。



# 第十編 暹羅

一、國王 國王「チョーファ、マハ、ヴァジラヴー」は「チユラロンコルン」第一世の子にして千八百八十一年一月一日生れ千九百十年十月二十三日先王殂するに及びて位に即く。

二、行政權 は内閣の輔弼に依り國王之を執行す内閣員は外務、内務、司法、大蔵、文部、工部、陸軍、海軍等の諸大臣なり。全國を十八州に分ち一州を除き各一名の知事を置く隸屬の諸州は多く其領主之れが行政を掌れども近年に至り中央集權の勢大に張り國王の任命せる知事は完全なる權力を以て南北の隸屬諸州に臨みて行政の衝に當る。

三、面積及人口 面積は凡そ十九萬五千方哩にして内四萬五千方哩は馬來半島に在り千九百十年十一月に人口八百十四萬九千四百八十七人あり。

四、宗教 宗教は主に佛教にして全國の教育は殆

ど僧侶の掌中に在り全國佛寺の數七千六百九十七にして僧侶十八萬六千四百十三人あり。

五、財政 一九一四年度の豫算は歳入五百二十三萬七百六十九磅、歳出五百二十三萬五百四十六磅あり、近年英人顧問官の盡力に依り財政整理の緒に就き將來此國の商業及歳入を擴張し得る見込あり。

六、防備 實際武裝せる陸軍の常備兵は將校千二百人下士卒二萬五千人あれども陸軍の一般状態は甚粗雑にして寧ろ新設の海軍陸戰隊の方重きをなせり、軍艦は二十一隻ありて海上勤務の兵員五千人の外に豫備員二萬人あり、又陸戰隊兵員は一萬五千人にて第一第二豫備員合計五千人あり。

七、主要物産 は米にして其他胡椒、藍、乾魚、牛、胡麻等を出し鑛産は莫大にして金、鐵、亞鉛石炭、滿俺、安質母尼及水銀等なり、又チーク樹製材の業北方に盛なり。

八、輸出入及船舶 一九一三年の貿易額輸入六百

九十六萬二千三百三十四磅、輸出八百八十五萬八千九百二十一磅に達せり。船舶入港一九一三年に九百十四隻八十九萬五千二百四噸、出港九百七隻八十八萬八千三百一噸なり。

九、鐵道 は一八九三年四月盤谷及バクナム間十四哩を開通し、其後盤谷よりコラットに至る百六十五哩の線路は一九〇〇年十一月一日よりロブプに至る支線二十六哩は一九〇一年一月よりベトチヤプリに至る九十五哩は一九〇三年六月より盤谷よりタチンに至る二十哩は一九〇五年一月各々運輸を開始し、一九一五年一月に於ける官私設鐵道全線は八百九十五哩に達せり、盤谷より馬來半島縦貫鐵道は一九一七年二月開通せり、郵便事務局は盤谷に在りて一八八五年萬國郵便聯合に加入す又一八九〇年小包郵便を開始し新嘉坡及萬國線と連絡を有す。電信線路全長二千九百哩あり。

十、貿易 一九一五—一六年度盤谷港外國貿易は輸出一億五百九十七萬五千二百二十二銖、輸入七千

五百四十五萬四千八百八十八銖にして、差引三千五十二萬五千六百六十四銖の輸出超過なり。之を前年度に比すれば輸出に於て四百三十三萬八千八百八十八銖を増加し、輸入に於て三百二萬七千二百二銖の減少なり輸出超過の主なる原因は、同國に於ける米作の盛況に基く米輸出の活躍にあり。米一品のみの輸出額は優に同國總輸入額七千五百萬銖を凌駕せり。輸入の減退は主として時局に伴ふ一般的緊縮と船腹不足に基く輸送減少によるものなり。

輸出入額國別表を掲ぐれば左の如し。

國別	輸 入		輸 出	
	一九一四年度	一九一五年度	一九一四年度	一九一五年度
暹 洲	一、五、一、二六	一、四、九、九三	五、七、七	一、一、〇、三三
澳 洲	一、八、一、七	一、七、七	六、四、四	—
白 耳 義	一、三、四、四三	二、一、三三	七、四、〇〇〇	三、三、九
英領馬來州	一、九、八、五	一、五、〇、〇	三、六、七〇	三、一、八、六
緬 甸	一、三、七、七	二、六、一、四	六、一、〇、六	一、七、〇、七
支 那	八、五、一、三	八、五、四、八	三、四、三、三	六、五、四、五



丁	抹	五三、四八八	七三、六〇〇	七三、二〇七
佛	蘭	七五、九六六	六九、五五八	四三、四三六
獨	逸	三、一八、九四〇	一八、八六〇	一五、〇六六
和	蘭	一、〇七、四八六	九六、八八六	二、二四一、一八七
香	港	一五、一一、六四一	八七、五九〇	二七、五三四、一七三、一四四、九三三
英	領	印度	九、三、一八九	九、三、二九二
佛	領	印度支那	八、七、七三	七、五、七三
伊	太	利	七、二、五二九	六、三、八〇六
日	本	一、八六、五五〇	一、九九、五九〇	二、九、七五七
葡	領	東印度	二、六九、八五三	三、〇三、四四八
比	律	賓	二、七、七九	六、四、九二〇
新	嘉	坡	一、四、七、三三	一、四、七、三三
瑞	士	蘭	一、〇、一〇〇	一、〇、一〇〇
英	本	國	一、三、八三、一四六	二、九、九〇〇
北	米	合衆國	二、八五、九六三	三、〇六、九五五
其	他			五八、四九八
計				二七、四〇六

(一録は我が約七十四錢)

同地に於ける輸出入貿易の多くは香港若くは新嘉坡經由にて行はるゝを以て、本邦よりの直輸出

入以外此兩地を經由して輸出入せらるゝ貨物亦尠からず。

### 第十一編 葡萄牙領

一、面積、人口 南洋に於ける葡領は左の殖民地より成る、其面積及人口左の如し。

葡領地	面積	人口
ゴア(印度)千九百年	一、一、九〇〇	四、七五、五五三
印度洋群島(チモール)等	七、三三〇	三〇〇、〇〇〇
支那の澳門等(千九百年)	一、一、九〇〇	一、一、九〇〇
支那の澳門等(千九百年)	一、一、九〇〇	一、一、九〇〇
支那の澳門等(千九百年)	一、一、九〇〇	一、一、九〇〇
支那の澳門等(千九百年)	一、一、九〇〇	一、一、九〇〇

二、葡領印度はマラバル海岸に在るゴアと孟買の北殆んど百哩の海岸にあるダマオ及ダマオの西凡百四十哩を隔てたる小島デューとより成る千九百十三年度の歳入概算は百三十九萬六千九百八十八「エスクド」にして歳出は百十三萬九千六百九十八「エスクド」なり。ゴアには五百一の製鹽所ありデューにも五ヶ所あり、千九百十二年海陸よりの輸入額は七百十萬九千「ルーピー」にして輸出

葡萄牙領

額は二百二十三萬三千六百二十六「ルーピー」なり主なる輸出品は椰子實、魚類、香料、果物、藍、三、澳門は支那廣東河口のマカオ島にあり、イバ及びゴア等の二小島と共に一州を成す、千九百十年十二月三十一日現在の人口は七萬四千八百六十六人あり、一九一三年度の歳入は百九萬六千三百五「エスクド」にして歳出は八十一萬八千二百七十五「エスクド」なり、貿易は支那人の手により主に通過貿易とす。

四、葡領チモールは馬來群島中のチモール島の東部と其隣島たるブラ、カムピンより成る、此島は一八八九年の條約に據り葡領、葡領の二に分たれしも後一九〇四年十月一日の新協商により一九〇八年に其境界を更定せり、又此地元行政上澳門の管轄に屬せしが一八九六年獨立區となり澳門よりの補助金を受く、一九一三年度の歳入は共に三十七萬八千六百二十一「エスクド」なり。



## 第十二編 南洋占領諸島

### 一、占領諸島

獨領南洋諸島はニューギニア、ビスマーク、ソロモン、カロリーネン、マリアーネン、マーシャル及びサモアの諸群島より成り、總面積九萬六千一百六十四哩を有するも、我が海軍に於いて占領せるは僅に其一部分たるマリアーネン、カロリーネン、マーシャルの三群島のみにして、總面積九百六十方哩、人口六萬に過ぎず。マリアーネン群島は東經百四十四度三十分乃至百四十六度、北緯十四度乃至廿一度の間に於いて、西方に面し、軽く彎曲せる弓狀の火山列島にして、各島の面積總計千四百四方基米を算す。本群島は素と西班牙の領有する處なりしも、明治三十二年カロリーネン群島と共に約九百七十五萬圓を以て買収したるものなり。カロリーネン群島は東經百三十二度乃至百六十四

度、北緯三度乃至十度の間に在る諸島嶼を包括するものにして、其海上總面積三百萬方基米、獨逸帝國の約五倍に相當するも、然も海洋面上に存する陸地は僅に千四百五十方基米に過ぎず、バラウ諸島を除けば、千平方基にして、ボナベ、ヤツブ、トラツク、クサイエの四島を其主なるものとす。マーシャル群島は北緯四度三十分乃至十五度、東經百六十一度乃至百七十三度の間に亙り、其海洋面の總面積は獨逸帝國の二倍に達す、群島は三十個の珊瑚環礁より成り、多くは小島又は小礁にして、面積總計約四百平方基米に過ぎず。本群島は相距る約二百基米の二島列をなし、其東位に位するをラツク島列(日出島列)、西方に在るをレツク島列(日没島列)と稱す。

獨逸南洋諸島讓渡條約左の如し。

一、西班牙國はカロリーネン、バラウの二群島及びマリアーネン群島中、グアム島を除くの外、爾餘の諸島を西貨二千五百萬ペセタの代償に對し、

獨逸國へ讓渡すこと。

二、カロリーネン、バラウ及びマリアーネン群島に於ける西班牙の商業及び農業に對しては、獨逸國は自國の商業に對すると同等の取扱をなし、且つ同等の便益を與ふべし。又該諸島に於ける西班牙國の宗教團體には、獨逸國の宗教團體と同等の權利及び自由を享有せしむべし。

三、西班牙國は其海軍船舶並に商船の爲め、石炭貯藏所をカロリーネン群島、バラウ群島及びマリアーネン群島に、各一ヶ所設置し、戦時に於いても之を保持するの權利を有す。(バラウ群島は蓋しカロリーネン群島の一部と認むべきものなり)

### 二、獨領時代の統治狀況

バラウに駐在するニュー・ギニア總督に於いて、ニュー・ギニア保護領及び群島領を統治す。群島領とは即ちマーシャル、カロリーネン及びマリアーネンの三群島の謂にして、之を三天行政区に

南洋占領諸島

一九五

別ち、東經百四十八度以東のカロリーネン群島(東カロリーネン群島)及びマーシャル群島を一區とし、ボナベ島に政廳を置き、更に東經百四十八度以西のカロリーネン群島(西カロリーネン群島)及びマリアーネン群島を一區とし、ヤツブ島に政廳を設く。ボナベ政廳にはヤルイト(マーシャル全群島)、ナウル及びトラツクの三支政廳を屬し、ヤツブ政廳にはバラウ及びクサイエ(マリアーネン全群島)の兩支政廳を屬す。政廳長は總督に直屬し、支政廳長は政廳長の指揮を受く。各島に通ずる法令として存するものは、營業條例、關稅法等、極めて少數に過ぎず。司法權も亦政廳長及び支政廳長に於いて之を行ひ、歐米人其他文明人の民事事件にして、重要なものは總督府地方裁判所之處斷す。

財務—各政廳及び支政廳は島民及び在留歐米人其他に頭稅(島民に對しては各島稅額に差あり、在留外國人中十六歳以上の男子は一律に年額四十



馬克)、營業稅(一等稅年額三千馬克、二等稅千二百馬克、三等稅八百馬克、小賣店三百馬克、其他附加稅あり)、關稅等にして、其他各種の小稅及び手数料等を課す。

教育—教育制度の見るべきもの只官立學校のサイパン島に一枝あるのみ。爾餘の諸島に於いては、基督教々會附屬の初等學校あるのみにして、官憲は獨逸語の教授を強制し、之を獎勵する外、何等干涉する所なし。

衛生—各島を通じて、官憲の最も銳意努力せるは衛生にして、政廳所在地には必ず官立病院あり。應醫一名、助手一名之を管理し、多くは島民患者に治療を行ひ、只管島民の衛生狀況の改善に努む應醫の如きも大に優遇せられ、政廳長又は支政廳長よりも高給を受くるものあり。

交通—三群島を通せる定期航海としては、ヤルイト會社の汽船一隻、獨逸政府の保護を受けて、年三回シドニー、香港間を往復するのみ。西カ

ロリーネンの大島には、北獨ロイド及び燐礦會社の汽船等時々寄港し、大陸との交通上便利多し。各政廳及び支政廳所在地には、帝國郵政省の管下にある郵便局を設く、支政廳長又は其補助官、局長として郵便事務を司り、ヤルイト會社汽船、其他の船便に依り郵便物を發受す。

ヤツプ島には電信局あり、獨蘭電信會社の海底線により電信事務を取扱ふ。又近時に至り、獨蘭政府の保護の下に、南洋無線電信會社設立せられヤツプ島に電信局を設け、バラウ、アンガウル、ナル及びラバウル諸地方と交信す。

### 三、占領後の處置

大正三年占領と共にヤツプ、ボナベの兩政廳長以下の獨逸官吏は總て島外に放逐し、カロリーネン群島のトラツク島に南洋群島防備隊を設置し、政廳並に支政廳所在地に分隊を置き、以つて各島全部に互り軍政を布き、統治に任じ、七年六月更

に民政を施行するに至る。

臨時南洋群島防備隊民政長

手塚敏郎

### 四、主要なる島嶼

マリアーネン群島(明治三十九年)

地名	面積	人口	東經	北緯
サイパン島	一八五	三、〇八三	一四四・四一四	一五・五一七
チニアン島	一三三	五五	一四三・三	一四・七〇〇
ロタ島	一一三	四三二	一四三・三	一四・七〇〇
マカン島	三三	—	—	—
カロリーネン群島(大正三年)	—	—	—	—
ボナベ島	三三三	四、〇二一	一五二・〇二六	六・五七〇
ヤツプ島	二七〇	六、五〇三	一五七・五八三	九・五九六
トラツク島	一三三	二、〇〇〇	一五三・三二五	六・五七四
クサイエ島	一〇〇	六三三	一六三・六六六	五・五三三
バラウ島	一〇〇	四、七七七	一五三・二二三	六・五八〇
マリシャル群島(大正二年)	—	—	—	—
ヤルイト島	六〇	九五五	一六三・三三三	五・四六八

距離—占領三群島と本邦との距離及び各島嶼間の

南洋占領諸島

距離は横濱ヤルイト島間直航二千四百餘海里、サイパン、トラツク諸島經由二千九百餘海里にして平均速力九哩の汽船を以つて横濱よりサイパン島に達するには八日、同島よりトラツク島まで四日更にボナベ島まで三日、クサイエ島へ三日、ヤルイト島へ三日を要すべく、又トラツク島より西すれば、同島よりヤツプ島まで四日、更にアンガウル島まで二日を要し、同島よりヤルイト島まで二千二百餘海里、十四日、長崎まで千六百海里、八日の航路を有す。又ヤルイト島よりナウル島へは四百四十海里、二日、ヤルイト島よりラバウル港へは千三百七十五海里、八日、シドニー港へは三千二百二十九海里、十二日、バラウ島コロール港より香港へは千五百四十五海里、九日の航程なりとす。

氣候—マリアーネン群島は、其最大島たるグアム島の氣候に依り、他は自ら類推するを得べし、即ち同島に於ける平均温度は、二月攝氏廿六度三分



八月廿七度二分、一年間の最高最低温度の差僅に八分を過ぎずして、一般に熱帯海洋的中和の温度を有し、暑熱は常に海風及び降雨の爲めに緩和せらる。マリアーネン亦各島を通じ暑熱割合に強烈ならず、温度は一年を通じ、攝氏廿六、七度にして、高低の差極めて少なく、北東、北西又は南東の恒風の強弱及び降雨量の多少に依り幾分の高低あるを見るのみ、雨量は一般に東部に多くして西部に少く、最近五ヶ年の平均に依れば、クサイエ島に於ける一年の雨量六千四百七十二耗、ボナペ島に於いて四千六百廿三耗、西方ヤップ島に至れば三千二百五十耗に減ずるを見る、然れども西方諸島に於いても一ヶ月として降雨日なきはなく多雨季少雨季とあるのみ。マーシャル群島の主島たるヤルイト島に於いては、一年間の平均温度攝氏二十七度十九分にして、其最も暑熱なる二月に於いては、平均廿七度四分、最も低温なる七月に於いては二十七度、一年間の最高温度は三十六度九

分、最低温度廿一度にして、其差約十六度に達するも、一日の高低の差は僅に六度六分に過ぎず。種族—マリアーネン群島固有の住民はチャモロ種族にして、其體軀の發育良く、皮膚は褐色にして比律賓人に比すれば色薄く、人種としては開發の度低からず、曾て陶器を造り、造船術を解し、漁網其他の漁具を作り、建築の如きも割合に進歩せるもの、如く、多數の島に大建築物の基脚たるチャモロ柱と稱する四角形の石柱の今日尙ほ存するを見る。本群島は十九世紀に入り、多數のカロリーネン種族の移住を見るに至り、且つ西班牙政府は本群島の二、三大島を以つて其所領各島犯罪人の殖民地となせり。現時本群島人口の一般は固有のチャモロ族にして、ロタ島の如きは、他種族を交へず、他の一般は移住し來れるカロリーネン種族にして、チャモロ族とは融和せざるもの、如しカロリーネン群島はミクロネシア種族の中樞にして、大洋洲民族の一部に屬するも、各島々民の習

俗言語必ずしも同じからず。東西兩カロリーネンに大別するを得べし。機械を解し、航海に巧にして、女子の地位一般に高く、酋長を中心とする封建制度を組織せること等は、カロリーネン族に共有の習俗なり。マルシャル群島の住民はミクロネシア種族に屬し、混血種なり、其目暗黒色にして黒色の長き頭毛を有し、髯少く鼻低く、唇は幾分上向し、額部は發達せず、皮膚は銅褐色にして、黒褐色のもの亦少からず、男子に比すれば女子は概して其色薄し、身長は一般に短く、殊に女子には侏儒に類するものあり。衣服はヤルイト、其他南方諸島に於いては、基督教の普及と共に、歐人の服裝を學ぶもの多きも、北方諸島には半裸體にして、植物の葉又は纖維を以つて編める蓆を腰部に纏ふ古來の習俗を存す。往時は黥を施せしも、是れ亦宣教師の訓戒に依り廢するに至れり。宗教—群島民は一般に開發の度低く、其慾望頗る單純にして、單に衣食足りて逸遊するを得、敢て

虐待せられざれば以つて足れりとし、治者の何人たるが如き固より關する所に非ず。各島を通じ何等固有の宗教を有せず、其多數は基督教に歸依せりと雖も、教義を眞乎に了解せるに非ずして、唯だ宣教師の熱心なる布教、其反覆説諭已むなきにより、衣を纏ひ、耳環黥飾を廢する等、一見頗る教化せられたるが如き狀を示すに至れるのみ。其教化たるや單に形式に止り、古來島民殺伐の性に富み、争鬪を常とせるも、近年大に其風を革め、平和從順なる民と爲れるは、基督教の感化に負ふと云はんよりも、寧ろ獨逸官憲が島民の飲酒を嚴禁し、銃器其他兇器の所持を禁じたるに因由すと解すべきが如し。

五 歲 計

占領三群島を通じて歳入の重なるものは關稅(輸入稅及輸出稅)燐礦積出稅(ヤップ政廳管内のみ)、入頭稅及び營業稅にして、歳出の重なるも



のは俸給諸給與、衛生費及教育費にして、千九百十四年(大正二年)の經常費豫算によれば、マール群島に於ては、歳入に於て六萬六千六百六十五馬克の剰餘を示せるも、マリアネン群島、カロリーネン群島に於ては、何れも歳出超過を示し、前者は九萬三千二百四十五馬克、後者は十三萬四千八十六馬克の不足にて、三群島を通じ、歳計不足額十六萬餘馬克を算せり。即ち左の如し。

歳入	六六,六六五
歳出	八二,八三〇
歳計不足額	一六,一六五

### 六 貿易

マリアネン群島に於ける輸出品の重なるもの

はコブラにして、明治三十九年度本島總輸出額五萬五千五百十馬克の内、コブラの輸出額は三萬三千二百二十六馬克、大正元年の總輸出額二十三萬二千四百三十七馬克の内、コブラ二十一萬四千八百十三馬克、同二年の總輸出額二十三萬四千四百九十三馬克の内、コブラ二十一萬九千三百九十九馬克にして、此等コブラの大部分は日本へ輸出せらる。其他の輸出品は煙草、海參、珊瑚、極樂島、石鹼等にして其額極めて僅少なり。輸入品は麥粉、米、建築材、肉類、織物、衣服、裝身具、金具等の日用品大部分を占め、其總輸入額大正元年には二十八萬六千六百十九馬克、二年には二十九萬五千四百十七馬克を計上せり。カロリーネン群島に於ける貿易總額は年額約四百二十五萬六千馬克にして、即ちボナベ、トラツク、ヤツブ、バラウの諸島に於ける大正二年度(内ボナベ島は元年の)輸入額は百二十七萬四千八百八馬克輸出は百六十八萬五千四百五十八馬克にて、右の外にはクサイエ島及びアン

ガウル島の輸出入若干額あり。クサイエ島は其數僅少なるべきも、アンガウル島には輸出に於いて燐礦約九萬噸、價額約二百五十二萬馬克、輸入に於いて南洋燐礦會社使用人及び會社所要品約五十萬馬克を計上し得べし。マールシャル群島に於ける大正二年の輸出額は百四十三萬六千八百三十七馬克、輸入額九十四萬七千七百三十二馬克にして輸出品中主なるものは例に依りてコブラなりとす、其他僅少なる鱈鱈、黒蝶貝及び鼈甲等あり。コブラは獨國及び濠洲へ、鱈鱈は支那へ、鼈甲は獨國へ輸出せらる。

島内の椰子樹栽培に適する地にして、未だ樹影を見ざるもの少からず、若し此等を利用し、極力栽植に努むるに於いては、コブラの産額は著しく増加すべし。各群島(ナウル島を含む)コブラ産額左の如し。

年次	數量	價額	年次	數量	價額
一九一〇	四,七三三	一,二六六	一九一三	六,三六八	一,九一三
一九一一	四,七三三	一,二六六	一九一四	六,三六八	一,九一三
一九一二	五,六六一	一,五八三			

尙ほ千九百十三年に於けるコブラの本邦輸入額、濠洲、印度、海峽殖民地、蘭領印度、佛領印度、其他の諸國よりは二千六百六十五噸にして、此等石鹼製造の原料に使用せらる。

### 七 産業

農業—小島散在、地積狹少の結果、農事は之を重視するを得ざるも、椰子樹の栽培に至りては頗る好望なるもの、如く、我が占領三群島のコブラ(椰子脂)産額は年額約五千八百噸内外にして、其産額は年と共に増加しつゝあるも、海岸地帯、又は

西カロリーネン群島の燐礦は三群島隨一の利源にして、アンガウル島は燐礦々量約三百萬噸と稱せられ、獨逸南洋燐礦株式會社之が採掘權を有し千九百八年以降事業を開始し、年額九萬噸を獨逸



及次本邦へ輸出す。同社は此他にフアイヌ及びピ  
リリウ南島の燐磺採掘権を有するも、未だ事業に  
着手せず。ナウル島の燐磺採取は太平洋燐磺會社  
と獨逸ヤルト會社との共同經營にして、年額二  
十萬噸を獨米及び本邦へ輸出し、成績頗る佳良な  
り。燐磺を除きては、三群島を通じ、何等の礦物な  
く又將來鑛業の成立し得べき見込なきもの、如し  
漁業―島民之を行はざるに非らざるも、多くは自  
家用魚介を捕ふるに過ぎず。鱈、沙魚、瑠璃、蠟  
龜の類到る處に棲息し就中貝類に至りては頗る好  
望にして、其繁殖驚くべきものあり。其他海産、  
海綿等の産出少からず。之を製造して貿易品た  
らしむるは困難ならざるべく、現にマリアーネン、  
西カサリーネン諸島よりは年々若干の乾海參、本  
邦商人の手に依り支那及び本邦へ輸出せられつゝ  
あり。唯だ輸出品として之を製するに、淡水の缺  
乏、日光の射度強烈に過ぐる等の支障ありて、工  
夫を要するもの尠がらず。

### 八 移 民

群島中移民又は殖民上注意の價値あるは、東カ  
ロリーネンのボナペ島及び西カロリーネンのバラ  
ウ島、其他マリアーネンの諸大島にして、就中ボ  
ナペ島は地積廣大にして、農業移民には好適の  
地たり。西カロリーネン諸島は魚介其他の海産物  
豊富にして、漁民の移住に適し、マリアーネン群  
島の諸島に至りては、地積小なるも、人口稀薄に  
して、且つ海産に富み、殊に椰子樹、其他の栽培  
適地多く、農漁兩種の移民に適す。左に群島中主  
なる島嶼の人口稠密の度を示さん。

島名	面積 (平方英里)	人口 (大正三年)	人口密度 (大正三年)
サイパン島	一五	三、七二二	二四七
トラツク島	三三	一、〇〇〇	三〇三
ボナペ島	三三	四、〇〇一	一二一
クサイエ島	二〇	六、〇〇〇	三〇〇
ヤツフ島	二七	四、五〇〇	一六七
パラウ島	四〇	九、五〇〇	二三八
マルシャル群島	四〇〇		

(外務省通商局調)

## 第十三編 日本及南洋貿易

### 重要輸入品量額

品名	一九一六年		一九一七年	
	數量	價額	數量	價額
米	英領印度 八、〇六八	三、八七〇	英領印度 一、一四四	六、〇七〇
	佛領印度 八、三〇九	三、三三三	佛領印度 一、〇〇〇	三、三三三
	暹羅 三、三〇九	一、三三三	暹羅 一、〇〇〇	三、三三三
	香港 八、三三三	一、三三三	香港 一、〇〇〇	三、三三三
糖	關領印度 八、七、四、四	七、三、八、四	關領印度 八、六、八、七	八、六、八、七
	比律 四、五、〇、〇	三、三、〇、〇	比律 三、三、〇、〇	三、三、〇、〇
	香港 七、七、七、七	四、八、二、八	香港 七、七、七、七	四、八、二、八
粗	計 一、一、一、一	一、一、一、一	計 一、一、一、一	一、一、一、一
コンテンス	英領印度 六、三、〇、三	八、四、六、一	英領印度 六、三、〇、三	八、四、六、一
	關領印度 七、八、〇	一、四、九、四	關領印度 七、八、〇	一、四、九、四
	比律 三、九、七、四	四、八、三、八	比律 三、九、七、四	四、八、三、八
苧	計 一、一、一、一	一、一、一、一	計 一、一、一、一	一、一、一、一
日本及南洋貿易				















糖					貝					糖				
計					計					計				
比	印	關	佛	香	比	關	印	佛	香	比	關	印	佛	香
洲	實	度	度	港	實	度	度	度	港	實	度	度	度	港
三,三三六	九,六六六	二,三三三	一,三三三	二,六八四	一,七九二	七,七七一	五,七七一	三,七七一	一,三三三	一,七九二	七,七七一	五,七七一	三,七七一	一,三三三
八,八八八	三,三三三	四,四四四	二,二二二	五,五五五	九,九九九	二,二二二	三,三三三	四,四四四	一,一〇〇	三,三三三	四,四四四	二,二二二	五,五五五	一,一〇〇
二,六八四	五,五五五	一,〇〇〇	七,七七一	三,三三三	四,四四四	二,二二二	三,三三三	四,四四四	一,一〇〇	三,三三三	四,四四四	二,二二二	三,三三三	四,四四四
七,〇七〇	二,二二二	三,三三三	四,四四四	五,五五五	六,六六六	七,七七一	八,八八八	九,九九九	一,〇〇〇	二,二二二	三,三三三	四,四四四	五,五五五	六,六六六

魚					魚					魚				
計					計					計				
比	印	關	海	香	比	關	印	海	香	比	關	印	海	香
洲	實	度	地	港	實	度	地	地	港	實	度	地	地	港
一,九二〇	九,八七〇	〇	一,二二二	一,三三三	一,九二〇	九,八七〇	〇	一,二二二	一,三三三	一,九二〇	九,八七〇	〇	一,二二二	一,三三三
二,二二二	三,三三三	四,四四四	五,五五五	六,六六六	七,七七一	八,八八八	九,九九九	一,〇〇〇	二,二二二	三,三三三	四,四四四	五,五五五	六,六六六	七,七七一
八,八八八	九,九九九	一,〇〇〇	二,二二二	三,三三三	四,四四四	五,五五五	六,六六六	七,七七一	八,八八八	九,九九九	一,〇〇〇	二,二二二	三,三三三	四,四四四
五,五五五	六,六六六	七,七七一	八,八八八	九,九九九	一,〇〇〇	二,二二二	三,三三三	四,四四四	五,五五五	六,六六六	七,七七一	八,八八八	九,九九九	一,〇〇〇







魚油、鯨油		菜子油		大豆油		薄荷腦及油		多祥真田		經木真田		(麻、真田)	
香	印	香	瀝	香	瀝	香	印	香	比	瀝	比	瀝	瀝
度	度	港	洲	港	洲	港	洲	港	洲	洲	洲	洲	洲
三,五〇六,二六八	四,九〇〇	七三三,三六〇	三,五二二,三三七	九,八八〇	三,二二〇	二,八三三	三,〇〇〇,一〇五	一,〇七〇,七三三	一,〇〇〇,〇〇〇	一,八八〇,〇〇〇	三,三〇〇,〇〇〇	一,八八〇,〇〇〇	六,九〇〇,〇〇〇
一,〇〇〇	七六八	一〇〇,〇〇〇	五,六〇〇	三〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇	二,〇〇〇	八,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	
一,七〇〇,〇〇〇	二八,〇〇〇	七,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	
二,九〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇	八,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	

木		拿柄、拿手		水		南洋年鑑	
比	印	比	印	比	印	比	印
洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲
三,一〇〇	三,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
三,〇〇〇	三,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
三,〇〇〇	三,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
三,〇〇〇	三,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇







レリス絲		綿織		綿織		人造肥料		セメント	
比	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛
領	領	領	領	領	領	領	領	領	領
度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
2,171	2,562	8,402	4,407	2,171	2,562	8,402	4,407	2,171	2,562
10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000

南洋年鑑		人造肥料		セメント		綿織		製革	
比	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛
領	領	領	領	領	領	領	領	領	領
度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000



白木		天竺		色木		棉木	
比	香	印	暹	海峽殖民地	香	印	暹
律	港	度	羅	地	港	地	羅
三,九二二	四,九七三	三,四六〇	一,三三三	一,九八〇	一,三三三	一,三三三	三,一〇七
六,七	一,九八二	八,四一六	一,五二八	一,三三三	一,三三三	一,三三三	三,一〇七
一九,五五一	一七,六〇〇	一四,三三九	二,三二九	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,九四八
一,一九九	八,五八一	九,七五七	三,七五八	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,七〇六

毛絲		紡績精織絲		(生)		屑綿及屑綿絲	
比	佛	蘭	海峽殖民地	印	印	暹	比
律	領	領	地	度	度	羅	律
二,二八〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇
七,五八五	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇
一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇
一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇	一,〇七〇



日本及南洋貿易

クテ ロ イ プ ス ル					タ オ ル							
計	漆 比 律 洲	蘭 領 印 度	海 峽 殖 民 地	印 度	香 港	計	佛 領 印 度	暹 羅	比 律 洲	海 峽 殖 民 地	印 度	香 港
40,967	2,994	3,002	3,334	9,381	1,021	28,653	2,994	3,002	3,334	9,381	1,021	1,021
201,677	1,488	13,808	1,101	7,656	733	20,821	4,907	6,008	3,388	12,901	3,388	3,388
2,600,555	3,633	2,000,000	10,700	4,788	1,800	30,078	1,800	3,000	3,388	8,000	3,388	3,388
28,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

南洋年鑑

被 得 布			綾 木 綿			及 生 金 市		
計	暹 羅	比 律 洲	計	海 峽 殖 民 地	印 度	計	暹 羅	印 度
3,030	3,030	3,030	4,000	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000
11,111	11,111	11,111	11,111	11,111	11,111	11,111	11,111	11,111
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100



綿

縮

香港	印度	海峽殖民地	關領印度	比律	暹羅	佛領印度	新西蘭	計
----	----	-------	------	----	----	------	-----	---

九三,三七七	一,八〇二,四三六	五三三,一五四	一,五五九,一七二	九三,四九六	四〇,八八五	三,四八三,九三三	四,一八七〇	三九〇,五二五
一三,一九九	二六六,八六四	七三,三三三	二三四,五九二	一三,一九八	五,七三〇	五九,一〇一	七,七六六	七,〇三三
一四,一〇三	一,四四一,四三〇	七九,〇九一	三,六三七,二八一	五七五,二六〇	三九,二五〇	二,九三二,〇三九	三三,六五五	六三,一三三
一三,一四〇	二,一〇二,三〇〇	一四,一七五	一,四四一,四三〇	五,七三〇	三九,二五〇	二,九三二,〇三九	三三,六五五	六三,一三三

綿  
フランネル

香港	海峽殖民地	關領印度	比律	印度	暹羅	新西蘭	計
----	-------	------	----	----	----	-----	---

五,八九二,四八二	二,六四六,六四〇	三,〇三二,三三〇	一,六一三,三五	七,二六,五三六	二,五七,六八九	二,五七,〇三三	三,七,〇三三
一九七,七七五	一七,七五七	一,六三三,一六一	一四,三八八	八七,七〇〇	三〇,三三三	三九,四〇〇	六,八四四
六,五七,九七三	二,九二四,三三三	三,九三九,九七〇	三六,七五九	八,二八,五三三	四三,六四八	一,二四九,七二四	一六,八四四
七,五七,九七三	二,九二四,三三三	三,九三九,九七〇	三六,七五九	八,二八,五三三	四三,六四八	一,二四九,七二四	一六,八四四

綿  
帆布

香港	印度	海峽殖民地	關領印度	比律	暹羅	新西蘭	計
----	----	-------	------	----	----	-----	---

六〇,〇三六	九,一三三	一〇三,〇九二	五〇,三三三	九,三三三	四六,八三三	一,二九,一九〇	一,二九,一九〇
一七,〇三三	三,三三三	三,三三三	一,九八八	一六,八一	一六,八一	四三,九七七	四三,九七七
二〇,三三三	二,九八八	二,九八八	一,九八八	一,九八八	一,九八八	三九,四七五	三九,四七五
二〇,三三三	二,九八八	二,九八八	一,九八八	一,九八八	一,九八八	三九,四七五	三九,四七五

綿  
フランネル

香港	比律	海峽殖民地	關領印度	暹羅	新西蘭	計
----	----	-------	------	----	-----	---

四〇,八九〇	四〇,八九〇	一〇,一〇三	一〇,一〇三	一〇,一〇三	一〇,一〇三	一〇,一〇三
三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇
三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇
三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇	三,八八〇



羽二重					琥珀				
計	佛領印度	比律	暹羅	海峽殖民地	計	暹羅	比律	佛領印度	海峽殖民地
1,200	2,300	3,600	4,500	5,800	1,500	2,000	3,000	4,000	5,000
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

綿織肌衣					肌織メリヤス				
計	比律	佛領印度	暹羅	海峽殖民地	計	暹羅	比律	佛領印度	海峽殖民地
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...



絹製二肩掛					絹製手巾					モスリン					
比	蘭	印	香	計	比	佛	蘭	海峽	印	香	比	蘭	海峽	印	香
洲	領	領	領	計	洲	領	領	領	領	領	洲	領	領	領	領
洲	度	度	度	計	洲	度	度	度	度	度	洲	度	度	度	度
1,300,000	1,200,000	1,100,000	1,000,000	4,600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,200,000	1,100,000	1,000,000	900,000	4,200,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000
1,100,000	1,000,000	900,000	800,000	3,800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
1,000,000	900,000	800,000	700,000	3,400,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
900,000	800,000	700,000	600,000	3,000,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
800,000	700,000	600,000	500,000	2,600,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
700,000	600,000	500,000	400,000	2,200,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
600,000	500,000	400,000	300,000	1,800,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
500,000	400,000	300,000	200,000	1,400,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
400,000	300,000	200,000	100,000	1,000,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
300,000	200,000	100,000	0	600,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200,000	100,000	0	0	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100,000	0	0	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

絹					綿					絹子					
比	蘭	印	香	計	比	蘭	印	海峽	印	香	比	蘭	海峽	印	香
洲	領	領	領	計	洲	領	領	領	領	領	洲	領	領	領	領
洲	度	度	度	計	洲	度	度	度	度	度	洲	度	度	度	度
1,300,000	1,200,000	1,100,000	1,000,000	4,600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,200,000	1,100,000	1,000,000	900,000	4,200,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000
1,100,000	1,000,000	900,000	800,000	3,800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
1,000,000	900,000	800,000	700,000	3,400,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
900,000	800,000	700,000	600,000	3,000,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
800,000	700,000	600,000	500,000	2,600,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
700,000	600,000	500,000	400,000	2,200,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
600,000	500,000	400,000	300,000	1,800,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
500,000	400,000	300,000	200,000	1,400,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
400,000	300,000	200,000	100,000	1,000,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
300,000	200,000	100,000	0	600,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200,000	100,000	0	0	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100,000	0	0	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0











計	化粧石鹼		織		織		織		織		織	
	佛領印度	比律賓	海峽殖民地	印度	香港	蘭領印度	暹羅	佛領印度	比律賓	海峽殖民地	印度	香港
1,411,100	1,100,000	1,170,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000	1,330,000
1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000

計	人力車		家		家		家		家		家		南洋年鑑
	海峽殖民地	印度	新西蘭	比律賓	海峽殖民地	印度	香港	新西蘭	比律賓	海峽殖民地	印度	香港	
8,000	7,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000











日本及南洋貿易

洋										靴										
余					暹					比					際					
暹	比	佛	印	蘭	海峽	香	暹	比	佛	印	蘭	海峽	香	暹	比	佛	印	蘭	海峽	香
計	律	領	領	領	領	領	計	律	領	領	領	領	領	計	律	領	領	領	領	領
洲	羅	賓	度	度	度	地	羅	賓	度	度	度	地	地	洲	羅	賓	度	度	度	地
1,500,000	5,200,000	6,000,000	3,000,000	2,600,000	2,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,500,000	5,200,000	6,000,000	3,000,000	2,600,000	2,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,500,000	5,200,000	6,000,000	3,000,000	2,600,000	2,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

輪										南洋年盤										
子					輪					南洋年盤					南洋年盤					
暹	比	佛	印	蘭	海峽	香	暹	比	佛	印	蘭	海峽	香	暹	比	佛	印	蘭	海峽	香
計	律	領	領	領	領	領	計	律	領	領	領	領	領	計	律	領	領	領	領	領
洲	羅	賓	度	度	度	地	洲	羅	賓	度	度	度	地	洲	羅	賓	度	度	度	地
1,500,000	5,200,000	6,000,000	3,000,000	2,600,000	2,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,500,000	5,200,000	6,000,000	3,000,000	2,600,000	2,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,500,000	5,200,000	6,000,000	3,000,000	2,600,000	2,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000



製アンチモニー品				漆器				陶磁器					
新比	濠蘭	海峽	印香	濠運	比佛	蘭佛	海峽	印香	濠運	比佛	蘭佛	海峽	印香
西律	洲度	領印	度地	計	律	領印	領印	度地	計	律	領印	領印	度地
蘭賓	洲度	領印	度地	洲羅	賓度	賓度	度地	度地	洲羅	賓度	賓度	度地	度地
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
40,677	2,277	20,447	7,376	27,376	26,222	7,376	4,545	1,063	1,492,922	4,545	33,311	86,878	3,232
188,000	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233
38,077	4,477	26,992	3,704	32,153	31,000	7,376	4,545	1,063	95,030	4,545	33,311	86,878	3,232

(鉛筆)印

貨幣				アラシ				南洋年鑑
海峽	印香	比佛	蘭佛	海峽	印香	比佛	蘭佛	南洋年鑑
領印	度地	度地	度地	領印	度地	領印	度地	南洋年鑑
度地	度地	度地	度地	洲羅	賓度	賓度	度地	南洋年鑑
11	11	11	11	11	11	11	11	11
50,925	1,233	2,277	2,277	5,811	2,277	2,277	2,277	26,155
1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	20,447
75,288	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	3,232







最近五年間の對南洋貿易比較表

項目	大正二年		大正三年		大正四年		大正五年		大正六年	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
比羅賓										
暹羅										
新西蘭										
香港										
印度										
海峽殖民地										
關領印度										
比領印度										
佛領印度										
暹羅										
總計	15,386,571	5,105,101	13,110,546	4,080,700	17,995,948	5,355,711	21,166,055	4,033,666	15,386,571	5,105,101
英領印度	15,386,571	5,105,101	13,110,546	4,080,700	17,995,948	5,355,711	21,166,055	4,033,666	15,386,571	5,105,101
海峽殖民地										

項目	大正二年		大正三年		大正四年		大正五年		大正六年	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
南洋年鑑										
香										
印										
海峽殖民地										
關領印度										
比領印度										
暹羅										
總計	3,812,300	1,359,400	5,831,000	2,468,000	3,052,290	1,095,550	3,052,290	1,095,550	3,812,300	1,359,400
提燈										
香										
印										
海峽殖民地										
關領印度										
比領印度										
暹羅										
總計	3,812,300	1,359,400	5,831,000	2,468,000	3,052,290	1,095,550	3,052,290	1,095,550	3,812,300	1,359,400
玩具										
香										
印										
海峽殖民地										
關領印度										
比領印度										
暹羅										
總計	3,812,300	1,359,400	5,831,000	2,468,000	3,052,290	1,095,550	3,052,290	1,095,550	3,812,300	1,359,400







南洋興信録

政治、經濟、産業其他一般の通信は迅速に  
して確實

南洋通信

南洋の事情は本通信に依りて初めて闡明せ  
らる

英 領 新 嘉 坡  
南 洋 通 信 社  
東 京 市 外 代 々 木 一 六  
東 京 支 局



南洋興信錄

政治、經濟、産業其他一般の通信は迅速に  
して確實

南洋通信

南洋の事情は本通信に依りて初めて闡明せ  
らる

英 領 新 嘉 坡  
南 洋 通 信 社  
東 京 市 外 代 々 木 一 六  
東 京 支 局



NANYO BUSSAN COMPANY, LIMITED.

南 洋 物 産 株 式 會 社

東京市麹町區八重洲一丁目番地

電話本局二〇九番

支 店

(Singapore, S. S.) 新嘉坡  
 (Seremban, F. M. S.) センバンレセ  
 (K. Kuantan) クアンタン

ポールスター 自 轉 車

東京市深川區古石場町十二番地

發 賣 元 佐 野 ゴ ム 店

電話本所四九五八番  
 振替東京二六六五五番



印 全極上ポールスター  
 英文文字入サノタイヤ  
 石紋タタイイヤ  
 岩雷字入ポールタイヤ

對 南 銀 行 會 社 の 部

橫濱正金銀行

橫濱正金銀行は明治十三年公稱資本金三百萬圓を以て設立せられ我國に於ける外國貿易に關し外國爲替の作用に依り資金を融通するを目的とせり。爾來營業の擴張發展に伴ひ明治二十年には三百萬圓を同二十九年には六百萬圓を同三十二年には千二百萬圓を同四十四年には二千四百萬圓を増資し、現時に於ては公稱資本金四千八百萬圓拂込資本金四千二百萬圓となれり、左に其營業科目の主なるものを掲ぐ。

- 一、外國の爲替及荷爲替
- 二、内國の爲替及荷爲替
- 三、貸付
- 四、諸預金及保護預
- 五、爲替手形、約束手形其他諸證券の割引又は其代金取立
- 六、貨幣の交換

右の外營業の都合に依り公債證書地金銀又は外國貨幣を買入れ又は賣拂ふことを得又政府の命令に依り外國に關する公債及官金の取扱をなすことあり。尙ほ同行は支那及關東洲に於て銀を以て

對南銀行會社

引換ふべき銀行券を發行するの特權を有す但し此銀行券は關東洲に於ては強制通用力を有せず。

同行は内地及外國に多くの支店及出張所を設置す即ち大正七年十二月末現在に内國支店は東京、神戸、大阪、長崎及下關出張所の五ヶ所、外國支店は倫敦、里昂、香港、上海、香港、牛莊、北京、大連、奉天、漢口、孟買の十三ヶ所にして、又出張所に、哈爾濱、長春、青島、開原、浦蘆、紐育、シドニー、シヤートル、カルカッタ、蘭貢、マニラ、プエノスアイレス、ストラバヤ、パタゴヤ、新嘉坡の十五ヶ所なり。

- 頭 取 梶 原 仲 治
- 副 取 頭 鈴 木 島 吉
- 取 締 役 相 馬 永 胤 松 方 嚴 三 井 守 之 助
- 森 村 開 作 渡 邊 福 三 郎 小 田 切 萬 壽 之 助
- 山 川 勇 木 岩 崎 小 淵 太 巽 孝 之 丞
- 監 査 役 淺 田 徳 則
- 總 支 配 人 酒 井 忠 亮
- 副 總 支 配 人 中 村 錠 太 郎 武 内 金 平
- 本 店 支 配 人 穂 積 太 郎



NANYO BUSSAN COMPANY, LIMITED.

社會式株產物洋南

地番一目丁一町洲重八區町麴市京東

番九〇二二周本話電

店 支

(Singapore, S. S.) 坡嘉新

(Seremban, F. M. S.) シバンレセ

(K. Kuantan) シタンアタ

ボールスター 自轉車

東京市深川區古石場町十二番地

發賣元 佐野ゴム店

電話本所四九五八番  
振替東京二六六五五番



印  
極上ボールスター  
全英文字入サノタイヤ  
雷紋石イイヤ  
B號英字入ボールタイヤ

對南銀行、會社の部

横濱正金銀行

横濱正金銀行は明治十三年公稱資本金三百萬圓を以て設立せられ我國に於ける外國貿易に關し外國爲替の作用に依り資金を融通するを目的とせり。爾來營業の擴張發展に伴ひ明治二十年には三百萬圓を同二十九年には六百萬圓を同三十二年には千二百萬圓を同四十四年には二千四百萬圓を増資し、現時に於ては公稱資本金四千八百萬圓拂込資本金四千二百萬圓となれり、左に其營業科目の主なるものを掲ぐ。

- 一、外國の爲替及荷爲替
- 二、内國の爲替及荷爲替
- 三、貸付
- 四、諸預金及保護預
- 五、爲替手形、約束手形其他諸證券の割引又は其代金取立
- 六、貨幣の交換

右の外營業の都合に依り公債證券地金銀又は外國貨幣を買入れ又は賣拂ふことを得又政府の命令に依り外國に關する公債及官金の取扱をなすことあり。尙ほ同行は支那及關東洲に於て銀を以て

對南銀行會社

引換ふべき銀行券を發行するの特權を有す但し此銀行券は關東洲に於ては強制通用力を有せず。

同行は内地及外國に多くの支店及出張所を設置す即ち大正七年十二月末現在に内國支店は東京、神戸、大阪、長崎及下關出張所の五ヶ所、外國支店は倫敦、里昂、桑港、布哇、上海、香港、牛莊、北京、大連、奉天、漢口、孟買の十三ヶ所にして、又出張所に、哈爾濱、長春、青島、開原、浦鹽、紐育、シドニー、シヤートル、カルカッタ、蘭貢、マニラ、アエノスアイレス、ストラバヤ、パタゴヤ、新嘉坡の十五ヶ所なり。

- 頭取 梶原 仲治
- 副取頭 鈴木 島吉
- 取締役 相馬 永胤 松方 嚴 三井守之助
- 森村 開作 渡邊 福三郎 小田切 萬壽之助
- 山川 勇木 岩崎 小彌太 巽 孝之丞
- 監査役 淺田 徳則
- 總支配人 中村 錠太郎 酒井 忠亮
- 副總支配人 武内 金平
- 本店支配人 種積 太郎



南洋興信錄

調査課長  
検査課長

井上一男  
松尾吉士

同行預金及貸出金(單位千圓)

種別	大正四年末	五年末	六年末
定期預金	七二,五〇〇	八五,六八八	一〇一,八六一
當座預金	三五,一七〇	三三,〇〇〇	七,三三六
通知預金	一六,六四〇	三三,六三二	一七,八〇三
別段預金	三三,三三三	四四,四一六	二九,三三四
計	一〇二,〇〇〇	一五五,五二〇	一五八,三三四
貸付金	三三,四七〇	六二,〇五五	七三,二五七
貸金	一,〇三三	九八八	六六一
當座預金貸越	六,六六五	一六,二二五	三,七七一
外國爲替當座貸	二,六六五	一六,三三二	三,八六一
外國爲替當座貸	三,三三三	五,八八五	四,七三六
割引手形	三,三三三	三,〇〇〇	二,八〇三
利付爲替手形	三,三三三	三,〇〇〇	二,八〇三
計	三六,四九四	一七三,三三三	一七三,三三三

臺灣銀行

明治三十年三月、法律第三十八號臺灣銀行法に依り設立せられたる株式會社にして、當初資本金五百萬圓なりしが、其後の増資に依り、現今三千萬圓となる。頭取、副頭取各一人、理事二人以上、監査役三人以上を置く。頭取、副頭取は百株以上を所有す

る株主中より政府之れを命じ、其任期を五箇年とし、理事は五十株以上を所有する株主中より、株主總會に於いて二倍の候補者を選舉し、政府其中より之を任じ、任期を四箇年とす。監査役は三十株以上を所有する株主中より、株主總會に於いて之を選定し、其任期を三箇年とす。營業科目は(一)爲替手形、其他商業手形の割引、(二)爲替及び荷爲替、(三)平常取引する諸會社又は商人の爲め手形金の取立、(四)確實なる擔保ある貸付、(五)諸預り金及び當座貸越勘定、(六)金銀貨、貴金屬及び諸證券の保護預り、(七)地金銀の賣買及び貨幣の交換、(八)信託の業務、(九)他銀行の業務代理、(十)營業の都合に依り、國債證券、地方債券、勸業債券、農工債券、興業債券其他主務大臣の認可を受けたる有價證券の買入、(十一)公共團體、産業組合、又は畜牛保健組合に對する無擔保貸付等にして、其他の營業に關しては之を爲す事を得ざる成規なるも、外國に於ける營業の必要上、主務大臣の認可を受けたる業務に付いては此限りに非ず。尙ほ本行は同額の金銀貨および地金銀を仕拂準備に充て、券面一圓以上の銀行券を發行することを得。右の準備に依るの外、銀行券を發行せむるときは、二千萬圓を限度とし、政府發行の紙幣、證書、兌換銀行券、其他確實なる證券、若しくは商業手形を保證として發行するを得、市場の狀況に依り、さらに銀行券の發行を必要とするときは、主務大臣の認可を受け、政府發行の紙幣、證券、兌換銀行券、又は確實なる證券若しくは商業手形を保證として之を發行することを得、但

し此場合に於いては、政府の定むる所に依り、一箇年百分の五を下らざる割合を以て發行税を納む。

頭取 櫻井鐵太郎  
副頭取 中川小十郎  
理事 佐田家年 山成喬六 南新吾  
下坂藤太郎 大倉喜八郎 大谷嘉兵衛  
監査役 辰野宗義 土岐儀

南洋貿易株式會社

東京市京橋區上柳原町一

貿易運輸海産拓殖礦山業  
設立 明治廿二年十月 滿期卅年 總株數六萬株  
資本金 三,〇〇〇,〇〇〇 内拂込額 一,五〇〇,〇〇〇  
取締役 中丸善藏 取締役石川又八 岩崎清七(兼)支那人  
佐藤通 監査役川崎肇 田中丸清次 藤山雪太  
支店及出張所 ギルバート ラバウル ヤルトイ サイパン  
ナド ボナペ トラツクヤツプ パラウガサイ  
沿革 明治廿六年資本金八千圓の組合組織にて和歌山縣に創始  
同廿七年會資會社となし同卅二年株式會社に改めて十萬圓に増資  
し南洋貿易日置株式會社と稱せしが同四十一年に至り村山會資會  
社と合併し資本金を十五萬圓として現稱に改む爾來業務發展に伴  
ひ増資に増資を加へ以て今日に至る。

對南銀行會社

決算大正七年九月(第二十二期)

資本金	三,〇〇〇,〇〇〇,〇〇
内拂込額	一,五〇〇,〇〇〇,〇〇
法定及積立金	一,一三五,〇〇〇,〇〇
支拂手形	三,七九一,八六六,四二
借入金	二,二五六,七二五,九三
假受金	六七,八三三,五七
職員積立金	四,三九六,一五
土地及建物	一九三,三〇六,五八
船	三,九七九,八三〇,〇六
有價證券	一九七,三三八,〇〇
什器	五一,二九〇,二四
鳥羽造船所	二三四,二六三,五六
開拓工部	三〇,二〇八,九七
輸入商品	一,二六一,一八八,八四
輸出商品	一,〇二二,〇四三,五〇
積込品	二八〇,七〇九,三一
未着商品	五八一,七五三,九六
委託商品	四,三九五,二五
振替貯金	三八七,〇五
分店勘定	四一一,六四一,七四
航商勘定	八,二四八,九九



南洋興信錄

保證金	七〇、三七四、一二	決算大正七年九月三十日(第八期)
備拂金	四二五、〇三九、六六	資本金(拂込済)
銀行勘定	三二四、〇五二、三一	法定積立金
他店勘定	一〇九、一五四、五六	船舶減價償却金
新造船假勘定	一、四六一、三二〇、三〇	船舶修繕積立金
未濟勘定	一三四、七六六、〇一	船舶保險積立金
航海準備金	五六、五七四、九五	航路擴張並船舶改良積立金
現金	七一、五四六、二八	假受金
當期總收入金	二、三五一、六八二、六三	未拂金
當期總支出金	一、九〇六、九七六、一五	政府供託金
當期純益及前期繰越金	六二七、一八八、四三	地所及建物
內配當		船舶代價
普通配當 (年二割)	二〇〇、〇〇〇、〇〇	政府勘定
特別配當 (年一割)	一〇〇、〇〇〇、〇〇	船用準備金
		未收入運賃
		代理店勘定
		假拂金
		未收入勘定
		未經過船舶保險料
		銀行預金
		現金
		當期總收入金

南洋郵船株式會社

東京市京橋區木挽町一〇ノ七  
 目的 一般海運業並附帶業務  
 設立 大正三年九月 總株數 一萬五千株  
 資本金 (拂込済) 一、五〇〇、〇〇〇  
 取締役社長原田六郎 專務取締役松本良太郎 取締役佐伯俊太郎  
 取締役板谷宮吉 監査役緒明圭造 板谷順助

工場資金勘定	二六、二五五、六七
製品在高	五〇、三三九、〇〇
賣掛代金	二〇七、一三一、一八
八年度農園費及工場費假出金	一六一、八一七、一五
九年度以降農園費及工場費假出金	四六、三〇〇、〇〇
假出金	一、一〇〇、〇〇
什器	二七、九六九、八七
銀行預金	五、六二八、六四
現金在高	四二九、八二九、四六
借入金	一、〇一六、六四
工場に於ける銀行勘定	五〇〇、〇〇〇、〇〇
預り金	一一九、八四六、二〇
當期總收入金	二、二五〇、〇〇
當期總支出金	四二〇、三七八、五六
當期純益金	二七五、八八七、〇五
內配當	一四四、四九一、五一
株主配當 (年八未割)	一〇八、〇〇〇、〇〇

當期總支出金 二二四、二五〇、〇〇  
 當期純益及前期繰越金 五二六、一三三、七九  
 內配當 七五、〇〇〇、〇〇  
 株主配當金 (年一割)

南洋製糖株式會社  
 東京市麹町區有樂町一ノ一  
 目的 砂糖製造、農林、工業、其他一般拓殖事業及之等の事業に投資  
 設立 大正六年十二月 總株數 十二萬株  
 資本金 六、〇〇〇、〇〇〇 內拂込額 一、五〇〇、〇〇〇  
 取締役社長平岡定太郎 常務取締役豊田寅之助 取締役原真一  
 坪田十郎 松尾寛三 秋本喜七 山本藤助  
 監査役伊藤長次郎 吉野周太郎 西村惣四郎  
 決算大正七年十月卅一日(第一期)

資本金	六、〇〇〇、〇〇〇
內拂込額	一、五〇〇、〇〇〇
庶圖租權	三一五、二八九、〇〇
工場敷地	七一、一一二、〇〇
建設物	一九八、七四二、〇〇
諸機械	六八〇、三八三、四〇
工場貯藏品	四三、六七三、七〇

對南銀行會社

南洋產業株式會社  
 大阪府下東成郡中本町字森五六  
 目的 南洋其他に向て貿易及椰子栽培植物油製造造船漁

工場資金勘定	二六、二五五、六七
製品在高	五〇、三三九、〇〇
賣掛代金	二〇七、一三一、一八
八年度農園費及工場費假出金	一六一、八一七、一五
九年度以降農園費及工場費假出金	四六、三〇〇、〇〇
假出金	一、一〇〇、〇〇
什器	二七、九六九、八七
銀行預金	五、六二八、六四
現金在高	四二九、八二九、四六
借入金	一、〇一六、六四
工場に於ける銀行勘定	五〇〇、〇〇〇、〇〇
預り金	一一九、八四六、二〇
當期總收入金	二、二五〇、〇〇
當期總支出金	四二〇、三七八、五六
當期純益金	二七五、八八七、〇五
內配當	一四四、四九一、五一
株主配當 (年八未割)	一〇八、〇〇〇、〇〇



南洋興信錄

榮業運送業

大正五年十二月 總株數二萬株 決算期五月十一月

設立	大正五年十二月 總株數二萬株 決算期五月十一月
資本金	拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇
取締社長	南方常楠 常務取締役花岡政市 取締役西尾謙吉
谷倉察太郎	岡部忠太郎 佐藤通 福島英次郎 染谷成章 小
櫻井吉	小寺福一郎
監査役	春田德太郎 松浦虎之助 田中唯一郎
決算	大正七年八月十七日(第三期)
資本金(拂込濟)	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
法定積立金	五、七〇〇、〇〇〇
支拂手形	二二六、二五八、五五〇
買掛金	二七四、二五一、九一〇
貸掛金	四五、六四七、四三〇
未拂金	二八七、七七〇
機械器具	一〇六、四二四、九八〇
什器	六、七八六、〇〇〇
土地	三一、五二三、六五〇
椰子園	四二、〇七三、九〇〇
船隻	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
漁業	一一八、九〇五、八一〇
造船所	一〇二、九九〇、〇〇〇
權	二〇、〇〇〇、〇〇〇

賣掛金	四二、八二〇、九三〇
貿易品現在高	二四二、三一〇、八六〇
製油現在高	三五、〇七〇、二八〇
原料	六七、八二四、九一〇
工場雜品	二二、七三四、八六〇
仕掛品有高	五、二四〇、七〇〇
支店勘定	二五〇、三八九、〇四〇
銀行預金	三六、一三七、一一〇
造船材料	一六、一〇〇、〇〇〇
現預金	一五、四五一、二三〇
當期總收入金	二〇九、二二六、四五〇
當期總支出金	一二六、六六四、三一〇
當期純益及前期繰越金	一一三、一六九、二八〇
株主配當金 (年一割二分強)	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇

南洋椰子株式會社

神戸市北長狹通り四ノ三三

南洋に於ける椰子樹栽培及附帶事業貿易金融  
大正七年五月 總株數一萬株  
資本金 五〇〇、〇〇〇 内拂込額 一二五、〇〇〇

株主配當金 (年一割五分)

九、三七五、〇〇〇

南洋興業株式會社

神戸市海岸通り六の八

南洋に於て運商貿易栽培製油採掘造船  
大正五年十二月 總株數二萬四千株  
資本金 一、二〇〇、〇〇〇 内拂込額 四八〇、〇〇〇  
取締役(代表) 田丸祝禎 取締役岸本信次郎 武岡豐太 横井太  
耶 藤井忠兵衛 太田彌一耶  
監査役 小野権四郎 森本直藏 植田卯吉

南洋木材株式會社

神戸市浪花町二六

木材賣買及貿易海運業  
大正六年八月 滿期三十ヶ年 總株數二萬株  
資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 内拂込額 二五〇、〇〇〇  
取締役社長 佐藤勇太郎 常務取締役 田村彰一 佐藤平之助 取  
締役員 島幸吉 佐々熊太郎 來住泰二郎  
監査役 加納辰三 戸田實 大村清七 三浦長三 西山理吉  
出張所 ホルネオアブロンガン  
大株主 二、〇四七 佐藤勇太郎 二、〇〇〇 田村彰一 一、七  
八三 加納辰三 一、二五〇 島幸吉

對南銀行會社

七

專務取締役 服部春一	取締役 葛岡保 松代安太郎 坂井勲兵衛
星島義兵衛	監査役 渡打龜次郎 藤原芳次
決算	大正七年十二月十一日(第一期)
資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
内拂込額	一二五、〇〇〇、〇〇〇
當座預金勘定	一〇、九八二、一二〇
他店勘定	九、五二〇、〇〇〇
商用品	一五、八四九、九〇〇
サンギール椰子園	七四、三六八、二二三
工場及機械	一、四〇〇、一八〇
什器	二、二三九、〇四〇
建物	三、九五七、四三〇
家畜及荷車	二、二六八、二五〇
南洋勘定	一一、七六二、三三〇
雜勘定	三六九、〇〇〇
假出金	五八〇、〇〇〇
創立費	五、〇〇〇、〇〇〇
現金	一〇七、七四〇
當期總收入金	二四、四八三、一四〇
當期總支出金	一一、〇七八、〇〇〇
當期利益金	一三、四〇五、一四〇
内配當	



南洋護謨拓殖株式會社

大阪市東區北濱三ノ二二

目的 南洋に於てゴム椰子其他熱帶地植物栽培拓殖事業
設立 大正五年六月 總株數四萬株 株主人員五九四
資本金 二、〇〇〇、〇〇〇 内拂込額 七〇〇、〇〇〇
取締役社長 橫尾孝之亮 取締役喜田又藏 上田彌兵衛 原田錄
監査役長 井上徳三郎 瀧川儀作 野村元五郎
大株主 三、〇六〇高倉とよ 一、四三〇藤田廣三 一、〇〇〇井上彌三郎 一、〇〇〇上田彌兵衛 一、〇〇〇喜田又藏

南洋纖維工業株式會社

大阪市北區東堀川町二

目的 諸纖維の栽培採取製
設立 大正六年六月 總株數二萬株
取締役社長 喜田又藏 取締役範多龍太郎 南郷三郎 塚口晴治
監査役山田種 村松謙成
支店 南洋東カロン群島ボナヘ島

南洋化學工業株式會社

東京市赤坂區田町五ノ一

目的 南洋に於ける植物油脂及藥品の製造販賣
設立 大正七年六月 滿期廿々年
資本金 五、〇〇〇
出資社員(代表無) 富谷誠次郎(一、〇〇〇)(同)平田太郎(一、〇〇〇)無(兩宮朝吉)一、〇〇〇(無)柴田銀太郎(八五〇)富谷龍一(一、〇〇〇)鈴木英二(一、五〇〇)
支店 瓜哇島ブレンケル州
南洋拓殖工業株式會社
東京市神田區永富町七
目的 南洋カロン群島ボナヘ群島に於ける南洋麻を栽培採取製造加工及販賣
設立 大正七年二月 滿期卅々年 總株數三萬株
資本金 一、五〇〇、〇〇〇 内拂込額 三七五、〇〇〇
取締役社長 柴田虎太郎 專務取締役 皆川廣量 常務取締役 加藤唯治 取締役 西村惣四郎 清水雄次郎 安東藤太郎 男爵 亦松範一 三好光三郎 岩瀬銆三 西村一松 監査役 賀田金三郎 徳永安兵衛 宮田俊次郎 泉仁三郎 三由仁作
出報所 ボナヘ クサイ

南洋物産合資會社

東京市日本橋區馬喰町四ノ一五

目的 南洋天産物の採取加工販賣
設立 大正五年六月 滿期十々年 出資人員四
資本金 一、五〇〇及勞務
無限責任社員(代表) 小林正太郎(五〇〇) 同山水清毅(勞務)

南洋護謨株式會社

東京市京橋區錦屋町一

目的 護謨栽培
設立 明治四十四年二月 滿期五十七年 總株數二萬株
資本金 一、〇〇〇、〇〇〇
取締役社長 長野善五郎 常務取締役 安東藤太郎 後藤周藏 吉田啓藏 取締役 中尾義三郎 清水雄次郎 松本留吉
監査役 大西正雄 河野卓治 上原鹿造 皆川廣量 遠藤隆夫
支店 馬來半島 ショール 國チモン 主事 松崎繁太郎
大株主 三、四九〇長野善五郎 一、四八四安東藤太郎 七八二中尾義三郎 六六二吉田啓藏 五四九長野善治 五二二大崎詰雄

株式會社 南洋鐵工廠

東京市麹町區内幸町一ノ六

目的 諸機械器具一切の輸出入及製作販賣 修繕監督請負
設立 大正七年六月 總株數一萬株
對南銀行會社

資本金 五〇〇、〇〇〇 内拂込 一二五、〇〇〇
取締役 渡邊音吉 法華津孝治 藤田勇 後藤周藏 谷崎隆治
監査役 小泉浩 秋田大吉 横山俊二郎

南洋殖産株式會社

東京市京橋區新堀町一ノ一四

目的 南洋諸島に於ける拓殖工業 牧畜畜鳥糞の採取及生産品の製造販賣
設立 大正六年八月 滿期卅々年 總株數三萬株 株主人員六五
資本金 一、五〇〇、〇〇〇 内拂込額 三七五、〇〇〇
取締役社長 尾高次郎 取締役 岩崎清七 川崎肇 田中丸善藏
監査役 瀧澤吉三郎 垣藤規隆 監査役 鎌田勝太郎 安部幸之助
大株主 二、〇〇〇尾高次郎 一、〇〇〇伊藤忠兵衛 一、〇〇〇川崎肇 一、〇〇〇川崎友之介
決算 大正七年十一月三十日(第三期)

資本金 一、五〇〇、〇〇〇
内拂込額 五二五、〇〇〇
法定積立金 一、〇〇〇、五〇〇
社員積立金 三八八、一五〇
他店勘定 七、四八六、七〇〇
假拂金 八、六九〇、六一



南洋興信錄

假受備品	三五、四七七、八六
什器備品	六、七五五、八五
運物	二、七〇五、七〇
農具	二、五六六、七四
土地馬地	三八二、五七一、四六
牛馬船	四、五二七、〇〇
船舶	二、三四九、一六
機械	三、三八三、〇〇
移民	一四、九四二、二一
委託品	五、〇一一、七四
商預金	三七、二一四、一七
銀行預金	一二、八五〇、四〇
現金	一五、八一八、九一
當期總收入	七二、八〇五、八二
當期總支出	三七、三〇三、一四
當期純益及前期繰越金	三六、八六三、三三
株主配當金(一株に付五十五錢即年六歩強)	一六、五〇〇、〇〇

南國護謨株式會社

東京市京橋區銀座三ノ二〇

南洋にて護謨樹の栽培

設立 大正七年七月 滿期五十ヶ年 總株數二萬株  
 資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 內拂込額 二五〇、〇〇〇  
 取締役(代表)島津久賢 取締役宇都宮金之丞 寺島誠一郎 愛  
 甲兼達 兒玉好熊 吉田啓藏 監査役高橋新八 山下喜兵衛

株式 南亞公司

東京市日本橋區通一ノ三

目的 護謨樹栽培及同液採集並附帶業務  
 設立 明治四十四年十月 總株數二萬株 決算期五月十一月  
 資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 內拂込額 七五〇、〇〇〇  
 取締役 森村開作 川崎榮助 井上雅二 大倉文二 藤井諸照  
 監査役 法華津孝治 小畑大太郎  
 支店 馬來半島シヨホール國トロボンガ  
 決算大正七年十二月(第七年度下半年)  
 資本金 一、〇〇〇、〇〇〇  
 內拂込額 七五〇、〇〇〇  
 法定積立金 八、七三〇、〇〇  
 別途積立金 一一、四四八、二二  
 仕拂手形及借入金 七五二、五八九、四一  
 身元保證金 九、四七六、六八  
 假受金 七、二一〇、〇〇  
 職員恩給扶助基金 五〇〇、〇〇

預り金 七、八八〇、〇〇  
 阿片部勘定 一、四〇五、二一  
 起業勘定 一、四八三、四七  
 假拂金 七、四〇〇、二九  
 建築費 七、六二〇、四〇  
 在庫品 一一、一〇〇、七四  
 製品在高 二二、三八五、四一  
 仕掛り物 一〇、四三二、五〇  
 馬來護謨栽培會社 一、七七五、五一  
 臨時調査費 八、九三一、七二  
 現金 二〇、二九〇、三四  
 當期總收入 一三五、五五〇、二八  
 當期總支出 一〇九、四〇八、四一  
 當期純益及前期繰越金 二六、一五八、八七  
 株主配當金(年五分) 一八、七五〇、〇〇

合資 南洋商會

東京市本所區元町尾上河岸三〇

目的 海外貿易  
 設立 大正六年十月 滿期十ヶ年 出資人員一二  
 資本金 一〇〇、〇〇〇  
 對南銀行會社

主なる出資社員(代表無) 渡邊正三郎(二〇、〇〇〇)(無) 堤林數  
 衛(二〇、〇〇〇) 渡邊吉兵衛(一〇、〇〇〇) 三浦權四郎(一〇、〇  
 〇〇) 高山惠太郎(一〇、〇〇〇) 渡邊彌太郎(八、五〇〇) 支配人  
 渡邊恆太郎

合資 日南公司

東京市小石川區大塚坂下町一三四

目的 南洋に於ける 百股の調査及興信貿易仲介依託販賣  
 設立 大正六年九月 滿期廿ヶ年  
 資本金 一〇、〇〇〇  
 出資社員 (代表無) 伊藤友治郎(四、〇〇〇) 菊地謙讓  
 (三、〇〇〇) 三輪政一(三、〇〇〇)

日蘭貿易株式會社

東京市日本橋區本村木町一ノ三

目的 藥品化粧品護謨類糸織物陶磁器農産物諸金屬  
 同製品鑽石類船舶及其附屬具其他一般貨物輸出入  
 賣買其仲介及運輸  
 設立 大正六年十一月 滿期廿ヶ年 總株數二萬株  
 資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 內拂込額 二五〇、〇〇〇  
 專務取締役 丹澤善利 常務取締役 玉手 弘



南洋興信錄

取締役 岡野 藤二 梁瀬 長太郎 葉谷 英夫  
監査役 原安三郎  
支店 爪哇 スマラン バタビヤ 新嘉坡  
沿革 大正七年二月南國貿易株式會社を合併五十萬圓増資せり  
大正七年十一月三十日(第一期)

Table with financial data for 南洋興信錄, including items like 資本金, 内拂込額, 仕拂手形, 仕入先, 假受金, 有價證券, 銀行特別預金, 什器, 積送品, 受取手形, 輸入未着商品, 假拂金, 在庫商品, 各支店資金, 各支店勘定, 賣先勘定.

銀行當座預金

現金  
當期總收入金  
當期總支出金  
當期純益金  
内配當  
株主配當金(年一割)  
一一、四七九、二四  
一五六、六九  
七二、一七五、五九  
一一、六八一、〇八  
五九、四九四、五一  
二五、〇〇〇、〇〇

日南護謨株式會社

東京市四谷區佐川町四四

目的 馬來半島にて護謨栽培  
設立 大正七年二月 總株數四千株 株主人員十九名  
專務取締役 吉井信照 取締役 秋田太吉 後藤吉武  
監査役 佐々木文平  
櫻田益次郎  
大株主 一、四〇〇 吉井信照 三五〇 川上禰一  
大正七年九月三十日(第二期)

Table with financial data for 日南護謨株式會社, including items like 資本金, 内拂込額, 當座預金, 假拂金, 創立費, 登録税.

Table with financial data for 日新護謨株式會社, including items like 地租, 什器, 現金, 起業勘定, 未拂金, 當期利益金.

日新護謨株式會社

東京市日本橋區兜町二

目的 護謨樹栽培採液及製造販賣  
設立 大正二年六月 滿期未定 總株數六百株  
資本金 拂込済 三〇〇、〇〇〇  
取締役社長男爵 中島久萬吉 專務取締役 瀧澤吉三郎  
取締役 諸井恒平 磯野 敬 増田明六  
監査役 尾高幸五郎  
決算 大正七年十月三十日(第十一期)  
資本金(拂込済) 三〇〇、〇〇〇  
法定積立金 九、〇〇〇、〇〇〇  
借入金 四二九、〇〇〇、〇〇〇  
未拂金 二、五六五、八八六  
身元保證金 四、三五九、〇七  
銀行當座借越 一三、八三一、〇〇

對南銀行會社

Table with financial data for 日沙商會, including items like 社員恩給基金, 安茂郷園, 建物, 機械及附屬具, 營業用器具, 假拂金, 濕地整理費, 製品及牛製品, 現金.

株式 日沙商會

兵庫縣武庫郡西灘村岩屋三四〇

目的 サラソク國に於ける護謨栽培及日本に於ける各種護謨事業  
設立 大正六年十二月 滿期五十ヶ年 總株數二萬株  
資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 内拂込額 七五〇、〇〇〇  
取締役 依岡省輔 西川玉之助 芳川簡之助 松島 誠  
監査役 田宮嘉右衛門 米田李太郎  
支店 サラソク國クレーン



日本物産株式會社

大阪市東區備後町一ノ三五

目的 一般貿易各種代辦業農林工業其他  
 設立 大正七年三月 滿期未定 總株數二千株  
 資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 內拂込額 二五〇、〇〇〇  
 取締役 福井庄次郎 中村利三郎 嘉門長壽 納谷經太郎  
 友田加吉 監査役 白井利一 安住伊三郎

株式 馬來護謨公司

東京市京橋區南條馬町一の二

目的 馬來半島に於て護謨樹を栽培し護謨汁の採集及之に附帶事業  
 設立 大正元年十月 滿期無期總株數二萬株 株主人員 一三二  
 取締役長 星野錫 專務取締役 脇田勇 取締役 池田龍一  
 増田義一 横山俊二郎 監査役 日下義雄 中村房次郎  
 馬來出張所 馬來半島スレンパン市  
 大株主 一、二〇〇 脇田勇 八〇〇 増田義一 六六〇  
 安東藤太郎 六五〇 横山俊二郎 六〇〇 脇田 凱 六〇〇  
 中田玄治  
 決算 大正七年九月三十日(第十二期)  
 資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 円

内拂込額 六二五、〇〇〇、〇〇  
 法定積立金 一、一〇〇、〇〇  
 社員恩給基金 五、二五〇、〇〇  
 社員身元保證金 一、六六〇、〇一  
 借入金 二〇〇、〇〇〇、〇〇  
 興業費 七六二、〇五九、七三  
 預備金 四三、四四一、九〇  
 假拂金 四二、四八一、〇八  
 製品 四五、二二五、〇六  
 貯藏物品 二、六三〇、〇〇  
 現金 一九〇、七三  
 當期總收入金 一〇〇、三二〇、九〇  
 當期總支出金 七九、五四一、六四  
 當期純益及別途積立前期繰入金 三八、一二六、一八  
 内配當  
 株主配當金(舊株一株に付二圓五十錢一割) 三一、二五〇、〇〇  
 新株一株に付六十二錢五厘)

馬來護謨栽培株式會社

東京市麹町區内幸町一ノ四

設立 大正元年十一月 總株數一萬株 決算期四月  
 資本金 五〇〇、〇〇〇 內拂込額 一八〇、〇〇〇  
 專務取締役 淺田忠順 取締役 松宮春一郎 田尻 茂

安川隆治 監査役 加藤龜太郎

眞植護謨株式會社

東京市芝區神谷町一八

目的 南洋にて護謨樹を栽培し護謨製造及賣買並之に附帶事業  
 設立 大正九年一月 總株數一萬株  
 資本金 五〇〇、〇〇〇 內拂込額 二〇〇、〇〇〇  
 取締役 松本幸一 長野實隆 安藤源之助  
 監査役 松本良太郎

馬來貿易株式會社

東京市本郷區湯島天神町一ノ一〇

目的 輸出入業  
 設立 大正七年三月十五日  
 資本金 五〇、〇〇〇  
 專務取締役 若井峰三郎 常務 石井 直 角田憲重  
 取締役 伊藤友植 監査役 小菅甚右衛門  
 支店 瓜哇、ラン市、新嘉坡

ホルネ才護謨株式會社

東京市麹町區有樂町一ノ一

對南銀行會社

目的 護謨栽培及護謨液の採集  
 設立 大正六年十二月 總株數十萬株 株主人員六一一  
 資本金 五、〇〇〇、〇〇〇 內拂込額 一、二五〇、〇〇〇  
 取締役社長 横山 章 專務取締役 浦邊義夫 遠藤隆夫  
 上原鹿造 取締役 宇部宮金之丞 森盛一郎 野口勘三郎  
 邊邊 亨 平沼亮三 河野卓治 監査役 林 熊 徹  
 横山俊二郎 増田義一 佐藤甚九郎 大津淳三  
 決算 大正七年九月卅日(第二期)  
 資本金 五、〇〇〇、〇〇〇 円  
 内拂込額 一、二五〇、〇〇〇  
 借入金 六〇八、〇〇〇、〇〇  
 假入金 五、三六八、〇〇  
 什器 六六七、五三八、三〇  
 護謨 三九、三〇八、五七  
 出掛費 五、七六九、六九  
 未決算勘定 一、一七五、五四二、三四  
 銀行預金 六三、四六  
 現金 五、九一九、六〇  
 假拂金 九、三四二、六〇  
 在庫品 三七、三二九、八八  
 當期總收入金



南洋興信錄

當期總支出金 二、六八二、二二  
當期純益及前期繰越金 四八、五九八、六八  
内配當 三二、〇〇〇、〇〇  
株主配當金(一株に付三十二錢五厘強)

ボルネオ殖産株式會社

東京市麹町區内幸町一ノ四  
目的 ボルネオに於て護謨椰子煙草栽培採收販賣倉庫買  
易金融業及鑛山業  
設立 大正六年七月 總株二萬株 決定期八月  
資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 内拂込額 二五〇、〇〇〇  
取締役社長 若尾璋八 常務取締役 安藤保太郎 谷口守雄  
取締役 渡邊勲十郎 監査役 武 和三郎 安川隆治  
堀田金四郎

東洋貿易株式會社

大阪市東區安土町二ノ一四  
目的 物品貿易各種代理業土地開墾  
設立 大正七年二月  
資本金 二、〇〇〇、〇〇〇 拂込額 五〇〇、〇〇〇  
社長 玉置謙三郎 専務取締役 豐泉政吉 取締役 豐泉德治郎

大池忠助 加勢春吉 高尾定七 外岡鶴吉 大谷喜一  
山田増次郎 監査役 花岡敏夫 瀬川儀兵衛  
殖林部 スマトラ島 カネエタナム及モアラゴ  
貿易部 瓜哇スラバヤ パタビヤ スマトラ島パダン  
オアデコック ベンゴール

株式潮谷商會

東京市日本橋區橋町四ノ一〇  
目的 シヤツ、カラー製造販賣一般輸出入商  
設立 大正元年八月 總株數五千株(舊二千株一株百圓  
拂込額三千一百五十圓拂込)株主人員百三十一名  
取締役社長 淺野百藏 専務取締役 荒井圓作  
常務取締役 淺野萬助 大澤 郁 野村正七  
監査役 泉 熊次郎 村上重三郎  
スラバヤ支店 瓜哇スラバヤ市(開設大正元年八月)  
支 配 人 淺野萬助  
スマラン支店 瓜哇スマラン市(開設同上)  
支 配 人 同 上  
新嘉坡支店 新嘉坡(開設大正五年)  
支 配 人 川 綠慶輔  
大 株 主 七二七 淺野百藏 五三七 淺野萬助  
四六七 荒井圓作 三六〇 大澤 郁

合名 福 島 洋 行

大阪市北區西野田今關町五二四ノ四  
目的 莫大小の製造及販賣  
設立 大正三年九月  
資本金 一〇〇、〇〇〇  
出資社員 (無) 福島英次郎(六〇、〇〇〇) 福島タネ(一〇、  
〇〇〇) 西堀由太郎(一五、〇〇〇) 和田楠太郎(一  
五、〇〇〇)  
支 店 瓜哇スラバヤ市  
設 立 大正四年十月

シヨホール護謨栽培株式會社

京橋區丸屋町四  
目的 馬來半島護謨栽培業  
設立 大正七年四月 滿期卅ヶ年  
資本金 二、〇〇〇、〇〇〇  
常務取締役 岡部常太郎 辻川徳之助 取締役 原田雄門  
辻川敏三 白須金三郎 大塚信太郎 相生由太郎  
監査役 柴崎雲次郎 秦 傳次郎 小出熊吉  
シヨホール支店 馬來半島シヨール王國パトバハ  
對南銀行會社

開 設 大正七年四月  
沿 革 初め資本金廿五萬圓(全額拂込)を大正七年十一月  
二百萬圓に増加し新株式三萬五千株の内三萬株は舊株主に割當  
て殘五千株を公募し、事業の擴張をなす。

大倉護謨株式會社

東京市京橋區南水谷町六  
設立 明治四十五年六月 總株數 一萬株  
資本金 五〇〇、〇〇〇 内拂込額二〇〇、〇〇〇  
取締役 高谷鹿二 片岡孫四郎 佐々松賢藏 田村好素  
吉岡正延 清水雄次郎  
監査役 玉木誠次郎 木村壽茂 後藤周藏

臺灣拓殖株式會社

東京市京橋區南新堀町一ノ二  
目的 土地の所有並利用開拓及土地の改良水利施設農産  
業  
設立 大正二年二月 滿期五十ヶ年 總株數二萬株  
資本金 一、〇〇〇、〇〇〇 内拂込額一二五、〇〇〇  
取締役社長 中澤彦吉 専務取締役 中澤義一



南洋興信錄

常務取締役 小此木爲二 取締役 今井喜八 齋藤桂次  
長澤延次郎 秋田太吉 監査役 横田清兵衛 田村隆兵衛  
出張所 臺灣阿羅漢港東上里五溝水庄 馬來半島ヲヤンラ  
大株主 四、〇二〇 中澤彦吉 一、〇〇〇 今井喜八  
一、〇〇〇 中澤義一 中澤保全合資會社 六五〇 齋藤桂次  
五〇〇 横田清兵衛

朝日護謨株式會社

東京市京橋區日吉町一五  
設立 明治四十四年三月 總株數 一萬二千株  
一株五十圓拂込新六千株十二圓五十錢拂込  
資本金 六〇〇、〇〇〇 内拂込額二七五、〇〇〇  
取締役 國師民嘉 吉田政三 八木富三 藤村義苗  
監査役 山崎文次 澁谷嘉助

株式 宿大護謨公司

東京市日本橋區通一ノ三  
目的 馬來半島に於て護謨樹栽培

設立 大正六年七月 總株數六千株  
資本金 六〇〇、〇〇〇 内拂込額九〇、〇〇〇  
取締役 廣瀬橋三 法華津孝治 田中幸三郎 監査役 藤井清照

圖南株式會社

京橋區船松町四  
目的 太平洋諸島の通商貿易、拓植漁業、運輸仲立及管理  
設立 大正六年十二月 滿期卅ヶ年 總株數二萬株  
株主人員 四十二名  
專務取締役 岩澤福松 取締役理事 菊池長右衛門 丸谷忠七  
取締役 村山吉吉 藤田秀雄  
監査役 山下作次郎 高倉盛光

東印度貿易株式會社

大阪市北區堂島濱町一ノ五五  
設立 大正六年二月 總株數一萬株  
資本金 五〇〇、〇〇〇  
取締役社長 濱崎照道 取締役 齊藤武兵衛 渡邊朝吉  
阪上整治 高倉爲三  
支配人 木藤 郁 監査役 森平兵衛 巖 又兵衛

決算 大正七年十月卅一日(第四期)

資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
内拂込額	二五〇、〇〇〇、〇〇〇
法定積立金	七、七〇〇、〇〇〇
支拂手形	八一、六五六、〇〇〇
未拂手形	一四、四六〇、二〇〇
預り金	五二〇、八四〇
假入金	一、二四三、四四三、五三
借入金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
當座勘定	一五、八二一、一九
定期預金	一四〇、五〇〇、〇〇〇
保證預金	一〇三、〇九九、七四
仕入先勘定	四四、七七九、七三
荷爲替手形	一、二四三、八六三、二五
スラバヤ支店勘定	一一〇、八七八、〇五
パタビヤ支店勘定	五八、七六三、六〇
星川物産洋行	一八、三六二、〇七
林永福商店	三、八一八、〇〇
假出金	一、四六九、四五
未收入金	二〇〇、〇〇
什器	三、八六二、〇〇

對南銀行會社

在庫品 五二、五三九、五一  
未經過保險料 五七五、五九  
現金 二一六、四四

當期總收入金 二一九、〇九一、一〇  
當期總支出金 一七四、二八六、二八  
當期純益及前期繰越金 六八、三二五、六六  
内配當  
普通配當(年一割)  
(特別配當一割五分強)  
二六、五〇〇、〇〇

南洋物産株式會社

東京市麴町區八重洲町一ノ一  
設立 大正八年三月五日  
目的 椰子其他の栽培及輸出入業  
資本金 八〇〇、〇〇〇(一株五十圓)  
支店及出張所 英領新嘉坡、馬來半島、スレンバン市、トレンガ  
×王國クマセ、コアンタン市  
社長 栗津清亮 專務取締役 大貫公光  
池原 寧 取締役 反町茂作 小原重雄  
監査役 三浦義道 池原 遠 廣田精一



南洋殖産興業株式會社

東京市京橋區弓町二〇

設立 大正八年二月十八日

目的 護謨精製賣買並附帶事業製氷、椰子油製造賣買、電力供給等

資本金 五〇〇,〇〇〇(拂込金一二五,〇〇〇)

取締役 平沼亮三 市岡諒介 小絲 延 服部文四郎

肥田次郎 廣瀬春吉

監査役 堀 四郎 岸 祿一 青木知四郎

南洋在留日本人の部

附、海峽殖民地 新嘉坡——彼南——マラツカ

三井物産株式會社 新嘉坡支店(輸出入業)

新嘉坡バタヴィアロード一號

(電話)六五、七一三、一七六四

資本金壹億圓

本店 東京 社長 三井源右衛門

新嘉坡 支店長 三神 敬長

盤谷出張所主任 加藤 尙三

蘭貢出張所主任 小川 彌太郎

スマラン出張所主任 安部 重兵衛

スマラン出張所主任 徳 富直倫

バタヴィア出張所主任 橋 村延一

石炭、燐寸、護謨園需要品、酸類、セメ

ント、絹、棉製品、シトロン、煉瓦、錫、

コブラ、護謨、實棉、鳳梨罐詰、タピオ

カ、セイゴ、麻袋、木材、米、麥粉、大

豆、大豆粕、鉢力板、豚脂、砂糖、其他

各種雜貨

在留日本人の部

三菱商事株式會社

新嘉坡出張所

一般 輸出入業

新嘉坡ラフォルス、チエンバース

開設 大正六年十一月一日

主任 若杉恭一郎

資本金一千五百萬圓

社長 男爵岩崎小彌太

本店 東京

支店及出張所

東京、横濱、名古屋、敦賀、大阪、神戸、吳、

門司、若松、唐津、長崎、小樽、室蘭、函館、

臺北、浦鹽、北京、天津、大連、漢口、上海、

香港、廣東、海防、新嘉坡、倫敦、紐育、



■増田貿易株式會社

新嘉坡出張店

輸出入業

新嘉坡バタヴィアロード六號

開設 大正六年十一月三日

支配人 藤森章雄

本店 横濱市本町四ノ六九

資本金 (拂込済) 三、〇〇〇、〇〇〇

社長 中村房次郎 副社長 増田増太郎

支店及出張所在地

神戸、東京、大阪、安治川、名古屋、小樽、  
下ノ關、釜山、大連、倫敦、紐育、シドニ  
ー、上海、天津、漢口、メルボーン、カルカ  
ッタ、新嘉坡、

■駒井商店新嘉坡支店

輸出入業

店舗 新嘉坡コーラークエイン十六號

開設 大正五年五月

支配人 川本爲治郎

本店 大阪市東區博勞町四丁目四十二番地

支店及出張所

スラバヤ支店、印度マドラス出張所

■南洋日々新聞社

本社 新嘉坡ピクトリヤ街五十五ノ二

電話 一五八七番

支局 東京市京橋區山城町十五番地

創立 一千九百十四年四月一日

社長 古藤秀三

今や在南同胞の發展驟々たるを以て社礎既に堅く  
苟くも邦人の在る處普ねく同紙の讀まれざる地な  
きの有様なるを以て廣告の効力従つて顯著に紙面  
の體裁も年を追ふて益々向上改善されつゝあり、  
愈々邦人の活躍に連れて更に新聞雜誌の發刊を計  
畫しつゝある者ありと雖も同社が多年の奮闘に依  
て得たる信用は必ず愈々其光輝を發揚せん。

■日蘭貿易株式會社

新嘉坡出張所

輸出入業

店舗 新嘉坡ボンハムストリート六號

開設

支配人 木全省吾

本店 東京市日本橋區本材木町一丁目三番地



合資會社友田新嘉坡支店

新嘉坡ハイストリート四十三號  
(電話)二二四七番

營業目 藥品。工業醫藥一般。  
其他醫療齒科材料。

藥品部 (ハイストリート四三號)

醫療齒科材料部 (ノースブリッジ  
ロード三八四號)

新嘉坡支店開設 大正五年四月

支配人 市岡訃介

本店 東京市日本橋區本町四ノ一三  
支店所在地 新嘉坡、大連、大阪、横濱  
社長 友田嘉兵衛

大和商會

輸出入、雜貨、食料品

店舖 新嘉坡ハイストリート四十一號  
(電話)四三二番  
開業 明治三十一年

艦船部

(艦船用具並に食料品、罐詰類卸小賣)

店舖 ロビンソールロード二十五號  
電話 (一五五九番)

代表者 長野實隆

代理店 (キリンビール) 新嘉坡及馬來半島  
(白 鶴) 新嘉坡及馬來半島

同商會は故長野實義氏の創立にして氏の令息實隆氏之を繼承し、町田秀司、河島長、中村桃太郎氏と組合組織に變更大發展をなす。新嘉坡に於ける日本美術雜貨、南洋生產品輸出入商中屈指の大商店にて、新嘉坡總督の御用を命ぜらる。艦船部は嘗て外人ガヂノ氏との共同經營なりしが、大正四年以來同商會の直營に屬し、我が軍艦及び郵船等の用命を獨占す。

株式千田商會

本店 新嘉坡  
出張所 蘭貢港

設立 一千九百十八年(大正七年)四月

目的 一般貿易、船舶取扱、栽培業  
千田護謨園 ショール州レンガム、(反別二千  
英反)

樹齡七年木、從業者三百名

資本金 銀參十萬弗

社長 千田牟婁太郎、專務取締役宇尾榮次郎

東洋貿易商會

直輸出入

店舖 新嘉坡ウインチエスターハウス(卸部)

同 ノースブリッジ路七七九(小賣部)

店主 岡田伊嘉六

原籍 群馬縣山田郡矢場川村大字大町一  
(群馬縣立太田中學卒業後神戸高商入學大正三年卒業、明治二十七年生)

旭石鹼商會

石鹼製造業

店舖 新嘉坡シヨート街四十三號

開業 大正五年八月十八日

店主 山口 靜

原籍 長崎市稻佐町三丁目三百九十一番地

同商會は各種の石鹼を製造卸賣すると共に内外の化粧石鹼等の輸入販賣を營む石鹼専門の商會にして新嘉坡に於ける邦人石鹼製造の矯矢にして尤も信用あり。



■ 葛田齒科醫院 (開業明治四十二年)

醫院 新嘉坡ブラスバサロード七四號七四ノ一號 (電話二二四五番)  
院主 齒科醫 葛田顯理  
原籍 東京市日本橋區本石町二ノ一  
葛田忠治郎方

同氏は明治三十三年新嘉坡英清英學校の出身にして齒科醫業の外千歳護謨園の組合員たり、同園は一百九十英反にして已に四年木、十二年木なり。

■ 南洋及日本人社

雜誌『南洋及日本人』發行及石版印刷業  
本社 新嘉坡ミッドルロード七六號  
雜誌 發行誌數 一千二百部  
創刊 一千九百十六年八月三十一日  
主幹 佃 光 治  
主幹の同氏は東京の人、南洋新報、南洋日日新聞社に記者たりしが大正五年八月同社を創立し雜誌『南洋及日本人』を發行すると共に石版印刷業を經營し逐日隆盛に向ひつゝあり。

■ 三榮公司 (開業大正六年十二月)

洗濯石鹼製造

店舖 新嘉坡アンソンロード三九號  
代理店 Chaw-Kit & Co. Robinson road, Singapore. K. Lumpur f. m. s.  
主任 大高重次郎  
原籍 長崎市西坂町十六番地

■ 吾妻ホテル

新嘉坡 ベンクトレン街二三三號  
開業 大正七年七月十五日  
店主 谷 と の  
監督 長谷川寅三  
原籍 和歌山縣西牟婁郡田並村

◆◆◆ 四菱組

(Yotsubishi Co. Building Contractor.)  
店舖 新嘉坡クイン街二一號 (No. 213. Queen Street, Singapore.)

營業 土木建築請負、家具製作販賣、家具販賣所 新嘉坡ベンクトレン街八九號  
擔當組員 組主 梅吉 會計 水野清太郎 建築掛 箕浦辰次郎 職工三十餘名  
開業 大正五年四月二十日  
同組の業務たるやわが邦人の發展に伴ふ新事業にして頗る有望に屬す。同組の確實に迅速なる調達に依りて便宜を得るもの獨り邦人のみに非ず。

■ 新嘉坡靴製造所

製靴販賣

店舖 新嘉坡オーチャードロード一七〇號  
開業 十年前 従業者 十四名  
店主 秀 島 愛 吉  
原籍 佐賀縣神崎郡神崎町

在留日本人の部

■ 東洋藥房 (設立明治三十七年)

醫院及貿易兼營

醫院 新嘉坡ミッドルロード二十五號  
醫師 醫學士 爲野 勇 齒科醫 長野 長雄  
貿易部 (衣士頓公司) 東京市麻布區廣尾町三五  
主任 安本曾榮太  
經營者 長野 喜榮

■ 中外舎 (開業大正七年七月)

活版、石版印刷

店舖 新嘉坡ミッドルロード一七八號及二七九號  
資本金 銀一萬弗  
店主 加藤 至德 支配人 當房盛房  
支店 東京市牛込區天神町十五番地



富士商會

艦船御用達、船員糧食、船用品一切

店舖 新嘉坡ラフルスクエー壹號

(電信局筋海岸通り)

店主 富士 明吉

村松商會 (開業大正六年拾月)

陶磁器卸小賣業

店舖 新嘉坡ゾキクトリヤ街三六五號

支店 ジョホール州バトバハ

店主 村上才次郎

愛知縣海部郡七寶村大字鷹居

日本神農醫院

醫院 新嘉坡ゾキクトリヤ街四六號

(電話) 一五二二

分院 同 サウスブリッチ路一六三號

(電話) 一〇四六

開業 明治二十七年二月

院主 醫士 中野 光三

同仁藥房 (開業大正七年五月)

醫院 新嘉坡ベンクローレン街九〇號

(電話) 二〇一三

院主 醫學士 鷺尾信一 醫師 醫學士

笠原友一郎

院主 鷺尾醫學士は新潟縣の出生、明治四十一年京都醫科大學卒業、大正五年渡南三五公司經營の博愛藥房醫院に在勤大正七年五月獨立現在の所に開業す。

諏訪旅館

新嘉坡 ミッドルロード一六四號

(電話) 一三八一番

開業 大正三年一月

館主 小嶺 三治

原籍 長崎縣長崎市出來大工町

サン商會 (開業一九一五年)

寫真材料商

店舖 新嘉坡ノースブリッチロード九四號

代理店 (合資) 日本物産貿易商會 (橫濱)

南洋總代理店

星印名刺 櫻井文次郎商店 (東京)

店主 山端祥玉 支配人 近藤 稔

有坂商店

塗料、帆布、綱索、船具類、

店舖 新嘉坡 ノースブリッチロード四九六號

電話 (一四六四番)

店主 有坂 利一

商店

吳服、雜貨、和洋 樂器卸小賣商

新嘉坡 ノースブリッチロード四一五號

店主 坂 田 彰

(原籍) 備後國深安郡深津村

在留日本人の部



すらま洋行

雜貨及玩具卸

店舖 新嘉坡北橋路五〇號

開業 一千九百十四年

資本金 銀參萬弗

店主 佐藤 徳光

原籍 大分縣宇佐郡龍王村

村上商店

雜貨卸小賣(和洋樂器)

本店 新嘉坡ノースブリックロード四六九號

電話 (一八五六番)

店員 九名

店主 村上高治郎

開業 明治四十三年

同商店は明治四十三年の創業にして新嘉坡に於ける根柢深き日商中著聞せる商店にして外人間に尤も信用厚し。

倉園製箱店

紙製箱一切

店舖 新嘉坡オウターロード一八九號

開業 大正六年四月

店主 倉園 政吉

原籍 鹿兒島縣日置郡伊作村

舞子ホテル

新嘉坡 ミッドルロード一一九號

開業 大正七年七月

主人 飯島さと

原籍 長崎縣南高來郡島原村字杉谷

紀之國屋旅館

新嘉坡 ブリンセツプ街一三三號

開業 大正三年五月

館主 今出 みゑ

原籍 長崎縣南高來郡大三東村

梅屋ホテル

新嘉坡 ブリンセツプ街百三十五號

開業 大正三年二月

主人 樋口庄右衛門

原籍 長野縣長野市神明町二十二番地

在留日本人の部

加藤商會新嘉坡支店

直輸出入業

店舖 新嘉坡ロビンソンロード一〇〇號ノ一

(電話) 一三二〇番

支店長代理 川口健次郎

本店 名古屋市中區木挽町八丁目

支店 香港(中環皇后大道十九號東勝洋行)

同 神戸市榮町四ノ二

店主 加藤周三郎(名古屋)

博愛藥房醫院

醫院 新嘉坡ミッドルロード一四一五號

(電話) 二〇二二番

醫師 醫學士 大井昌四郎 醫專醫學士 杉浦園太郎

經營者 三五 公司

醫學士大井氏は北海道後志國岩内町の人にして

大正四年京都醫科大學を卒業し大正七年前任鷺尾

醫學士の後を襲へり。



都 ホテル

旅宿業兼賣買仲次

新嘉坡 ビーチロード五ノ四號

電話 (一八二番)

館主 山田貞治郎

開業 一千九百〇三年

同ホテルは三層樓の建物にして新嘉坡海岸に面し、風通し尤も好く、レオの群島を一目の裡に眺むると共に四通八達的位置に在るを以て邦人の宿泊には尤も便宜あり、而して室内完備せり。

大七商會

廻漕業、艦船納入業

店舖 新嘉坡ウインチェスターハウス内二十號

開業 大正七年四月一日

店主 白銀 子老

原籍 廣島市大手町四丁目

日本郵船會社新嘉坡出張所

出張所

新嘉坡駐在 (ラフルスチャンパス)

電話 (八五〇番)

出張員 宮下 龍藏

住宅 (電話) 八五一

今井齒科醫院

醫院 新嘉坡ノースリッチロード九八

院主 齒科醫 今井 專

鈴木 明

開業 大正五年十二月

原籍 兵庫縣城崎郡豐岡町

村田公司新嘉坡支店

(開業大正五年)

輸出入商

新嘉坡 ラフルスブレース、アケード第五十及

五十二號

支配人 中井作次郎

本店 大阪市東區北久寶寺町五丁目二十番地

旭自動車工場(開業大正六年五月)

自動車改造及修繕附屬品製造販賣

新嘉坡 ミッドルロード一二五號

場主 春山 景久

原籍 栃木縣足利郡山川

東京向笠商店貿易部

新嘉坡支店

直輸出入業 (開業大正六年)

新嘉坡 コレヤクエー十六

支配人 鳥居 重藏

本店 東京市日本橋區米澤町一ノ一一

在留日本人の部

原田商會廻漕部(開業大正七年七月八日)

廻漕業

店舖 新嘉坡(橫濱正金銀行出張所二階)

店主 原田 富司

原籍 神奈川縣橫濱市太田町一ノ一

石原洋行(開業大正六年五月)

自動車タイヤ、機械、金物、船具。

店舖 新嘉坡ウインチェスターハウス

出張所 石原廣一郎

原籍 神戶市磯上通り八ノ一二一(合名會社 香川商店内)

京都府紀伊郡吉祥院村

日比谷寫眞館(K. HIBIYA Co.)

寫眞業(開業大正三年五月)

店舖 新嘉坡アークレットビルディング四七

館主 松枝 熊逸

原籍 東京市麴町區有樂町一ノ三、明治廿五年、大正二年まで宮内省寫眞部に奉職す



小笠原商店 (開業大正三年十一月)

雜貨 小賣  
本店 新嘉坡クキクタリア街六十二號  
支店 蘭領バタム島、ラヤン、柔佛州ラヤン、ラヤン  
店主 小笠原長彦

木本商店 (開業大正六年十二月十八日)

履物雜貨商  
本店 新嘉坡海南街三十一號  
支店 蘭領バタム古河第二植林地内  
店主 木本眞三  
原籍 大阪市西區北堀江

日之出旅館 (開業九年前)

新嘉坡 アンソントンロード一一一號  
館主 飯作 福治  
原籍 靜岡縣賀茂郡三濱村

野田自動車會 (開業一九二七年九月)

貨自動車  
店舖 新嘉坡馬來街二〇ノ三  
(電話) 二〇四五番  
會主 野田 豊直  
原籍 愛知縣中島郡大和村

設備整頓 親切丁寧  
**積田館ホテル**  
新嘉坡海岸通五七  
電話一〇四四  
立創 年五十三治明

花屋 (開業大正三年四月三日)

旅館、貸自動車、護謨園用達業  
新嘉坡 ヱイクトリヤストリート(三七七ノ二) 三七八 三七九 三七九〇一  
(電話) 一五一三番 一八〇八番  
原店 檉尾七太郎  
支店 東京市本郷區元町二ノ二六  
原籍 在留日本人の部

乙宗商店新嘉坡支店

雜貨及南洋物産輸出入一般  
新嘉坡 ラフルスブレース一號  
支店 井上 靜逸  
電話 (七五〇番)  
本店 大阪市南區順慶町三丁目  
支店 乙宗源次郎(大阪)

隆弘藥房 (開業明治四十二年)

賣藥、繡帶材料  
店舖 新嘉坡ノースブリッツチロード四一四號  
(電話) 一八六五番  
店主 江尻弘一郎  
原籍 富山縣富山市

堀越商店 (開業大正五年)

醬油製造 椰子細工製造  
店舖 新嘉坡海南街二十七號  
店主 堀越 新藏  
原籍 茨城縣結城郡大花羽村

南陽藥房 (開業大正六年九月)

醫術、賣藥  
醫院 新嘉坡クキクタリア街三八一號  
院主 醫師 川幡 勝敏  
原籍 鹿兒島縣薩摩郡東水引村、明治四十一年十月長崎醫學專門學校卒業

馬場商會出張所 (開業大正二年)

南洋物産輸出  
出張所 新嘉坡ビーチロード五ノ四  
(都ホテル内)  
本店 大阪市東區南久太郎町三丁目  
(大隅熊三郎)  
原店 馬場 小太郎  
支店 滋賀縣犬上郡高宮町

長井禎商店新嘉坡支店 (創立十二年)

美術雜貨、建築材料、輸出入業  
J-K-Ladis Building, High Street, Singapore.  
電話 (三一九番) 主任 宮 本政平  
支店 長井禎三(神戸)  
支店 芝田 啓助(同)  
本店 神戶市磯邊通り四丁目七番地



■島田齒科醫院 (開業大正七年六月)

醫院 新嘉坡セルギーロード八〇號  
院主 齒科醫 島田 寛 二  
原籍 東京府下瀧野川田端二八〇番地高等工業學校紡織科出身

■勝美堂 (開業大正五年八月)

金細工 一式  
店舖 新嘉坡ウキトリヤ街一九號  
店主 酒井 米治  
原籍 愛知縣名古屋市中區南鍛冶屋町五ノ一

■薩摩屋旅館 (開業明治四十二年)

新嘉坡 ヱイクトリヤ街五〇ノ一號  
館主 德永盛之助  
原籍 鹿兒島縣噲啖郡小石川町

■松本商會 (開業大正七年三月)

艦船納入及運送業  
店舖 新嘉坡ラフルヌ、クエー一號ノB二樓及三樓  
會主 松本 拓夫  
原籍 東京市本郷區西片町十番地

■鹽屋商會 (開業大正六年十月)

内外雜貨卸小賣店  
店舖 新嘉坡ノースブリッチロード三〇六號  
店主 小林 房治  
原籍 長崎縣南高來郡口ノ津村

■坂田洋服店 (開業大正六年二月)

店舖 新嘉坡ベンクローレン街二一號  
店主 坂田 安治郎  
原籍 大阪市北區上福島町

■いろは自動車商會 (開業大正元年)

貸自動車及自動車賣買仲介業  
店舖 新嘉坡ミッドルロード一六七號  
(電話) 一七二三番、一五五七番  
會主 竹井 庫敬  
原籍 愛媛縣西宇和郡三瓶村大字安土

■好文館書店 (開業大正元年)

書籍、雜誌、文具  
店舖 新嘉坡ミッドルロード一六八號  
(電話) 一七二三番、一五五七番  
店主 竹井 庫敬

■賀川鼈甲店

鼈甲細工及生地輸出商  
店舖 新嘉坡ブラサバサロード三四號  
店主 賀川 金吾  
原籍 長崎市大浦町一番地

在留日本人の部

■立共護謨園 (創業明治四十三年九月一日)

植林地 ジョホール河沿岸ジョホールカンボン反別 一百三十英反 樹齡八年本年收四千八百斤  
代表園主 飯田富五郎 從業者十七名  
現住所 新嘉坡ベンクローレン街一三三號  
原籍 神奈川縣中郡西秦野村字堀西三〇五番地

■副島時計店 (開業明治四十年)

各種時計類其他  
店舖 新嘉坡ノースブリッチロード三八七號  
店主 副島 米吉  
原籍 佐賀縣佐賀郡

■村司商店 (開業大正四年一月)

電氣器械類一切  
店舖 新嘉坡ノースブリッチロード四二九號  
店主 村上 關三郎  
原籍 愛知縣海邊郡七寶村字鷹居

三七



庄司商店

洋紙類、板紙雜貨輸出入  
新嘉坡ノースブリッジロード三百五十四號  
電話(四五二番)  
店主 庄司 半藏  
開業 一九〇二年

三洋商店

雜貨  
店舖 新嘉坡ノースブリッジロード三四八號  
店主 溝口 秀雄  
原籍 長野縣上伊那郡伊那町

東洋ホテル (開業大正三年三月)

新嘉坡 ミッドル路一六五號  
(電話) 二〇一三番  
店主 笠直三郎  
原籍 福岡縣宗像郡福岡町

賀川商店 (開業大正七年三月二十日)

美術雜貨、玩具類一切  
新嘉坡ノースブリッジロード三七九號  
店主 賀川 準太  
原籍 長崎市大浦町一番地陸軍豫備輜重兵  
(四十二年)

牧野洋行 (開業大正三年六月)

絹、綿、フランネル、更紗、木綿反物類  
店舖 新嘉坡ノースブリッジロード三九九號  
店主 牧野周太郎 支配人 和田新一 店員 五名  
原籍 橫濱市扇町三ノ九六

水科公司 (開業大正四年)

各種陶磁器直輸入卸小賣  
店舖 新嘉坡ノースブリッジロード八四一八六號  
店主 水科榮次郎 主任 內藤直清  
原籍 名古屋市東區赤塚町三ノ一四

三矢組

石鹼製造業、土木建築指物一式  
店舖 新嘉坡ホウロウエイレン一〇號  
開業 大正七年七月

星坡組 (開業大正七年七月二十五日)

土木建築、造船及船舶修繕受負業  
新嘉坡馬來街二八號  
組長 平峯住一 從業者十餘名  
原籍 鹿兒島縣揖宿郡穎娃村

若宮廻漕店

廻漕業  
店舖 新嘉坡(橫濱正金銀行出張所二階)  
店主 新立 男 現住所新嘉坡キリンストリート三〇號  
原籍 和歌山縣東牟婁郡大太田村市屋  
在留日本人部

Japanese Bone-Setter.

No. 19 Dhoby Ghaut, Singapore

藤森新三郎

オメデトホテル 池崎商會

旅館部 新嘉坡ミッドルロード二二〇號  
池崎商會 同 ロビンソンロード一〇〇號  
開業 大正七年七月  
店主 池崎 富義  
原籍 熊本縣天草郡鬼池村

鹽崎藥房 No. 28 Bugis Street, Singapore

賣藥及眼鏡商 店主 鹽崎 俊雄  
(原籍) 福岡縣築上郡山田村字四郎丸

玉の家旅館 電話 (一三八四番)

新嘉坡 海岸通り五ノ一九號  
館主 田中百太郎



■田中旅館 田中商店

旅館及雜貨商

森永製菓株式會社代理店

旅館 彼南市チユリヤストリート 三六八號

電話 (六七九番) 電略(タナカ)

雜貨部 同 カンボストリート 一六九號

店主 田中末五郎

開業 二十一年前

(原籍) 長崎縣南高來郡山田村

■大佛商店

美術雜貨商

本店 No. 56 Beach Street, Penang.  
支店 No. 233, Penang Road,

Jalan Rajah, Alorstar, Kedah.

同 店主 岩越宗郷

開業 六年前

原籍 神戶市

■日光寫真館

寫真業—寫真材料販賣

店舖 彼南市ビナンロード第二十一號

館主 岡庭喜三治

(原籍) 新潟縣高田市樹形町十六番地

開業 明治四十年

■東亞貿易商會

日本雜貨卸、小賣業

店舖 英領彼南市チユリヤ街三二八號

開業 一千九百十四年

店主 本田 紋平

(原籍) 長崎縣南高來郡山田村

■向井漁業部

彼南沿海漁業

店舖 英領彼南市

創業 千九百八年

資本金 銀二萬弗

經營者 向井熊吉 從業者七十名

原籍 和歌山縣東牟婁郡太地村

在留日本人部

■大黒商店

雜貨及吳服反物商

店舖 彼南市キャンベルストリート一七六號

支店 同 チユリア街三三八號

店主 岩永友武

(原籍) 熊本縣阿蘇郡宮地町

開業 大正五年十二月

■日本藥房 醫業—賣藥

醫院 英領彼南市チユリヤ街三九三號

經營者 渡邊甚吉 辻才次郎

サクラビール



筒井商店 (開業明治三十五年)

美術雜貨商  
支店 英領マラッカ市ブンガラヤ路  
一九六〇七號  
同店 ヒールンストリート五四號  
原籍 兵庫縣印南郡的形村

院主 日本醫院 No. 175 Mill Road, Malacca.

開業 愛知縣渥美郡老津村  
明治四十五年

院主 鈴木齒科醫院 No. 119 Jonker St. Malacca.

開業 山形縣山形市  
明治四十五年

院主 結城齒科醫院 (開業大正四年)

海峽殖民地 マラッカ市 院主 結城寅之輔  
(原籍) 福島縣嘉穂郡大隈町  
同氏は外にゴム林(六年木)三十英反を有す。

宮崎商店 西洋食料品商  
マラッカ市ジョユストリート一三七號

開業 六年前 店主 宮崎とも  
(原籍) 長崎市八幡町五十五番地

二 ジョホール州及馬來

聯邦洲

池崎商店

吳服太物、雜貨、化粧品、賣藥

店舖 ジョホール州モア市ジャラン、

マハヤ一九號

開業 大正二年

原籍 熊本縣天草郡鬼池村

松本商店 (開業大正四年)

雜貨、吳服類  
店舖 ジョホール州モア市ジャラン、スラム  
原籍 松本幸之助  
島根縣八束郡二子村

モア醫院 (開業大正七年四月)

醫藥 醫業  
院主 ジョホール州モア市ジャランマハヤ三  
〇號  
院主 山口鎮夫

木村寫真館 政府御用

寫真及雜貨  
店舖 ジョホール州モア市メリアン  
館主 木村眞章

在留日本人の部

有田寫真館 (開業大正七年三月)

寫真及寫真材料  
店舖 ジョホール州モア市ジャラン、ハシア  
ブ第四三號  
原籍 有田一太郎  
熊本縣天草郡鬼池村

酒井商店 (開業大正五年)

雜貨商  
店舖 ジョホール州モア市  
原籍 酒井峯次郎  
福岡市藥院町六十二番地

サクラビール

ホテル 荒木商店  
店舖 ジョホール州モア市ジャラン、アブドラ一八七號  
開業 大正三年十二月 店主 荒木光輝  
(原籍) 神戸市下山手通り三ノ六二



### ■南商會

貿易商

店舖 馬來半島スレンバン市ボール街

一〇六號

支店 新嘉坡

開業 一千百十四年

店主 久保山虎次郎

原籍 福岡市博多仲間町一六番地

### ■蕭日華醫院

醫院 護謨栽培

醫院 馬來半島スレンバン市

開業 大正二年

院長ドクトル佐々木徳三郎

千葉醫學士 李天錫

醫師 國場明元

藥劑主任 醫學 龜掛川操

### ■矢ヶ部商店 護謨栽培

吳服太物、賣藥、食料品一切

店舖 馬來半島コーラ、ランボ市サルタン街

二九號

植林地 同 コーラクボ、キリリン

經營者 矢ヶ部倉吉

原籍 長崎市大浦東町五番地

### ■日本醫院大藥房

醫藥及賣藥

醫院 馬來半島コーランボ市ベタリング街

開業 十一年前

院主 佐竹逸藏

(原籍) 長野縣下伊那郡伊賀良村

同氏は明治三十八年千葉醫學專門學校出身にて

後横濱病院(ドクトル渡邊義郎氏設立)に在勤、

後シヤム國に招かれ十年前渡南現在の地に開院

### ■内田寫真館

寫真業——美術雜貨商

本店 馬來半島ベラ州タイビン、マケット街

二一號

支店 同 タイビン市

開業 明治四十五年

館主 内田鐵吉

### ■花家 (開業大正三年)

旅館業

馬來半島コーランボ市カンボンアッタ

主人 濱大和

停車場より二丁餘邦人旅館中最も丁寧切な

り。

在留日本人の部

(原籍) 横濱市石川中村

同店の營業科目を細別すれば

一、寫真部 寫真撮影、出張撮影、額縁、調製及販

賣、並に寫真材料品卸販賣

二、雜貨部 日本雜貨、輸入販賣業にして内外人

の信用最も厚し。



友森商會

自働車、及貸自働車業  
馬來半島ペラ州ゴービン  
開業 明治四十四年  
資本金 銀三萬弗  
會主 友森次作  
原籍 山口縣都濃郡久保村二ノ瀬

松田理髮業店 賣藥 理髮

馬來半島ペラ州ゴービン  
開業大正五年 店主 松田善三郎  
(原籍) 長崎縣西彼杵郡茂木村字片町

古川咖啡店

馬來半島ペラ州バトガジャ  
店主 古川友吉  
(原籍) 熊本縣天草郡坂瀬川村

サクラビール

三スマトラ島

メダン市 || テビンランギ || シャンタル || タンジョンパレ、  
|| キサラ、 || ビンゼイ || バンカランプランタン || コーラ  
シンバン || バレンバン市

旭寫真館

寫真、及寫真原料販賣  
店舖 蘭領スマトラ島メダン市  
電話(二二七番)  
開業 明治四十年二月  
從業者 四名  
館主 横田益雄  
(原籍) 京都府相樂郡大河原村大字北大河原百三十番戸

原島商店 || 日本ホテル

農具諸機械、金物類、仲介及委託販賣  
電氣諸機具一手販賣、及旅館部  
店舖 スマトラ島デリー州メダン市モスケ街  
三九 || 四一號  
旅館 同 フォーデマルク四五號  
電話三五二番、電略ハラシマ、メダン  
店主 原島貞吉  
創業 明治三十八年  
原籍 福岡縣浮羽郡吉井町

戊辰商會

藥品、醫療器械、化粧品、眼鏡類販賣  
店舖 スマトラ島メダン市  
電話(四五〇番)  
設立 明治三十八年  
資本金 蘭貨二萬五千盾  
養鯉 スマトラ島シャンタル(養鯉約十萬疋)  
會主 武内計太郎  
店員 吉野政一 笹田精一  
(原籍) 香川縣三豊郡粟田村  
在留日本人の部

ザ、イスト商會 THE EAST & Co.

美術雜貨店  
店舖 スマトラ島メダン市  
開業 一九一八年一月  
店主 岡田浩治  
原籍 東京市下谷區上野元黒門町二十四番地



■三木屋商會

營業科目 美術品雜貨、絹、綿布類、食料品、  
護謨園用具一切、土地賣買仲介  
店 舖 蘭領スマトラ島メダン市ホテルバツ  
ク街  
電話(二六一番)

開業 明治四十一年一月一日  
資本金 蘭貨三萬盾  
店主 樋口寅雄  
(原籍) 熊本市中坪井町七十一番地

■山崎商店

雜貨、反物、食料品商

店 舖 蘭領スマトラ島メダン市  
電話(四四四番)  
開業 明治四十一年  
資本金 蘭貨二萬盾  
店主 山崎 助  
(原籍) 大分縣下毛郡中津町片端町

■インデアホテル (開業十一年前)

旅館—貸自動車業

旅館部 玉場、酒場の設備あり  
營業部 自動車業、土地賣買仲介、貸家、  
貸地(所有)  
店 舖 スマトラ島メダン市(電話)一五〇番  
資本金 蘭貨十萬盾  
店主 志岐 敬治  
原籍 長崎縣南高來郡西有家村

■ウエルダホテル

ホテル業—漁業

店 舖 スマトラ島メダン市  
開業 大正六年  
店主 小川 泰直  
原籍 大分縣下毛郡大井村

■はやし商店

日用雜貨商

店 舖 スマトラ島メダン市  
電話(五百十三番)  
開業 明治二十七年  
店主 山崎 敏之  
(原籍) 伊勢國桑名郡桑名村

■龜井理髮店

理髮業

店 舖 スマトラ島メダン市リユチナント街  
三五號  
開業 大正五年二月  
店主 龜井 才市  
(原籍) 和歌山縣東牟婁郡宇久井村

■山本齒科治療醫院 (開業大正五年)

醫院 スマトラ島メダン市キアブレンス街三  
九號  
院長 齒科醫 山本 吉藏  
本院 新嘉坡ビクトリア街五一號  
原籍 鹿兒島市山下町

在留日本人の部

■田中藥房—漁業部

賣藥、化粧品、齒科器械類

店 舖 スマトラ島メダン市  
開業 明治四十五年  
漁業 スマトラ島サバン市  
經營者 國松 文次郎

■南洋藥房

藥品賣藥雜貨商

店 舖 スマトラ島ペンテンギ  
電話(二〇九番)  
開業 明治四十四年  
店主 池田 和助  
(原籍) 山口縣豐浦郡長府町五六八番地

■岡田寫眞館 (開業大正五年三月)

店 舖 スマトラ島シヤンタル市  
店主 岡田 梅次郎  
原籍 廣島縣尾道市十四日町



平野商店

美術品雜貨商—貸家業  
店舖 スマトラ島シヤンタル町  
電話(四十六番)  
開業 明治四十二年  
資本金 蘭貨二萬盾  
貸家 十五戸  
所有宅地 二千六百二十五坪  
店主 平野 鷹次  
原籍 長崎縣南高來郡南串山村

山田商會 (開業明治四十四年)

美術雜貨—製材業—栽培業  
店舖 スマトラ島アサハン州タンジョンバレ  
電話 四五番  
資本金 蘭貨十萬盾護謨栽培地十英反(八年木)  
店主 山田作太郎 支配人橋本久五郎  
製材部中西虎松 從業者五十名  
原籍 和歌山縣東牟婁郡新宮町

BOSIN商會

藥品及雜貨  
店舖 スマトラ島アサハン州キサラン町  
開業 大正三年  
店主 武内勘次郎 主任 矢倉達久  
原籍 香川縣三豐郡栗島村

南洋通信社

本社 新嘉坡  
支局 東京、蘭領、メダ  
ン市、ソラバヤ市

萬歲商會

和洋藥種商—自働車業  
店舖 スマトラ島シヤンタル  
電話 五三六番  
開業 大正三年  
資本金 蘭貨壹萬二千盾  
店主 福地勝太郎 從業者五名  
佐賀縣佐賀郡久保和泉村大上和泉  
原籍 佐賀縣佐賀郡久保和泉村大上和泉

辰商會

藥舖  
店舖 スマトラ島シヤンタル  
開業 大正六年十一月  
店主 佐久間昇  
原籍 千葉縣

在留日本人部

今宮商店 (開業明治四十三年二月)

日本美術雜貨商  
店舖 スマトラ島ビンゼイ  
店主 今泉甲子郎  
原籍 茨城縣新治郡高濱村

日本神農老藥房

藥品及賣藥、諸眼鏡並令テルモ  
メートル發賣  
店舖 スマトラ島ビンゼイ  
開業 明治四十二年  
店主 今井勝喜  
原籍 福岡縣八女郡上妻村

富士寫真館 寫真業及寫真材料

店舖 スマトラ島ビンゼイ  
開業 大正二年  
館主 友貞兵三  
原籍 佐賀縣佐賀郡鍋島村字八戸溝



■中田商會 (開業大正三年五月)

營業種目 プランタン石油會社御用達  
日本雜貨、護謨園用達品一式

本店 蘭領スマトラ島バンカンランプランタン  
市バーサル、ラマ(電話)三七番  
店主 中田 信吉  
原籍 和歌山縣  
支店 同 ジャラン、ラージャ(電話)四九番  
主任 奧村長兵衛

サクラビール

■大正藥房

賣藥及藥品

店舖 スマトラ島バンカンランプランタン  
店主 松隈 秀之  
原籍 福井縣嘉穂郡碓井

■山川商店 II 日本ホテル (開業大正五年五月)

食料品、内外雜貨卸小賣

店舖 スマトラ島バンカンランプランタン  
店主 山川 新十郎  
原籍 三重縣三重郡保々村字中野

■東郷寫眞館 (開業大正六年三月)

店舖 スマトラ島コアラシンパン

館主 廉谷 五一郎  
原籍 愛媛縣宇和島町

■伊東寫眞館 (開業大正三年十二月)

店舖 スマトラ島コアラシンパン

館主 伊東 清  
原籍 長崎縣西彼杵郡小ヶ倉村

■野村商店

雜貨、賣藥卸小賣

店舖 蘭領スマトラ島バンカンラン市  
開業 大正二年十一月  
店主 野村 榮太郎  
原籍 滋賀縣伊香郡木之町字千田

■精榮商店

雜貨、賣藥卸小賣商

店舖 蘭領スマトラ島バンカンラン市  
開業 大正二年十一月  
店主 糸川 精七  
原籍 愛媛縣宇摩郡下分町

■大和寫眞館

寫眞及寫眞材料販賣

店舖 蘭領スマトラ島バンカンラン市  
電話 百六十七番  
開業 大正二年  
館主 宮畑 清一  
原籍 廣島縣豊田郡南方村

■皆川商店出張所

雜貨卸商

店舖 蘭領スマトラ島バンカンラン市  
開業 大正七年五月  
主任 田村 徳二  
本店 東京市日本橋區富澤町六番地



■宮崎藥店

賣藥雜貨商

店舖 蘭領スマトラ島バレンバン市

開業 大正二年二月

店主 宮崎松之助

原籍 和歌山縣田方郡上南部村

■釘田商店 (開業大正五年三月)

朝日ビール代理店

店舖 蘭領スマトラ島バレンバン市

店主 釘田常造

原籍 長崎縣南高來郡杉谷村

■島田商店 (開業大正三年)

雜貨卸小賣

店舖 蘭領スマトラ島バレンムバン市十六街

二六號

原籍 島田チホ 長崎縣南高來郡口元津村

監督 梅森雪男

■浦田商店 (開業大正四年)

雜貨

店舖 蘭領スマトラ島バレンバン市

店主 浦田杉松

原籍 熊本縣天草郡富岡町

サクラビール

■山田齒科醫院

齒科 醫業

醫院 蘭領スマトラ島バレンバン市

電話 二〇四番

開業 大正元年 山田清七

院主 齒科醫 福岡縣遠賀郡上津役村

四爪哇島

バタバヤ市 || ブイテンゾルグ || スカプミ || テヤンジヨル ||  
バンドン市 || チマヒ || ジヨクジャ || ボンドウラソ || タ  
ンゴール || スマラン市 || ソーロ市 || ベカロンガン || テガ  
ル || スラバヤ市

■日本館—吉阪商店 (開業二十二年前)

雜貨部 (日本雜貨及食料品卸小賣) ホテル部

本店 瓜哇 巴タバヤ市ビントブサール街一五

支店 瓜哇、バンドン市ブラガウエ十六番

館主 吉坂寅吉

原籍 大阪府三島郡吹田町

在留日本人の部

■櫻寫眞館 (開業明治四十二年七月)

寫眞業、寫眞材料臺紙、額縁卸商

店舖 瓜哇島バタバヤ州ウエルトフリデン市ガ

ンソーラン二十二號 電話(ウエルトフリデン七三三番)

館主 芳野英

主任技師 林準平

原籍 東京市神田區表神保町一番地

五五



佐々木寫眞館

寫眞業

店舖 蘭領瓜哇ウエルトフレデン、パツサル  
パール(郵便局向)

電話(ウエルトフレデン、二六八八番)

開業 大正三年十月

館主 佐々木法憧

原籍 石川縣江沼郡橋立村字橋立

日本美術品達磨商會

瓜哇、パタビヤ市パツサルバル

(電話ウエル一―一五)

DARUMA & Co.,

No. 16 Passar Barae.

Wetevreden, Batavia, Java.

南方時報

發行所

瓜哇島ソラバヤ市

南方時報社

藤原洋行 (開業大正五年)

内外雜貨

店舖 瓜哇、パタビヤ市ペイタリスピラン

電話 一一七五番

店主 藤原鐵太郎 藤原好美

原籍 廣島縣賀美郡内海村九八一番地

木田商會 (開業大正五年)

諸雜貨販賣、及輸出入業

店舖 瓜哇、パタビヤ市スネエン八三號A

電話 二九〇八番

No.83. A, Senen, Wetevreden.

店主 木田鐵次

原籍 東京市芝區芝口三丁目十一番地

藤野商會 (開業大正六年十二月)

一般輸出入業

店舖 瓜哇、ウエルトフレデン市スネン街

店主 藤野貞藏

在留日本人の部

丸福洋行

賣藥、雜貨、卸商

店舖 瓜哇、ウエルテフレデン市サワブツ

サル街

支配人 田中銀藏

本店 富山縣富山市若木町店主 村田藤太郎

朝日商店 Asahi & Co.

賣藥及化粧品雜貨商

店舖 瓜哇、ブイテンゾルグ

(Buitenzorg, Java)

(電話 Iwai, Buitenzorg)

店主 岩井初三郎

開業 大正三年

原籍 愛媛縣西宇和郡穴井

氏は十年前に渡南し五ヶ年小川洋行に在勤後現在地に獨立同店を開く。

秀商店

玩具及雜貨

店 瓜哇島ウエルトフレデンピントエル

開業 大正五年十一月 店主 西岡峰次

原籍 東京市本郷區西片町十番地



武内商店 賣藥化粧品及雜貨商

爪哇島 スカプミ 開業 大正五年 店主武内友市

(原籍) 愛媛縣落越郡今治町

井村商店 雜貨商

爪哇島 スカプミ 開業 大正元年 店主井村岩松

(原籍) 愛媛縣西宇和郡穴井

横田商店 理髮—雜貨

爪哇島 スカプミ 開業 大正五年一月 店主横田好次郎

(原籍) 長崎縣南高來郡安中村

サクラビール

北川商店 (開業大正元年七月一日)

雜貨及陶磁器

店舖 爪哇島チャンヂョル

店主 北川惣五郎 原籍 三重縣度會郡七保村字野原

萬隆日本館商會

美術雜貨商

店舖 爪哇島、バンドン市

電話 八〇七番

店主 辻本安次郎

原籍 大阪府下三島郡吹田町二百八番地

新高洋行

雜貨卸小賣

店舖 爪哇島、バンドン市ポストウエク街一

一號

開業 大正七年二月

店主 内平貢

原籍 熊本縣菊池町

櫻商會

雜貨卸小賣

店舖 爪哇島、バンドン市

電話 八四一番

開業 大正六年

主任 平田太郎

原籍 東京府士族 藥學校出身(藥劑師)

雨平商店

雜貨及玩具

店舖 爪哇島、チマヒ市 Jimahi

開業 大正五年

主任 雨宮朝吉

原籍 山梨縣南巨摩郡鵜澤町(藥劑師)

在留日本人部

富士洋行

日本雜貨並ニ美製品卸小賣商

店舖 爪哇島ジョクジャ市

支店 電話 二六二番

爪哇カラテン町

開業 拾一ヶ年

店主 澤部磨磔男

店員 日本人十三名 土人九名

原籍 山形縣南村山郡上山町東京市淺草區榮

久町二十八番地士族



千鳥洋行

内外雜貨商

店舖 爪哇島テガル

店主 浦上 專一

原籍 熊本縣天草郡志岐村字年柄

同氏は七年前渡南爪哇島各地に行商を爲し奮闘努力するあり遂に今日の店舗を經營するに至れるが資性温厚堅志ある有爲の人たり、

金子三造商店

内外雜貨卸小賣

店舖 爪哇島ボンドウラソ

Bondowoso, Java

店主 金子 三造

原籍 長崎市十善寺仲ノ町三百十四番地

高尾洋行

一般貿易、雜貨織物土産業

店舖 爪哇島スマラン市ペゴジャン街

電話 一二六〇番

開業 一九〇八年(明治四十一年)

支店 シガデレシヨ及ジヨクジャ

店主 高尾二郎 支配人 多賀正作

原籍 熊本縣玉名郡神尾村

本綿織物輸出商

駒井貿易商店

東京市外代々木初臺四八九

高橋清治商店

内外雜貨卸小賣

店舖 爪哇島タンゴール

(Tanggoel, Java,)

開業 大正三年

店主 高橋 清治

原籍 長崎縣南高來郡堂崎村

サクラダビール



■中村洋行 (開業一九一〇年)

和洋雜貨商——理髮館

店舖 爪哇島、ソロロ市カルタガントン街  
行主 中村富五郎 主任 白井柴三郎  
原籍 和歌山縣東牟婁郡大崎郡字須江

■土門商店

雜貨卸小賣

店舖 爪哇、ペカロンガン  
店主 土門 龜治  
原籍 山形縣鮎海郡西遊佐村

■大友商店 (開業大正元年八月二日)

雜貨

店舖 爪哇島ラガル  
電話 二一番  
店主 大友信太郎  
原籍 東京市京橋區鈴木町十三番地

■合資福島洋行スラバヤ支店

直輸出入業、櫻麥酒蘭領一手販賣

店舖 爪哇島スラバヤ市

電話 (北二四九番)

門業 明治四十四年

支配人 土橋龜次郎

本店 大阪市北區西野田今開町

■平松商會

海運業——物産、直輸出入業

本店 爪哇 スラバヤ市フエヤス街第三七號

電話 (北一一〇九番)

出張所 長崎市西濱町(清水商店内)

神戸市京町八十番二十一室

會主 平松 一壽

原籍 長崎縣南高來郡堂崎村

■共立博愛堂 (開業十年)

醫局部、藥局部、衛生材料部

醫院 爪哇島スラバヤ市チャンラアン街

電話 (北八八四番) 醫局

(北九三三番)

支配人 中村章三

醫局部主任 松浦武雄

醫學士 浦松輝雄

藥局長主任 計玉井市右衛門

松浦武雄氏は千葉縣香取郡佐原田の人明治四十五年京都醫科大學卒業大正三年まで同大學内科を専攻同年渡南。



同仁醫院

齒科、花柳病  
爪哇、スラバヤ市チャンテアン街一〇一號

開業 大正二年

院主 齒科醫 安田馨

(住宅) スラバヤ市ラブアン

原籍 宮崎縣東臼杵郡門川村

倉田窯場

窯業

店 爪哇、スラバヤ市カバレン街三號  
創業 一九一七年十一月

場主 倉田隆吉

原籍 廣島縣沼隈郡水呑村

場主の同氏は明治三十三年に西比利亞に卅四年、五年露本國に三十六年英本國に三十七八年濠洲にありて専ら工業を研究し、爾來南洋に來りて種々畫策する所あり苦心の結果今の窯場を起すに至れり。

永井洋行

輸出入商

事務所 爪哇島、スラバヤ市(Suiker St.)

(電話北一五八一)

雜貨部 同 (Ketapang Street)

(電北一六五)

行主 永井靜一

原籍 石川縣能登輪島町

春陽堂

寫真業 齒科醫院

爪哇島 スラバヤ市ペアンボン

院主 本村安次

原籍 熊本縣上益城郡御船下町

亞細亞貿易商會

輸出入商 仲介業

店 爪哇、スラバヤ市 電話北一二二八

支店 同 ソロ市 電話(チヨエダン、四四四)

店主 大槻壽美夫 支店長 田村武夫

原籍 京都府與謝郡宮津本町

白石兄弟商會 (開業大正六年十二月)

輸出入業 炭酸カルシウム製造

店 爪哇、スラバヤ市(電話北四五八番)

主任 白石正三

支店 大阪市東區道修町四丁目(白石琢造)

本店 廣島市吉島町(白石恆二)

在留日本人の部

高橋商店 (開業十七年)

美術雜貨 物產貿易商

店 蘭領スラバヤ市テベコン街第五十七號

電話(N、四九七番)

店主 高橋保

(原籍)長崎縣長崎市酒屋町五十二番地

日東洋行 (開業大正七年二月)

輸出入業

店 爪哇、スラバヤ市

店主 山口菊五郎、尾本文治

第二博愛堂醫院 (スラバヤ市カタバン街)

(二五號) 電話 一三四

診察部 製劑部 賣藥部

院主 高橋金吾 石倉 朔良

五セレベス島マカツサ市



■木村旅館

店 舖 蘭領セレベス島マカッサ市カンボンエ  
ンデ

館 主 木村忠太郎

(原籍) (長崎市十人町百廿五番地)

KIMURA HOTEL

KAMPONG ENDE

MAKASSER

(開業 大正二年)

同旅館はマカッサに於ける邦人唯一のホテルに  
して埠頭より二丁餘

■村角醫院 (開業大正四年五月)

内外科婦人科

院 主 蘭領セレベス島マカッサ市

院 主 村角爲雄

(原籍) 宮崎縣宮崎郡田野村

明治三十七年熊本醫學學校出身

■林商店 (開業大正七年一月)

雜貨商

店 舖 蘭領セレベス島マカッサ市カンボン

店 主 林 音松

(原籍) 愛媛縣北宇和郡川内村

■山鹿洋行

日本雜貨商

支 店 蘭領セレベス島マカッサ市カンボン

本 店 同 鹿 弘

(原籍) 青森縣弘前市元寺町

■米屋商店 (開業大正七年二月)

日本食料品及土産品

店 舖 蘭領セレベス島マカッサ市

支 店 アドナーダ島ワイワラン

店 主 友 杉久平

原 籍 福岡縣福岡市博多出來町十八番地

■角井商店 (開業大正六年十月)

雜貨商

店 舖 蘭領マカッサ市カンボン、ポトン

店 主 角 井 正義

原 籍 北海道小樽區量徳町拾番地

■日印貿易商會 (開業大正七年二月一日)

輸出入業

店 舖 蘭領セレベス島マカッサ市

資本金 蘭貨二萬盾

支 店 蘭領フロレス島、アンボン島、ロンホ

店 主 鶴間 春二三 浦 襄

在留日本人の部

■南洋産業株式會社マカ

ツサー支店 (開業大正六年八月)

店 舖 蘭領セレベス島マカッサ市

營業 輸出椰子、籐、黑檀、白檀、高瀬貝、其他。

主 目 輸入綿布、絹、陶磁器、其他雜貨。

主 任 佐 野 實

店 員 藤田房勝 馬 杉 英

■碓井兄弟商會 (開業明治四十四年)

雜貨店

店 舖 蘭領セレベス島マカッサ市

支 店 フロレス島リヨ及びロテン

店 主 碓 井 佐 一

原 籍 東京市芝區露月町二三

六米領比律賓諸島



田川商店

直輸出入業

本店 比律賓馬尼刺市

電話 八四番 郵函二八七番

支店 神戸市三ノ宮町一丁目

創業 明治二十七年

年取引高 百五十萬圓以上

従業員 店員日人八名、土人五名、常雇人夫

三十五名

店主 田川森太郎

支配人 鹽路信一

支店支配人 秋山巖

(原籍) 長崎縣茂木郡茂木村

營業目

輸入部 綿布類、麥稈真田類、洋紙類、メリヤ

ス類、セメント、肥料、雜穀類。

輸入部 マニラ麻、(真田用、製網用)コブラ、コ

ブラ油、砂糖、貝類、煙草類。

野口商會

雜貨卸小賣商

本店 馬尼刺市サンパロク、マンリッキ街六

一、六三、六五、六七號

61, 63, 65, 67 Marique Sampaloc,

Manila.

電話 七五二番

開業 明治四十四年

年取引高 金拾萬圓以上

店主 野口賢三

(原籍) 大阪市

附南洋要覽



田川商店

直輸出入業

本店 比律賓馬尼刺市

電話 八四番 郵函二八七番

支店 神戸市三ノ宮町一丁目

創業 明治二十七年

年取引高 百五十萬圓以上

従業員 店員日人八名、土人五名、常雇人夫

三十五名

店主 田川森太郎

支配人 鹽路信一

支店支配人 秋山巖

(原籍) 長崎縣茂木郡茂木村

營業目

輸入部 綿布類、麥稈真田類、洋紙類、メリヤ

ス類、セメント、肥料、雜穀類

輸入部 マニラ麻、(真田用、製網用)コブラ、コ

ブラ油、砂糖、貝類、煙草類

野口商會

雜貨卸小賣商

本店 馬尼刺市サンパロク、マンリツキ街六

一、六三、六五、六七號

61, 63, 65, 67 Marique Sampaloc,

Manila.

電話 七五二番

開業 明治四十四年

年取引高 金拾萬圓以上

店主 野口賢三

(原籍) 大阪市

附南洋要覽



一 資本金四千八百萬圓 (内拂込済四千貳百萬圓)  
 一 積立金貳千四百參拾萬圓



# 横濱正金銀行

新嘉坡出張所 31 King Street, Singapore.

本店 横濱

支店

出張所

東京、大阪、神戸、長崎、下關、倫敦、里昂、紐育、桑港、ロスアンゼルス、シヤトル、ブエノスアイレス、布哇、シドニー、新嘉坡、孟買、カルカッタ、蘭貢、スラバヤ、バタビヤ、マニラ、香港、上海、青島、濟南、漢口、天津、北京、牛莊、大連、開原、奉天、長春、哈爾濱、浦鹽。

此外内外樞要の地に代理店有之候間、爲替、荷爲替、信用狀其他内國手形割引、貸付、保護預等便宜御相談可仕に付御都合次第御來談被下度候。

## 第一抄 在留日本人及南洋取引商名錄

### 南洋在留日本人名錄

#### 一、在南洋公館の部

公使館及領事館管轄區域

駐在地 管轄區域

香港 香港政廳、澳門政廳の管轄に屬する地域

新嘉坡 英領海峽殖民地、馬來聯邦並ニ英國保護領、ジヨホール、トレンガス、ケランタン及ケダ各州、ボルネオ島中英領北ボルネオ並英國保護領サラワク及ブルネー。

南洋在留日本人名錄

カルカッタ

バーマ州、アッサム州、ベンゴール省、ビールハール・オリッサ州合併州、バンジャラ州、西北境州、カシユミル、ネパール及アダマン島。

孟買

バルチスタン、ラヂエブタナ、中央印度、中央州、ハイデラバット州、孟買省、マドラス省、マイソール州、バロダ州及錫蘭島。

シドニー

濠州並英領ニウギニー、ニウジールランド、フィジー島、及ポリネシア群島、獨領南洋諸島、佛領ニウーカレドニア。

マニラ

米領比律賓群島、マリアナ群島中米領、グアム島。

シヤム盤谷

暹羅全國。

蘭領バタビヤ

蘭領東印度、チモア島中蘭領チモア。



一 資本金四千八百萬圓 (内拂込済四千貳百萬圓)  
 一 積立金貳千四百參拾萬圓



# 横濱正金銀行

新嘉坡出張所 31 King Street, Singapore.

本店 横濱

支店 東京、大阪、神戸、長崎、下關、倫敦、里昂、紐育、桑港、ロスアンゼルス、シヤトル、アエノスアイレス、布哇、シドニー、新嘉坡、孟買、

出張所 「カルカッタ」蘭貢、スラバヤ、バタビヤ、マニラ、香港、上海、青島、

濟南、漢口、天津、北京、牛莊、大連、開原、奉天、長春、哈爾濱、浦鹽、

此外内外樞要の地に代理店有之候間、爲替、荷爲替、信用状其他内國手形割引、貸付、保護預等便宜御相談可仕に付御都合次第御來談被下度候。

## 第一抄 在留日本人及南洋取引商名録

### 南洋在留日本人名録

#### 一、在南洋公館の部

公使館及領事館管轄區域

駐在地 管轄區域

香港 香港政廳、澳門政廳の管轄に屬する

地域

新嘉坡 英領海峽殖民地、馬來聯邦並ニ英國

保護領、ジヨホール、トレンガス、

ケランタン及ケダ各州、ボルネオ島

中英領北ボルネオ並英國保護領サラ

ワク及ブルネー。

南洋在留日本人名録

カルカッタ バーマ州、アツサム州、ベンゴール

省、ビーハール、オリッッサ州合併州、

パンジャブ州、西北境州、カシユミ

ル、ネパール及アダマン島。

孟買 バルチスタン、ラヂユブタナ、中央

印度、中央州、ハイデラバット州、

孟買省、マドラス省、マイソール州

バロダ州及錫蘭島。

シドニー 濠州並英領ニウギニー、ニウジール

ンド、フィジー島、及ポリネシア群

島、獨領南洋諸島、佛領ニウーカレ

ドニア。

マニラ 米領比律賓群島、マリアナ群島中米

領、グアム島。

シヤム盤谷 暹羅全國。

蘭領バタビヤ 蘭領東印度、チモア島中蘭領チモ

ア。



南洋要覽

總領事館及領事館 (八年二月現在)

所在	官名	官等	氏名	マニラ	書記生	五等
香港	總領事	三等	鈴木英作	副領事	五等	朝日五十四
	領事官補		井上留治郎	書記生		杉村恆造
	書記生		山本全	同		相原庫太郎
	通譯生		井手元一	シドニー	同	柴崎彌額爾
新嘉坡	領事	五等	山崎平吉	總領事	二等	米田豪真
	書記生		石塚邦器	領事官補		清水精三郎
	同		野々村雅二	書記生		吉田東作
	同		柏原蕃	特命全權公使		玉木勝太郎
	同		松本幹之亮	一等書記官兼領事		西源四郎
バタビヤ	領事	七等	岩越美高	外務書記生		高橋清一
	副領事		山崎啓字	名譽領事館		林忠作
	書記生		西岡秀治郎	佛領印度支那		
カルカッタ	總領事	四等	蛙延信道	海防		
	書記生		藤田徳松	同		
孟買	領事	六等	茂植長作	同		
	同		桑島主計	同		

同 メルボルン D. B. Fullerton  
 新西蘭 ウェリントン Thomas Young

二、海峽殖民地の部

新嘉坡 SINGAPORE

團體及學校

新嘉坡商品陳列館

本陳列館は大正七年四月農商務省の補助を得南洋協會に於て經營することとなり。同年十二月二十三日を以て新嘉坡ブラス、バサロードに設立開館したり。

本館は南洋各地に對する我が經濟的發展の誘導及媒介機關たるの目的にして客室を設備し視察者の便を計り企業及商取引の仲介並に工業原料品見本の送附及各種の經濟的調査並に通信の需に應ずる外内外商工機關と聯絡し印刷物の商品見本參考品の交換、貸借讓渡をなし毎月館報として南洋經濟時報を發行す。

南洋在留日本人名錄

開館當時の陳列品狀況左の如し

出品受付數一九七件、出品者數一六七名、出品點數一九五〇

職員(大正七年十二月現在)

館長	木村増太郎
調査課主任	瀬川 龜
囑託	古口 賢治
同	(蘭人)セー、セー、フォン、ケステル
商務課主任	石貝 邦作
書記	(東京在勤)松川 俊治
囑託	永井久一郎
同	鈴木 三榮
庶務課主任	(兼) 瀨川 龜
書記	清水 謙良
會計課主任	(館長兼任) 石貝 邦作
書記	

新嘉坡學生會館

本學生會館は南洋協會に於て劃策せし南洋熱帶地



方に於ける業務に従事すべき人物を養成する目的にて大正七年九月十七日を以て設置開館したり、學科は和蘭語、馬來語、英語、南洋事情、經濟學其他農工商業に關する特別科を併置す。學生は目下本科生十八名外に選科生五十餘名あり職員左の如し

- 學生會館長 (兼) 木村 増太郎
- 教授 瀨川 龜
- 同 和蘭人 ケステルン
- 同 馬來人 アハコツト
- 講師 英國人 ミツセス、エ、エル、ビシヨツナ
- 館醫 醫學士 鷲尾 信一
- 新嘉坡日本人小學校 生徒數六三人
- 校長訓導 藤井 茂治 訓導 新井 保
- 裁縫 會田 よき 雇 長尾 正平
- 新嘉坡日本人會 會員五〇〇人
- 會長 三神 敬長
- 理事 江崎 眞澄 宮下 龍藏

- 大塚伸次郎
- 市岡 諒介
- 古藤 秀三
- 後藤 吉武
- 酒井 鶴之助
- 書記長 篠窪 貢亮
- 書記 東丸 謙吉
- 新嘉坡日本人青年會 (No. 3 Short Street) 會員三〇〇人
- 贊助員一五〇人
- 會長 市岡 諒介
- 幹事 鹽崎 俊雄
- 委員 近藤 稔
- 荒井 金次郎
- 森 廣吉
- 渡會 辰雄
- 高橋 末吉
- 柴田 利藏
- 古藤 秀三
- 佃 光治
- 井上 靜逸
- 竹内 精一
- 星崎 猛夫
- 本部 岩彦
- 足利 福之助
- 根本 信
- 越野 榮次郎
- 中野 六治
- 小林 亥六
- 西島 正信

南洋日々新聞社  
南洋及日本人社

- 南洋新聞社 伊藤友治郎
- 南洋通信社 同
- 合資會社日南公司調查部 本部 岩彦
- 日本人護謨栽培協會 大塚 智船
- 西有寺住職 陳彦 鶴
- 臺灣公會

栽培業者 (ジヨホール州を含む)  
商店を營みて栽培を兼營するものは「輸出入、小賣商及び雜業」欄参照

- 名 稱
- 三五公司 支配人又は直營者 社長 愛久澤直哉
- 同 總支配人 木村 大介
- 同 技師 鈴木 順三
- 同 醫師 小田 修
- 同 醫務 神座 季 巧
- 同 支配人 矢守 巧
- 同 支配人 小泉 哲一郎
- 同 支配人 原 鴻太郎

南洋在留日本人名錄

- 同三地植林地 醫務 吳 起春
- 同 支配人 松下 與三郎
- 同 醫務 王 登輝
- 同 顏 上
- 玉置 龜次郎
- 富岡 千春
- 古谷 喜市
- 熊井 文喜
- 加藤 正一
- 佐藤 正一
- 黃 玉成
- 醫務 玉置 龜次郎
- 三宅 定治
- 竹本 雄藏
- 木村 熊太郎
- 安久 信男
- 鳥越 敬太
- 山崎 純
- 德弘 虎雄
- 吳 起春
- 松下 與三郎
- 王 登輝
- 顏 上
- 玉置 龜次郎
- 富岡 千春
- 古谷 喜市
- 熊井 文喜
- 加藤 正一
- 佐藤 正一
- 黃 玉成
- 醫務 玉置 龜次郎
- 三宅 定治
- 竹本 雄藏
- 木村 熊太郎
- 安久 信男







井上清  
星野新二  
鈴木謙則  
岡本彌郎  
上居係治郎  
正木榮  
久住名省三郎  
清水貞  
伊崎主税  
前田清  
柳下一郎  
吉村昌久  
藤森章雄  
河島長  
初谷喜一郎  
原忠宗  
宮原彦左衛門  
吉野一郎

主任

日蘭貿易會社出張所(正金三階)  
藤田組商事部出張所  
原田廻漕部(正金二階)

南洋貿易會社出張所  
主任  
眞野毅  
宮野專太郎  
鹿谷益喜  
村山眞一  
木全省吾  
松本與一  
淡島浪三  
小宮山國廣  
池川與助  
原田富司

横濱正金銀行出張所  
主任代理  
大塚伸次郎  
阿山隆介  
常見章雄  
大村哲太郎  
尾上泰男  
米井海三  
池田禮次

キリンストリート King Street

若宮廻漕店 (同) 新 立男  
ラフルスプレース Raffles Place 同  
乙宗商店支店 雜、輸出入 一井上靜逸 同  
ラフルスチエンバース Raffles Chamber 同  
三菱商事會社出張所 主任 若杉恭一郎  
同 吉見敏  
同 今井兼吉  
日本郵船會社出張所 主任 宮下龍藏  
同 社長 千田牟婁太郎  
同 千田商會(株式會社) 専務 宇尾榮次郎  
同 ウエンチスターハウス  
Winchester House  
山下汽船會社支店 支店長 白城定一  
同 營業部長 立野儀充  
同 會計 小林素夫  
同 營業主任 御手洗定八  
同 駒井商店支店 支配人 川本爲治郎  
同 石原洋行 支配人 石原廣一郎

小倉貿易部出張所 主任 青木三郎  
同 佐藤三郎  
同 根本信  
東京向笠商店支店 支配人 鳥居重藏  
同 大七商會 廻漕 白銀子老  
同 アツケードビルデング  
村田公司支店 輸出入 主任 中井作治郎  
同 日比谷寫眞館 松枝熊逸  
同 チェンジアリー Change Alley  
潮谷商會支店 二支店長 川縁慶輔  
同 田村青郎  
同 房崎清一  
同 杉田參次  
同 熊谷三祿  
同 支店長 山内三郎  
同 坂部商店 次席 竹内三一  
同 大阪商船會社支店 渡邊重吉

南洋在留日本人名錄







- |          |      |       |                     |      |           |
|----------|------|-------|---------------------|------|-----------|
| 山本商會     | 吳服反物 | 山本雄二  | 安藤醫院                | 石炭製造 | 一六〇 安藤公三  |
| 好文館書店    |      | 伊勢屋   | 小林商店                | 雜    | 一六一 小林春吉  |
| いろは自動車商會 |      | 竹井庫敬  | 藤田商店                | 雜    | 藤田榮次郎     |
| 龜井商會 製菓  |      | 同     | 江戸屋カヒー店             |      |           |
| ユニオン理髮店  |      | 龜井平一  | 英齒科醫院               |      | 一〇一 英重生   |
| 新小山商店 雜  |      | 福田治平  | マイコホテル              |      | 二九 飯島さと   |
| 天土時計店    |      | 小山新之助 | オメデトホテル             |      | 一〇〇 池崎富義  |
| 内藤洋服店    |      | 天土榮松  | 旭自動車工場              |      | 二五 春山景久   |
| 山陽舎 洗濯   |      | 内藤淳三  | ビーチロード (Beach Road) |      |           |
| 東洋ホテル    |      | 山下健治  | 瓊の家ホテル              |      | 五九 田中百太郎  |
| 諏訪ホテル    |      | 笠直三郎  | ネビーホテル              |      | 五〇 遠藤隆夫   |
| 巴洋行 雜    |      | 小林友藏  | 日本ホテル               |      | 安 保 鹿 藏   |
| 山瀬商店     |      | 柏原清一  | 林回酒店                |      | 林 貞次郎     |
| 京都理髮所    |      | 森正次   | 星州樓 料理              |      | 新嘉坡護謨栽培協會 |
| 南洋及日本人社  |      | 佃光治   | 福田商會 護謨山御用          |      | 米井米治      |
| 日英社印務局   |      | 池田範司  | 領田館ホテル              |      | 五九 福田竹松   |
| 誠文堂印刷所   |      | 保田清   |                     |      | 五七 得九龜次郎  |
|          |      |       |                     |      | 三五 公司事務所  |

- |                               |         |       |                          |         |
|-------------------------------|---------|-------|--------------------------|---------|
| 都ホテル                          | 五、四     | 山田貞治郎 | 小笠原商店 雜貨、食料品             | 三 小笠原長彦 |
| 南洋物産輸出(都ホテル内)                 |         | 馬場小太郎 | ミカド理髮店                   | 田島善太郎   |
| 若林理髮所(ラフランスホテル内)              |         | 若林    | 大野公司 人力車製造               | 南 大谷兼太郎 |
| ヅキクトリアストリート (Victoria Street) |         |       | 横濱自動車商會                  | 三〇 高梨峯吉 |
| 南陽藥房 醫院                       | 三、二     | 川幡勝敏  | 田本商店                     | 田尻才六    |
| 松葉組 受負                        | 一、八     | 松葉安吉  | クイン、ストリート (Queen Street) | 戎 梅吉    |
| 勝美堂 金細工                       | 九       | 酒井米治  | 四菱組 土木建築、家具製作            | 水野清太郎   |
| 花屋ホテル                         | 三、七、三、六 | 樫尾七太郎 | 同                        | 箕浦辰次郎   |
| 同自動車部                         | 三、七、九   | 同     | 同                        | 西田福松    |
| 吉田商店 雜、食料品                    |         | 吉田友次郎 | 浩養館ホテル                   | 一四 西田福松 |
| 瀧月堂 菓子                        |         | 佐藤長吉  | 高橋屋 下宿                   | 二〇 高木よね |
| まの屋 下宿                        |         | 山下シン  | 柳澤公司 板紙製函                | 三 柳澤傳造  |
| 日本神農醫院 産婆                     |         | 中野光三  | ウオーターローストリート             |         |
| 同                             |         | 思仁崎督子 | (Waterloo Street)        |         |
| さつま屋ホテル                       | 五、一     | 徳永盛之助 | 朝日旅館                     | 六〇 本間正啓 |
| 南洋日々新聞社                       | 五、〇、二   | 古藤秀三  | 太陽館ホテル                   | 三三 水田國藏 |
| 山本齒科醫院                        |         | 山本作次郎 | 倉園製箱店 板紙製函               | 倉園政吉    |
| 村松商店 陶、磁器卸、小                  |         | 村上才次郎 | ペンクローレンストリート             |         |



(Benckolen Street)

- 南洋新聞社
- 坂田洋服店 料理
- すみれ 下宿
- 孝昇館 下宿
- 藤田マツサージ
- 吾妻ホテル
- 同
- 眞宗教會
- 三笠旅館 醫院 醫學士
- 同仁藥房 醫學士
- 同
- 飯田洗衣店 護謄栽培
- 前田洗衣店
- プリンセップストリート (Prinssep Street)
- 下村理髮店
- 太田製靴店
- 金子洗衣店
- 堀岡文吉
- 酒田安治郎
- 菅野八百吉
- 大久保はな
- 藤田四郎
- 谷との
- 長谷川寅三
- 桑野淳城
- 山崎勇吉
- 鷺尾信一
- 笠原友一郎
- 飯田富五郎
- 前田由造
- 梅屋旅館
- 紀之國旅館
- 野村ホテル
- 島原屋 下宿
- シヨートストリート (Short Street)
- 旭石輪商會
- 日蓮宗布教所
- 新嘉坡日本人會事務所
- 新嘉坡日本人青年會
- セルギロード (Selegai Road)
- 島田齒科醫院
- ドゥーフト (Dhoby Ghaut)
- 島田寛二
- 手塚齒科醫院
- Japanese Bone Setter
- ブラスバッサロード (Bras Basah Road)
- 賀川龜甲店
- 山下時計店
- 多久島メッキ商會
- 樋口庄右衛門
- 今出みゑ
- 野村
- 峰織次郎
- 山口
- 前田
- 豊
- 手塚鈴惠
- 藤森新三郎
- 賀川金五
- 山下茂
- 多久島權七

角田自動車修繕所

- 米田齒科醫院
- 葛田齒科醫院
- 旭寫眞館
- 先城理髮店
- 馬來貿易會社出張所
- 土木建築、石鹼製造
- 大工業 請負
- お多福 辨當仕出
- 大阪製藥會社支店
- ①商店本店 雜貨、吳服
- 原商店 ステッキ
- 多良福商店 土產品
- 堀越商店 醬油製造
- 木本商店 風物、雜
- 角田安次
- 米田
- 葛田顯理
- 竹内市太郎
- 先城重郎
- 矢組
- 藤岡彬郎
- 房前山太郎
- 見野末次郎
- 小山徳松
- 原隆二郎
- 中村茂雄
- 堀越新藏
- 木本真三
- 山中商店 雜
- 福壽 仕出し
- 月の家 料理
- 星の家 洋食
- 南光堂 金細工
- 清野理髮店
- 石津商店 雜
- 日昇堂 菓子
- 東家 料理
- 杉光商店 味噌製造
- 生花、茶指南所
- 大黒屋 醬甲細工
- 讃岐屋 水
- 瓢男亭 料理
- 面白俱樂部
- 御嶽教會
- 香月堂 菓子
- 西京亭 そば
- 山本清一郎
- 桑原梅
- 大島義里
- 三浦福壽
- 清野
- 石津福太郎
- 永野徳太郎
- 木島安次郎
- 杉光龜太郎
- 成等常諱
- 木藤安平
- 大西鐵一
- 畑中瀧一
- 島濱國子



大長 カマボコ製造

博文館印刷局

マラバーストリート (Malabar Street)

小山商店 吳服、雜

萬歳 料理

東京亭 そば

南進組 請負

常盤 料理

錦水 氷

菊水 料理

香雪軒 同

松壽堂 花あられ

有明理髮店

千鳥 すし

荒盛堂 菓子

マライーストリート (Malay Street)

日本商會支店 雜

星坡組 建築造船受負

新喜樂 料理

三日月 同

不二軒 同

ライオン洋食店

本岡染物所

野田自働車商會

喜多三鴻商會 雜

ブリキ細工所

三滴社

新京樓 料理

柳光亭 料理

ボキス、ストリート (Bugis Street)

鹽崎藥房

ローチヨロロード (Rochoer Road)

日本藥房

ハイストリート (High Street)

長井禎商店支店

中川商店

富木でん

伊藤つる

桑原治吉

本多ヒツ

本岡與一

野田豊直

喜多榮三

都龜松

桑原

鹽崎俊雄

高橋末吉

宮本政平

中川菊三

本多商店

商店

原ステッキ支店

東洋寫真館

友田合資會社支店

大和商會 輸出入、美術雜貨

同

同

同

ヒルストリート

西村醫院

大坪寫真館

大野理髮店

コールマン、ストリート (Coleman Street)

島田商店貿易部輸出入 紙商三二

都商會 雜 三 渡邊勝二

スタンフォードロード

溝上商店 寫真材料 溝上政憲

南洋在留日本人名錄

二 本多敬治

一〇 西島正信

一五 松永能直

一四 市岡諒介

一三 長野實隆

一四 町田秀司

一四 河島長

一四 中村桃太郎

一四 西村竹四郎

一四 大坪徳光

一四 大野

菊川製靴店

オーチャールード (Orcher Road)

旭商店(日本ビル會社出張所)一九三三

新嘉坡靴製造所

岩見理髮店

山本理髮店

タンクロード (Tank Road)

金崎靴店

すらま商店事務所

タンジョンバカロード

山本光月堂 菓子

椰子細工所

岸本理髮店

吉峰氷店

オハヨーホテル 下宿

スプリングストリート (Spring Street)

高梨商店

氷店 ナウスブリッチロード

菊川

川村喜一

秀島愛吉

岩見泰光

山本留次郎

金子賀三郎

佐藤徳光

山本幸八

浦川運吉

岸野萬吉

吉峰

村田

高梨

須口利八



中野醫院分院

バンドストリート

一六三

花月亭

そば

古屋文次

トラス、ストリート (Tras Street)

丸本旅館

アンソングロード (Anson Road)

三榮公司

日の出旅館

イーストコース、ロード

(East Coast Road)

略

料理

漁業者

漁法	使用従業者	起業年月	府縣別	業主又は經營者
流網	一、二	四六、大正五、十月	香川縣	佐々木彌太郎
同又一本釣	三	九同	八月東京府	菊地兵松
一本釣	二	五同	元年山口縣	坂本惣次郎
繩及一本釣	一	六同五、八月	熊本縣	勝木榮藏
同	二	九同六、十月	同	中村己太郎
一本釣	四	一二同	四月和歌山縣	從業者共同經營四組

同	同	同	同	同
計	二六	九三	一〇	一

彼南市 Penang

彼南在留日本人戸口年別(一九一八年七月現在)

大正元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年
戸数	六六	七二	五八	七五	六四	七八
男	一七九	一八六	一六二	一四七	一三八	一二四
女	一七九	一八六	一六二	一四七	一三八	一二四

彼南日本人會

會長 岡庭喜三治 理事 本多紋平吉田伊太郎

田中末五郎、長田利明、柳田敏三

彼南實業團 本團の目的は内外の實業状態を調査し或は内外實業團又は實業家と相連絡し團員の事業を援助し邦人の發展を期し尙ほ金融部を設け團員の金融を至便ならしむるにあり。

團長 岡庭喜三治 監査係 田中末五郎、柳田敏三、荒木重藏 調査係 長田利明、本

多紋平、岩越宗郷等なり

名	業別	店主又は主任	中村商店	中村伊三郎
田中旅館	雜貨店	田中末五郎	大和貿易商會	時札廣治
さなみ商店	雜	稻置勝太郎	時札寫眞館	岡庭喜三治
松屋ホテル	雜	吉田伊太郎	日光寫眞館	一ノ瀬字一郎
齒科醫院	雜	荒木重藏	向井漁業部	向井熊吉
菊屋旅館	雜	浦保平	大黒商店	岩水友武
日の出商會	雜	岡野周次郎	大佛商店	岩越宗郷
東亞貿易商會	雜、玩具	本多紋平	齒科醫院	長田利明
日本藥房	醫院	渡邊甚吉	柔道指南	村上行國
朝日館ホテル	雜	辻才次郎	賣藥	藤田孝次郎
山田朝日堂	雜	山田末次郎	賣藥	近藤龜吉
亞細亞商行	雜	山田新介	同	中島德一郎
齒科醫院	雜	則松稻太郎	同	武富楠吉
柳田商店	雜	中村典	洗濯	八百田太平
土屋商店	雜	柳田敏三	同	山崎梅吉
		土屋	吹入舟亭	丸山德次郎
			料理	山田豊秋















